

試 (津都良)	銀鉛銅砒	西臼杵郡岩戸村	井上益四郎	六月
------------	------	---------	-------	----

鹿兒島縣

登錄番號 鐵山名	鐵種	位 置	鐵業權者 (代表者)	著手セ ル月
試 (石井河内)	金銀	伊佐郡山野村	田畑次郎	十月
登錄番號 鐵山名	鐵種	位 置	鐵業權者 (代表者)	著手セ ル月
試 (天野岩)	金銀	伊佐郡山野村	半田ヤス	七月

沖繩縣

登錄番號 鐵山名	鐵種	位	置	鐵業權者 (代表者)	著手セ ル月	登錄番號 鐵山名	鐵種	位	置	鐵業權者 (代表者)	著手セ ル月
試 (沖繩・滿庵)	滿	滿	國頭郡今歸仁村	内海常好	十月						

(四) 事業ヲ擴張シ又ハ擴張ニ著手シタル鑛山

事業ヲ擴張シ又ハ擴張ニ著手シタル主ナル鑛山ニ就キ其ノ概況ヲ記スレハ左ノ如シ

(イ) 金屬屬山

鴻ノ舞鑛山 金銀銅 北見國紋別郡紋別町 住友合資會社

前年來掘進中ノ第三通洞(豎入坑道)ハ本年ニ入り着々進捗シ坑口ヨリ約三千三百尺ニ達シ着鑢迄僅カニ百三十尺程ヲ餘スニ至レリ採鑛方面ノ諸設備ハ前年度ニ於テ略具備セラレ本年度ニ於テハ出鑛量ノ増加ニ伴フ製煉設備ノ擴張ヲ行ヒタリ即チ「ボルペツブグラニユレーター」、「ドワーバウル」分級機、攪拌槽、壓氣機、金液槽、回轉爐、青化加里溶解

本鑛山ノ鑛床ニ胚胎スル石膏ハ前年來販路ヲ淺野セメント會社ニ求メテ其ノ供給ヲ續ケ約二ケ年間ニ八千噸強（品位三八%以上）ヲ產出シ目下石膏選鑛場ノ新設ヲ計劃シ居レリ

俱知安鑛山 鐵 膽振國虻田郡東俱知安村 株式會社日本製鋼所

本年度ニ於テハ擴張等ニ關シ特記スヘキ事項ナク只新ニ電氣鑿岩機一臺ヲ新設シテ採鑛能率ノ増進ヲ計リ又動力トシテ北海水力電氣株式會社ヨリ電力ヲ購入スルコト、セリ

洞爺鑛山 金銀銅鉛亞鉛 膽振國虻田郡洞爺村 久原鑛業株式會社

十一月一日ヨリ堅坑ノ開鑿ニ着手セリ上部ノ幅一・五米、長サ三・六米、下部ハ幅一・五米、長サ三・〇米、梓ハ八寸角トシ豫定深度六〇米ナリ

捲揚機ハ輕便ナル五馬力摩擦傳動式ヲ新設セリ其他坑内排水用トシテ五馬力タービン唧筒一臺ヲ新設セリ

白龍鑛山 金銀 北見國紋別郡遠輕村 川出隆六郎

銳意探鑛ニ努メ堅入本坑道ノ總延長三一八尺ニ及ヒ細脈拾數本ニ會シ内二九五尺ノ點ニ存スル稍大ナル鑛脈ノ錘押ヲ開始セル外鑛區中央ノ露頭掘鑿作業ヲ試ミ繼續中ナリ

土畑鑛山 金銀銅 岩手縣和賀郡湯田村 田中鑛業株式會社

鑛況依然トシテ良好ニシテ「アンダーカット、ケービング」法ニ依ル採鑛モ順調ニ行ハレ採鑛費ノ大ナル低減ヲ見タリ選鑛ニ在リテモ全部浮游選鑛法ヲ採用シ漸次改良ヲ加ヘタル結果操業圓滑トナリ鑛產額亦前年ニ比シ著シク増加シ精鑛品位ノ如キ平均一九・一三%迄高ムルコトヲ得タリ

尙第二沈澱池廢滓運搬ノ目的ヲ以テ第二沈澱池ヨリ白土山ニ至ル延長三、〇一三尺ノ間ニ一時間五〇噸ノ運搬能力ヲ有

スル玉村式單線架空索道ヲ新設シ除害設備ノ完成ニ努メタリ

卯根倉鑛山 銅 岩手縣和賀郡湯田村 藤田鑛業株式會社

從來放棄シタリシ淘汰盤ノ片又ヲ處理スル爲メ一昨年來繼續中ノ浮游選鑛ノ試驗ハ良好ナル成績ヲ舉ケタルヲ以テ本年
中既設選鑛場ニ自家製浮游選鑛機十四臺ヲ設置セリ之レニ伴フ選鑛鑛備ノ増設ハ次ノ如シ

「ブレイキクラッシャー」 口徑五吋長十吋 一臺

「コニカルボールミル」 四呎×六吋×十八吋 二十二馬力一臺

「エレベーター」 高十五呎幅六吋 高十呎幅五吋 二臺

「ハイドローリック、クラッシファイヤー」 木製高一尺五寸幅一尺四寸 一臺

浮游選鑛機 長六尺(六臺)長五尺(八臺) 計一四臺

又本鑛山ノ合併鑛區タル安久登澤鑛區ニ於テモ本年中淘汰機ニヨル簡單ナル機械選鑛場ヲ設置シ精鑛品位ノ昂上並ニ本
鑛區ト卯根倉間ノ運搬ノ輕減ヲ計ルコトヲ得タリ其ノ機械設備次ノ如シ

「トロンメル」 徑二尺乃至三尺、長六尺、五分目 一臺

粗鑛淘汰機 ハルツ式三區二分目(一臺)一分目(一臺) 二臺

「インクライン」 長六十六尺、傾斜十五度 一臺

捲揚機 單胴式「フリクシヨンホイスト」三馬力 一臺

平糠鑛山 金銀 岩手縣二戸郡小島谷村 八卷陞二

搗鑛製煉ニアリテハ第一搗鑛場及第二搗鑛場ニ夫々鹿兒島式搗鑛機各三十本ヲ増設シ尙第一搗鑛場ノ「ベルト」回轉ハ

結果良好ナラサリシヲ以テ水車直結式ニ改良セリ又青化製鍊ニ於テモ試験ノ結果滲出槽ニ改造ヲ加ヘ連結槽ヲ單獨槽トナシ其數ヲ三個ニ減スル等設備ノ改善ニ努メタリ

釜石鑛山 鐵 岩手縣上閉伊郡釜石町 釜石鑛山株式會社

各所ニ散在スル鑛床ノ位置及鑛量ヲ確カムル目的ニテ磁力測量ヲ計畫シ「アスカニア」製垂直磁力計水平磁力計ヲ以テ前山新山方面ノ測量ヲ行ヘリ、探鑛ニアリテハ機械掘ニヨリ能率増進ヲ計ランカ爲メ更ニ「インガートールランド」會社製四三〇番型鑿岩機一臺、同一一番型一臺、「デンバー」會社製「ウオー」七番型一臺ヲ増加シ從來坑内馬匹運搬ヲ廢シ新ニ「ガソリン」機關車二臺ヲ購入運轉シテ大ニ面目ヲ一新スルニ至レリ、又製煉ニ在リテハ昨年十一月増設ニ著手セル「シーメンス」式二十五噸製鋼平爐一基ノ工事完成シ本年五月ヨリ操業ヲ開始セリ斯クシテ凡テノ操業順調ニ發展セル爲メ昨年ニ比シ鑛石ニ於テ二〇、六三四噸、銑鐵三、〇六七噸、鋼塊一〇、四二七噸、鋼材二、七八四噸ノ増産ヲ見タルカ一方不用汽罐十四基ヲ廢止セリ、本年中増設セル設備ハ次ノ如シ

「ガソリン」機關車、埃國オストロデムラー會社製、重量二噸半、六乃至八馬力、牽引力五、〇〇〇瓩、氣筒徑八〇耗衝程一一五耗 二臺

機關車軌道

延長四六〇米、軌條一八封度、軌間二五吋單線

小久慈鑛山 砂鐵 岩手縣九戸郡大野村 常盤商會

昨年來工事中ナリシ海綿鐵製煉設備ハ本年四月略工事完成セルヲ以テ五月火入ヲ爲シ操業ヲ開始シタルカ其後財界不況ノ爲メ運轉資金ノ調達意ノ如クナラス操業上幾多急ヲ要スル研究モ未完了ノ儘今日ニ及ヘルモノニシテ製品ハ川崎造船

所、八幡製鐵所、室蘭日本製鋼所等ニ送附シ成績研究中ニ屬シ未タ全ク試驗時代ヲ脱スルニ至ラス、其他既設火力發電所内ニ「カーチス、スチーム、タービン」七五〇馬力一基並ニ出力五〇〇「キロワット」發電機一基ヲ増設シ右發電機用トシテ「ヤロー」水管式汽罐三基ヲ新設セリ

大谷鑛山 金 宮城縣本吉郡大谷村 久原鑛業株式會社

前年來繼續中ノ大谷本鑛下底ノ探鑛ハ益々進ミ鑿岩機ニヨリ二百五十尺坑ノ鑛押シ及第四堅坑ノ堀下ヲ遂行セルカ二百五十尺坑道ニ於ケル鑛況上部ト大差ナク依然良好ナリ、其他大戸澤坑並ニ平森立入ニヨリ舊坑下部ノ探鑛ニ努メツ、アルモ未タ著脈セス本鑛二號及ヒ三號坑ハ鑛脈尖滅シテ遂ニ探鑛ヲ休止スルニ至レリ、而シテ從來主トシテ探鑛ニノミ使用シタル鑿岩機ヲ九十尺坑、百五十尺坑及二百五十尺坑ノ如ク堅硬ナル個所ノ探鑛ニ使用スル等人力ノ機械化ニ努メタル結果探鑛能率大ニ進ミ前年ニ比シ鑛產額倍加スルニ至レリ

高田鑛山 銀銅鉛亞鉛安質母尼 宮城縣栗原郡登澤村 共立鑛業株式會社

前年發見ニ係ル半三鑛上磐側ノ新鑛脈ハ鑿岩機ヲ使用シテ探鑛ヲ繼續シ年末ニ於テ一番坑九十尺、二番坑七百尺、三番坑六百三十尺、四番坑七百十尺ヲ堀進セリ、鑛脈ハ各坑トモ幅員五尺乃至七尺ヲ有シ鑛況何レモ良好ナリ

大鑛土鑛區ニ於テハ羽色十號鑛探鑛ノ目的ヲ以テ本年一月最低部ナル一番坑ヨリ鑿岩機ヲ以テ堀進ヲ開始シ年末堀進五百十尺ニシテ着脈セルカ引續キ鑛押探鑛中ナリ、又四月ヨリ羽色九號鑛ノ鑛押探鑛ヲ鑿岩機ヲ以テ開始シ年末迄ニ一番坑ニ於テ二百四十尺、二番坑ニ於テ百三十尺ヲ堀進セシニ鑛幅四尺乃至七尺ヲ有シ品位處ニヨリ變化アルモ概シテ鑛況良好ナリ、探鑛ニアリテハ漸次鑿岩機ノ使用ヲ増加シ手掘ヲ減少スル方針ニシテ本年度ニ於テ増設シタル鑿岩機ノ種類及個數左ノ如シ

C—C 一 一 番型 小型

「インガートール」會社製

一臺

足尾式 一 一 番型

足尾製作所製

四臺

坑内外運搬ニアリテハ鑛車々輪ヲ漸次自動注油車輪ニ改メ又坑内全部ニ涉リテ運搬軌道ノ敷設換ヲ行ヒ坑井及鑛石漏斗ヲ増設スル等運搬能力ノ増進ヲ圖リタル結果約二割能率ヲ増進スルヲ得タリ、而シテ前年設備シタル浮游選鑛場其後操業圓滑トナリ從來廢鑛トシテ堆積シタル亞鉛製煉鑛滓及磁鑛八、八六四噸ヲ處理シテ精鑛一、〇六三噸ヲ得ルニ至レリ

尾・去・澤・鑛・山・ 金銀銅鉛亞鉛鑛

秋田縣鹿角郡尾去澤村外一村 三菱鐵業株式會社

昨年來工事中ノ鑛水除害設備一切ヲ完成シタル外全般ニ亘リ能率ノ増進、作業ノ刷新ニ努メ大ニ緊張ヲ見タル爲メ粗銅ニ於テハ昨年ニ比シ却テ二十一萬七千餘斤ヲ増産シタリ、就中探鑛ニハ主力ヲ注ギ大盛鑛トノ平行脈ノ有無ヲ確ムル爲メ大盛鑛下一坑北立入ニ於テ大盛鑛ノ下磐ニ向テ約三二〇米ノ豎入ヲ開鑿シ又末廣鑛ノ南部大盛鑛ノ南西部ヲ探ル目的ヲ以テ末廣鑛下一坑北立入ニ於テ末廣鑛ノ南部ニ向テ約五百米ノ立入ヲ開坑シ尙七年鑛トノ平行脈ヲ豫想シテ赤澤通洞南立入ヲ堀進セル等其主要ナルモノニシテ何レモ數條ノ鑛脈ニ逢着セリ、又鑿岩機磨滅破損ニ伴フ補充トシテ本年中新ニ購入セル鑿岩機左ノ如シ

二四八番型「ドリル」

「ライナイインガートール」會社製

八臺

CC 一 一 「ストーパー」

同

二臺

RA 一 一 「ジャックハンマー」

同

一臺

DCR 二 三 「ジャックハンマー」

同

一臺

「オー」七番型

「デンバー」會社製

三名

坑内運搬能力増進ノ爲メ昨年來坑内電車軌道ノ延長ヲ計畫中ノ處本年度ニ於テ石切澤坑内卯酉鑛六ヨリ赤澤通洞遠丁鑛八ニ至ル工事ヲ完成セリ、又第二熔鑛爐ニ於テハ其水胴部ニ改良ヲ施シ爲メニ操業順調トナレリ、此外中澤方面ノ收銅桶ヲ改造延長シテ沈澱銅ノ減少ヲ補ハント努力シツ、アリ

小坂鑛山 金銀銅鉛亞鉛蒼鉛硫化鐵

秋田縣鹿角郡小坂町

藤田鑛業株式會社

探鑛工程ノ進捗ニ伴ヒ本年八月中從來ノ試錐探鑛用ノ「ダイヤモンド、ボーリング」、「ロッド、ボーリング」ノ外可搬式汽罐付「キーストン、ボーリング」一臺ヲ増設シ一千尺ノ深度ヲ探鑛スル計劃ニテ既ニ元山鑛床ノ南部ニ於テ二三ノ試錐ヲ終ヘタリ、

又坑外運搬ニ於テハ不老倉鑛山ノ休業ニ依リ同山鑛石運搬ニ使用セル一部ノ索道ハ廢止ノ已ムナキニ至レルモ之カ爲メ產額ニ大ナル影響ヲ蒙ルコトナク銅ハ買鑛品位良好ナリシタメ昨年ニ比シ却テ四十四萬六千餘斤ノ増產ヲ示シ又金銀ニ於テモ其處理鑛量増加ノ結果多少ノ増產ヲ見タリ

尙製鍊ニ在リテハ從來金屬蒼鉛製出ノ目的ヲ以テ設備セル電氣爐ハ之ヲ蒼鉛鑛處理ノ終了ト共ニ其儘轉爐煙灰中ニ含ム鉛、亞鉛ノ採收ニ轉用シ本年九月ヨリ操業ヲ開始セリ、又一方熔鑛爐ニ於テモ第六號爐ハ爐體小ニ過キ不便多カリシヲ以テ其容量ヲ増大シテ他ノ一號乃至五號ト同一ナラシメ以テ操業ノ圓滑ヲ計ラントシ年末改造ニ著手セリ、之レト同時ニ豫備四爐中ノ十號爐ヲ廢止セリ、此外本年中電氣分銀場ヲ設置シ從來產出セル含金銀塊ヨリ金銀ヲ分離析出スルニ至レリ、其設備ノ大要左ノ如シ

銀電解槽

五個

金電解槽

一個

電動機

一個

風爐

三個

花岡鑛山

金銀銅鉛亞鉛

秋田縣北秋田郡花岡村外一村

藤田鐵業株式會社

鑛況依然良好ニシテ前年ニ比シ銅精鑛約四百六十餘萬貫ヲ増産セリ、又昨年中開鑿セル神山豎坑ニ在リテハ其坑底ヨリ北向水平坑道ヲ開坑中ノ處本年六月延長六百尺ニシテ鑛體ニ當リ引續キ之ガ狀況ヲ探鑛中ニ屬ス、之レト同時ニ試錐區域ヲ漸次北方ニ進メ上總掘試錐機十二臺ヲ使用シテ新鑛床ノ發見ニ努メツ、アリ、而シテ神山坑内ノ進展ニ備フル爲メ神山豎坑々ロニ壓氣機（「インガースール」會社製「インペリアル」X R B—2 型一四七馬力）一臺ヲ新設セントシ工事ニ着手セリ

荒川鑛山

銀銅

秋田縣仙北郡荒川村

三菱鐵業株式會社

又前年來新設工事中ナリシ堂屋敷新豎坑百三十馬力及神山豎坑七十五馬力複胴電氣捲揚機ノ据付ハ何レモ完成セリ
本鑛山ニ於テハ下部發展ノ爲メ昨年來日蔭豎坑掘下ヲ續行シ延長五十米ニ及ヒタリシモ湧水多ク下部ノ鑛況亦意ノ如クナラス其他本年中嗽澤十四番坑ノ探鑛ヲ開始セルカ鑛況稍々見ルヘキモノアリ又金山澤上磐探鑛ニ於テモ三條ノ鑛脈ニ會セリ

本年中増設セル鑿岩機左ノ如シ

三四番型「ドリル」

「デンバー」會社製

一臺

七二番型「同」

「インガースールランド」會社製

一臺

DCRW二三番型「チャックハンマー」 「インガールランド」會社製

五臺

其外嗽澤本坑十八番坑下中段ニ三十馬力「タービン」唧筒一臺ヲ増設セリ

坑外ニ於テハ日蔭坑ヨリ嗽澤坑及選鑛場間ニ「フオード」二十馬力「ガソリン」機關車一臺（軌條十二封度延長五、三四六尺）ノ運轉ヲ開始シテ運搬ノ便ヲ謀レリ、又選鑛廢水用沈澱池（容積二六・四二坪）一個及ヒ收銅鋤（長六〇呎深サ一呎）ヲ増設セリ

吉・乃・鑛・山・金銀銅鉛硫化鐵

秋田縣雄勝郡西成瀬村

大日本鑛業株式會社

本鑛山ニ於テハ鑛況引續キ良好ニシテ銳意事業ノ發展ニ努メツ、アリ坑外探鑛ニ在リテハ本年五月「シユラムベルゲル」電氣探鑛法ニヨリ探鑛ノ結果現在探掘中ノ熊ノ澤ノ西方眞人山方面ノ相當有望ナルヲ知リ之ヲ試錐ニ依リ確認セントシテ十一月ヨリ「キヤリツクス」式試錐ヲ實施シ年末迄百八十尺掘鑿セルモ未タ鑛體ニ逢着セス更ニ繼續中ナリ

又坑内ニ在リテハ二坑道北部ヨリ通氣ヲ目的トスル深サ百五十尺ノ豎坑ヲ掘鑿シ十一月工事完成シテ坑外ニ通スルニ至リ通氣上一段ノ改善ヲ見タリ

選鑛ニ於テハ「ハンコック、ジガー」ノ精鑛ヲ更ニ再選シテ精鑛品位ノ昂上ヲ計ル爲メ「ハルツ、ジガー」三臺ヲ増設シ既設「ハンコック、ジガー」三臺ノ内一臺ヲ廢止スルニ至レリ又豫テ研究中ナリシ優先浮游選鑛法ハ愈々良好ナル成績ヲ擧ゲ得タルヲ以テ更ニ從來ノ選鑛精鑛ノ全部ヲ細碎シ該法ニ依リ高品位ノ銅精鑛ト硫化鐵ニ分類セントシ浮游選鑛場ノ増設ヲ計リ十二月末略工事完成セリ

機械ノ種類及個數左ノ如シ

六呎六吋「ハーデンチボールミル」

十六吋「ドラッグコンベヤ」

「カムフイーター」

K・K式「フローテーター」

十吋「バケット、エレベーター」

三十尺「ドア、シツクナー」

「オリバー、フイルター」

百五十馬力電動機

十五馬力 同

十馬力 同

一馬力 同

而シテ之レカ變更ニ伴ヒ選鑛廢水ノ増加ヲ來シタルヲ以テ徑五十尺ノ「ドア、シツクナー」一臺ヲ設置シタリ

八・盛・鑛・山・銀 秋田縣山本郡八森村 大日本鑛業株式會社

當鑛山ニ於テハ同一權者ノ所有ニ係ル吉乃鑛山鑛況ノ良好並ニ能代椿間ノ鐵道開通其他ノ情勢ニ驅ラレ愈々大正八年以來休止セル製鍊場ノ復活ヲ實施スルコト、ナリ從前ノ製鍊設備ノ一部ヲ使用シ一ヶ月粗銅二十萬斤製產ノ豫定ニテ本年十二月十二日製鍊作業ヲ開始セリ其製鍊方法ハ休業前ト同様當鑛山產含銀硅鑛ニ吉乃鑛山產出銅鑛並ニ買鑛ヲ配シ半生鑛吹ヲ爲スモノナリ

尙當鑛山產出銀鑛ノ比較的低品位ノモノヲ處理スル爲メ從來ノ選鑛物ヲ改造シ浮游選鑛法ヲ實施セントシテ其工事ニ着

手セリ即チ舊設備ハ「クラッシャー」ヲ除ク外全部廢止シ左記ノ設備ヲ新設スル豫定ナリ

「ハーデンヂ、ボールミル」

「ドラッグ、クラッシファイヤー」

K・K式「フローテーター」

「エレベーター」

高玉鑛山 金 福島縣安達郡高川村 久原鑛業株式會社

當鑛山ニ於テハ常ニ探鑛ニ全力ヲ傾注シ富鑛體ノ發見ニ努力シツ、アリ隣接試掘鑛區ニ於ケル守屋山ノ探鑛ハ全然失敗ニ終リタルモ更ニ高松山方面ニ徹底的探鑛ヲ試ミ鑿岩機ニヨリ一號坑二號坑ノ掘鑿ヲ開始シ又探掘鑛區ニ在リテモ本山鑛床ノ西部及本山、鶯間ノ下底探鑛ノ目的ヲ以テ本年十月鶯二番坑ノ開坑ニ著手シ年末迄ニ千二百五十尺餘掘進セリ探鑛ニ在リテハ益鑿岩機ノ使用ヲ増加シテ人力ノ機械化ニ努メ且ツ主要運搬坑道ニ於ケル十二封度軌條ヲ十八封度軌條ニ敷設換ヲナセリ其他坑外ニ於テモ鶯、本山間軌道ノ馬匹ニヨル運搬ヲ改メ獨逸製小型六馬力「ベンジン」機關車ヲ使用スル等専ラ能率ノ増進ヲ計リタル結果前年ニ比シ八十八萬四千餘貫ノ増產ヲ見ルニ至レリ

諏訪鑛山 金銀銅硫化鐵鑛 茨城縣多賀郡鮎川村 久原鑛業株式會社

前山五號鑛ノ下底探鑛ノ結果鑛況佳良ナルヲ確メタリ

前年末以來引續キ掘進中ノ第一豎坑掘下ハ四月中ニ六百尺地並迄之ヲ完成セリ

尙六百尺地並ニ二十馬力「ブランジャールポンプ」二臺ヲ來春三月迄ニ据付ノ豫定ニシテ之カ完成ノ上ハ現在使用中ノ三百尺地並ノ五馬力「ポンプ」二臺及六百尺地並ノ五馬力「ポンプ」一臺ハ之ヲ廢止シ以テ零尺地並迄直接揚水スル計畫

ナリ

足尾鑛山 金、銀、銅、鉛、亞鉛、蒼鉛、錫、砒 栃木縣上都賀郡足尾町 古河鑛業株式會社

(鑛床)前年七百八十尺河鹿上五番坑中段東二十五井附近ノ下磐ニ發展セル新鑛體ハ豫定通り北方ニ向ツテ發展膨大セルト共ニ上六番坑ニ於テモ相當探掘ニ價值アル一大鑛體トナレリ、尙七百八十尺鑛上三東二十八井上磐鑛ト千六十尺鑛トノ落合點附近ニ於テ兩鑛ノ下磐側ニ發達セル新塊鑛體(千六十尺下磐河鹿ト稱ス)ヲ發見シ開發セシ所鑛體ハ益々發展膨大シテ其ノ大サ百尺×九十尺ノ大鑛體トナリ平均含銅品位五%内外ヲ有シ目下其ノ上下ヲ探鑛中ナリ

又十二年鑛下二東二十八井南立入内二百尺鑛ノ下磐ニ於テ八十尺×三十尺平均品位一〇%内外ノ鑛體ヲ發見シ其ノ後通洞地並及下三番坑ニ於テ探鑛ノ結果該鑛體ノ上下兩部ニ相當スルモノト認メラル、モノヲ捕捉シ目下開坑中ナリ

其ノ他新盛河鹿ニ於テハ從來ノモノ、下磐側ニ平均品位五・六%ノ白粘土混リノ塊鑛體ヲ下三番坑中段ニテ發見シ之ヲ上下ニ於テ探鑛セル結果下二番坑ニ於テ著シク發展膨大セリ尙同鑛體ハ益々上部ニ向ツテ發展ノ傾向アリ又光盛河鹿下十番坑ニ於テモ從來ノ下部ニ相當スルモノヲ捕捉セル等ハ本年中發見ノ新優良鑛體ナリ

鑛脈ニアリテハ前年本山方面ニ於テ新口鑛上四東四十六井南立入内ニテ捕捉セル大正十五年鑛及四百八十尺(其ノ後大正十五年一號鑛ト改稱ス)ノ外新ニ本年ニナリテ五百十尺(大正十五年二號)及ヒ五百八十尺(大正十五年三號)ノ二鑛ト横間步下二番坑山市鑛入内ニテ千二十尺鑛トヲ捕捉セリ其ノ内大正十五年二號鑛ハ其ノ有效延長僅カニ二百四十尺内外ナレトモ他ノ二鑛ハ約六百尺ニ達シ孰レモ其ノ間鑛況概シテ良好ナリ

(探鑛)鑿岩機使用臺數増加ノ爲メ從來ノ壓氣機ノミニテハ其ノ壓力及壓搾空氣量不充分ニシテ到底鑿岩機ノ能率及之レニ伴フ工程ノ増進ヲ計ルコト困難ナルニ依リ通洞壓氣機室ノ東側ノ空地ニ三間×六間ノ建家ヲ接續増設シ之レニ「イン

ガソールランド」製PRE二型三百六十五萬馬力三相交流五十「サイクル」回轉數毎分二百十五ノ電動機ニ直結セル能力毎分壓搾空氣量千九百立方尺壓力百封度ノ壓氣機一臺ヲ増設セリ

又運搬能率ヲ増進スル爲メ前年ヨリ引續キ變更中ノ大型電氣機關車ハ本年度ニ於テ「ウエスチングハウス」製二十三馬力重量三・四噸ノモノ五臺及「シーメンス」製二十七馬力重量三・〇噸ノモノ三臺ヲ又鐵製鑛車ハ七百八十六臺ヲ完成スルニ至レリ

（選鑛）通洞第二選鑛場ハ設計變更中ノ處磁氣淘汰盤六臺及附屬機並ニ「ハンコックデガー」、片及處理用「エレヴェター」及「ボールグラニューレーター」各一臺及其ノ附屬機ヲ据付ケタリ

又粘土質銅鑛ハ從來第二選鑛場ニテ一般ノ粗鑛ト共ニ處理シ居タルモ取扱上頗ル不便ナルノミナラス一般粗鑛ノ實收率ヲ低下セシムル虞アルヲ以テ亞鉛選鑛場ヲ改造シ粘土質銅鑛ノ試驗選鑛場設置ノ計畫中ニシテ明年一月着手ノ豫定ナリ

尙既設鐵筋「コンクリート」廢石「ビン」ニ收容スル廢石ハ大塊、中塊、小塊粒及粉各種ノ混合物ナルヲ以テ坑内充填ニ最モ適當ナル小塊及粒廢石ノミヲ得ルコト困難ナルニヨリ既設廢石「ビン」ニ接近シ新タニ幅十五尺長サ三十尺地上面ヨリノ高サ四十尺ノ長方形容積約一萬三千九百五十立方尺ノ鐵筋「コンクリート、ビン」ヲ増設シ坑内充填用ニ適當ナルモノヲ收容スル目的ニテ明年一月中ニ工事ニ着手スル豫定ナリ

（製鍊）銅粉鑛燒結試驗ノ目的ニテ四月製鍊場内ニ徑七呎七吋長サ六十呎ノ「ロータリー、キルン」一基ヲ建設セリ

「コットレル」收塵機ノ收塵能力良好トナリ蒼鉛ノ原鑛増加シ且ツ其ノ品位モ向上セル爲メ既設ノ一列八槽ノモノ二列ノ電解槽ニテハ處理能力不足トナリ八月之レカ増設工事（從來ノ倍數即チ一列十六槽ノモノ二列ニ變更）ニ着手セルカ明

年一月中ニ完成ノ豫定ナリ

轉爐用橫置單筒式送風機ハ既ニ使用ニ堪ヘサルニ至リシヲ以テ之レヲ廢止シ新ニ電動機直結「ターボ」式送風機（送風量毎分一萬一千立方尺風壓十二封度電動機七百三十馬力）一臺ヲ設置スヘク十二月工事ニ着手セルカ明年四月完成ノ豫定ニシテ之カ完成ノ曉ニハ從來ヨリ遙ニ能率ヲ増進シ得ヘシ

又煙道内ニ「バンケ」式噴霧器ヲ採用シタル結果「コットレル」ニ於ケル鑛煙ノ脫塵率ヲ著シク増大シ煙害防止上良好ナル成績ヲ舉クルニ至レリ

（工作）小瀧變電所ハ從來出力千八百「キロワット」（百五十「キロヴォルトアンペア」十二臺）ナリシカ尖頭負荷殆ト全容量ニ達スルヲ以テ七月元通洞變電所ノ二百「キロヴォルトアンペア」變壓器十二臺ヲ移轉シ配電盤其ノ他建物等ハ其ノ儘ニテ出力二千四百「キロワット」ニ増加セリ

又通洞方面ノ負荷（重ニ選鑛動力）漸次増加ノ傾向アルヲ以テ通洞變電所擴張計畫中ニシテ同所現在出力二千四百「キロワット」（米國「ウエステイングハウス」社製二百「キロヴォルトアンペア」十二臺）ナルカ今回増設セントスル變壓器ハ千二百「キロヴォルトアンペア」四臺（内一臺豫備）ニシテ出力三千六百「キロワット」ニ増加セントスルモノナリ、該器ハ富士電機製造株式會社ノ製造ニシテ一次電壓一萬千「ヴォルト」二次電壓二千二百「ヴォルト」五十「サイクル」油入水冷式ニシテ高サ二千五百二十耗、幅九百四十二耗×千四百十二耗重量約五千磅ナリ

羽・黑・鑛・山・ 金銀銅鑛 栃木縣河内郡羽黑村 岡崎彰男

本年度ニ於テ左記設備ヲ新設セリ

一、瓦斯發動機

三十馬力

一臺

一、交流發電機

二十五「キロワット」

一臺

一、捲揚機

五馬力

一臺

一、「シンキング」唧筒

三馬力

二臺（一臺豫備）

加蘇・鑛山・滿俺鑛 栃木縣上郡賀郡加蘇村 今井榮之助

昨年十月開坑ニ着手シタル五號坑ハ本年一月末鑛床ニ逢着シ探掘ニ多大ノ便宜ヲ齎スニ至レリ、而シテ五號坑地並以下ニ於テ最モ鑛幅膨大セル部分（鑛幅三尺乃至十尺）ヲ延長二十五尺乃至三十尺ニ亘リ鑛床ノ傾斜ニ沿ヒ六十尺下部迄探掘ノ兼ネ掘下シ尙鑛物ノ存在ヲ認メタルモ湧水多クシテ排水ニ困難ヲ感スルニ至リタルヲ以テ此ノ部分ノ探掘及探掘ヲ中止シ新ニ六號坑ヲ五號坑ヨリ七十五尺下部ニ開坑シ之カ掘進ニ力ヲ注キタリ其ノ結果豫定延長二百三十尺ノ内年末迄ニ百六十五尺ヲ掘進シ殘部ノ開鑿ハ明年二月中ニ完成スル豫定ナリ

赤城根鑛山 金銀銅鉛亞鉛重石 群馬縣利根郡赤城根村 藤山常一

壓氣機捲揚機唧筒等ノ動力ハ從來東京電燈株式會社ヨリ受電シ居タルカ十月鑛區内赤城澤（俗稱下水良澤）ノ水ヲ利用シ出力二百「キロワット」ノ自家用發電所ヲ設置セリ

鑿岩機ノ使用臺數増加ノ爲メ二十五馬力「サリバン」横置單汽笛式空氣壓搾機（九吋×八呎常用壓力六十封度）一臺ヲ増設セリ

又銅、亞鉛、鉛ノ製鍊試驗ノ目的ニテ九月長サ十尺、幅五尺、高サ六尺、一日ノ熔鑛能力元鑛一噸ノ電氣爐一基ノ設置ニ着手シ明春二月完成ノ豫定ナリ

尙小松堅坑トノ連絡及探掘ノ目的ニテ昨年十月開鑿ニ著手セル大岩通洞ハ豫定延長三千五百尺ノ處年末迄ニ二千九百六

十六尺ヲ掘進シ明年五月末迄ニ竣工ノ豫定ナリ

葡萄・鑛山・銀銅鉛亞鉛鑛 新潟縣岩船郡鹽野町村 葡萄鑛山株式會社

前年ヨリ繼續掘下ケ中ノ一番鑛堅坑ハ七月ニ第一期工事ナル百十尺迄掘下ケ完成シ爾來同下一坑道地並ニテ同坑ヲ東西ニ鑛押シ探鑛中ニシテ引續キ下二坑道ノ開鑿ノ爲メ更ニ堅坑掘下ケニ着手ノ豫定ナリ

現在一番及三番鑛ノ下部鑛石ハ手捲、及五馬力輕便捲揚機ニヨリ捲揚ヲ爲スモ能率不良ノ爲メ五馬力輕便捲揚機ヲ利用シテ「スキップ」捲揚ニ改修中ニシテ一番鑛ニ於テハ明年三月中ニ、三番鑛ニ於テハ同五月中ニ竣工ノ豫定ナルカ之レカ竣工ノ曉ニハ從來八時間ノ捲揚工程漸ク五噸位ニ過キサリシヲ優ニ十二・三噸ヲ捲揚ケ得ヘク且ツ同一動力ニテ従業者ハ三分ノ一ニテ足ル豫定ナリ

選鑛ニ於テハ粗鑛出鑛量ノ増加ニ伴ヒ機械ノ不足ヲ生スルニ至リシヲ以テ八月ニ廻轉手選臺一臺、「クローム、ロール」一臺、「ハルツ」式「デガー」一臺、「ウキルフレー、テーブル」一臺ヲ増設シ從來使用シ來レル「スタンプ」(四杵一臺)ヲ廢シ更ニ十一月ニ「ウキルフレー」淘汰盤一臺ヲ増設シ以テ精鑛品位ノ向上ト實收率ノ増加ヲ來セリ

更ニ半精品及泥鑛處理ノ目的ヲ以テ「ハルツ」式「デガー」一臺、「ウキルフレー」淘汰盤一臺、「ボール、ミル」一臺及小型浮游選鑛機一臺ヲ増設スル計畫中ニテ來年五月頃着手シ八月頃迄ニ完成ノ豫定ナリ

高千鑛山・金銀鑛 新潟縣佐渡郡高千村 三菱鑛業株式會社

入川坑ノ赤岩脈ヲ東南ニ距ルコト二千二百米ノ地點ニ於テ含銀ニ富ミ脈巾一米東西ニ走リ七十度北落チノ良好ナル露頭アリ、之カ探鑛ニ着手シ鑛押掘進二十米餘ニ至レルカ含金百萬分ノ四、含銀千分ノ一内外ノ鑛石ヲ有セリ
前年着手シタル入川七番坑道開鑿工事ハ來年五月頃完成ノ豫定ナリ

又大正十四年着手セル入川及立島間連絡坑道開鑿工事ハ第一期工事タル入川四番坑、立島三番坑間ノ連絡ヲ明年二月末迄ニ完成スル豫定ナリ

尙漸次事業擴張ノ爲メ動力ノ不足ヲ告クルニ至レルヲ以テ入川水力發電所設置ノ計畫中ニシテ明年四月起工ノ豫定ナリ

寶鑛山 銅亞鉛硫化鐵鑛 山梨縣南都留郡寶村 三菱鑛業株式會社

從來坑内ヨリ產出ノ鑛石ハ二坑々外ニ於テ選鑛シタル上鐵索ニ依リ笹子驛ニ運搬シ市場ニ送り居タルモ此ノ鐵索ハ建設以來約二十年ヲ經過シ各部破損腐朽甚シク到底修理ニ堪ヘサルヲ以テ二坑ヨリ百三十五尺下部ノ第一疏水坑外ヲ起點トシテ現在ノ鐵索ニ略平行スル新鐵索ヲ笹子驛迄架設スルコト、シ六月工事ニ着手シタルカ來年一月中ニ完成運轉ノ豫定ニシテ其概要左ノ如シ

方 式 玉村單線式

延 長 二・〇九哩

兩端ノ高低差 二千三百二尺

運轉速度 一分間三百六十二尺(一時間約四哩)

運搬能力 一日十時間百五十噸

所要動力 最大三十五馬力 (動力ハ山元ニ五十馬力電動機ヲ設置シ鐵索並ニ選鑛ノ用ニ供ス)

神岡鑛山 金、銀、銅、鉛、亞鉛、蒼鉛、重石、砒 岐阜縣吉城郡船津町 三井鑛山株式會社

増產計劃中ノ茂住選鑛場變更工事ハ本年六月工事完成シ一ヶ月三千三百六十噸ノ元鑛ヲ處理シ鉛精鑛百六十五噸、亞鉛

精鑛七百二十五噸ヲ選鑛シ得ルニ至レリ

又製煉方面ニ於テ鉛電解槽五箇ヲ増設シ蒼鉛採收所北側ニ隣接セル銀電解場ヲ精製工場ノ一隅ニ移轉スルト共ニ電解槽一箇ヲ増設シ操業ノ圓滑ヲ計レリ

尙茂住坑ニ於テ三十五馬力空氣壓搾機ヲ七十五馬力「インガソル」型水平二段式空氣壓搾機ニ變更セリ

久根鑛山 銅、硫化鐵 靜岡縣磐田郡佐久間村 古河鑛業株式會社

東向一號鑛ハ以前上四番坑以上ノ採掘ニ止マリ上四番坑以下ハ複雑ナル斷層アルニヨリ其ノ正體ヲ露ハス迄ニ至ラザリシカ上一中段ニ於テ該鑛下部ニ相當スル含銅品位ノ高キ富鑛帶ニ遭ヒタルヲ以テ「シュリンケージ」採掘法ヲヨリ之カ出鑛ヲ見ルニ至レリ、上二番坑以上三番坑マテノ採掘ハ充填階段採掘法ヲ採用セントス

又低品硫化鑛浮游選鑛ノ發達ニ伴ヒ當山モ其ノ必要ニ迫ラレ從來ハ「M、S」式十區(六十馬力)浮選機一臺ノミニテ試驗的操業ヲ爲シタルニ過キサリシカ最近第三選鑛場ニ「M、S」式六區浮選機、「ボールミル」及「フィルタープレス」等ヲ設備シテ一ヶ月約二萬貫ノ浮選精鑛ヲ產出スル豫定ナリ

土肥鑛山 金銀鑛 靜岡縣田方郡土肥村 土肥金山鑛業株式會社

小山坑中鑛ト前鑛トノ落合點ヨリ下底五十尺ノ下坑道ヲ北ニ鑛押シ百六十尺ニシテ富鑛部ニ到達シ目下同坑道ト上部一番坑間ヲ採鑛中ナリ

小山坑口ヨリ七百八十尺ノ地點ヨリ九十五度ノ方向ニ鑛入ヲ開鑿シ掘進四百六十尺ニテ樹木畑鑛ノ富鑛部ヲ發見シ該鑛ヲ北ニ二百六十尺鑛押ヲ爲シタルモ品位低下セルヲ以テ中止シ南ハ六百九十尺鑛押ヲ掘進シ夫レヨリ勾配七度ノ上向斜道百十尺ニシテ蛭山一番坑ト貫通セシメ通氣及運搬ノ便ヲ計レリ

楠鑛六百尺ト七百尺ノ兩坑井附近ニテ下底ニ富鑛帶ヲ發見シ又竹藪鑛南鑛押ハ大鑛入着脈點ヨリ南ニ七百二十五尺掘進セルカ四百八十尺ノ地點ヨリ大直利トナリ目下採鑛準備中ナリ、七月下旬ヨリ小山坑東向大鑛入以東二百七十五尺ノ地點ニ於テ南側ニ豫定深度三百尺ノ新大豎坑ヲ開鑿シ既ニ百三十尺ヲ掘下ケタルカ其ノ加背十八尺×八尺ニシテ三區ニ區劃シ二區ヲ運搬用ニ、一區ヲ排水管及人ノ昇降用ニ供スルコト、シ七寸角松材枅ヲ以テ支柱シ五枅毎ニ臺枅ヲ入レ周圍ハ厚サ二寸ノ松板ニテ張り、之カ竣功ノ曉ハ坑底ヨリ東西ニ鑛入ヲ開鑿シ東ハ百七十尺ニシテ蛭山鑛ノ下部ニ、西ハ百八十尺ニシテ一脈ノ下部ニ到達スル豫定ニシテ着脈ノ後ハ各南北ニ鑛押掘進ヲ行ヒ上部一番坑間ノ富鑛部採掘ノ方針ナリ、而シテ豎坑掘下ケハ明年四月迄ニ竣工ノ豫定ナリシモ湧水増加セル爲メ勢ヒ竣工ハ遲延ヲ免レサルヘシ尙本年一月ヨリ楠一番坑ニ於テ大鑛入ヲ距ル八百七十尺ノ地點ヨリ二百四十六度ノ方向ニ鑛入ヲ開鑿シ年末ニ於テ延長七百八十七尺ニ達セルカ此ノ鑛入中數多ノ鑛脈ヲ發見シ其ノ内六百三十九尺ノ地點ニ位スル鑛脈ハ比較的良好ニシテ南ニ百五尺北ニ五十九尺ヲ鑛押セリ

繩地鑛山 金銀鑛 靜岡縣賀茂郡白濱村 住友合資會社

本年一月又根鑛下部探鑛ト排水トノ目的ニテ白濱下部坑ノ一部ヲ利用シ第二疏水坑開鑿ニ着手シ目下稼行中ノ富鑛帶中ニ開鑿セル掘下豎坑直下マテ延長千百五十尺ヲ掘鑿ノ豫定ニシテ坑口ヨリ五百尺ニテ着脈シ目下鑛押掘進中ナリ

尾小屋鑛山 金、銀、銅、鉛、亞鉛鑛 石川縣能美郡西尾村外一 合名會社橫山鑛業部

本年六月舊坑薄身鑛入山崎脈ヲ距ル千百尺ノ地點ニ於テ走向北四十度西、傾斜南西ヲ示セル一鑛脈ニ出會スルコトヲ得タリ之ヲ新盛鑛ト名付ケ鑛幅一尺乃至五尺含銅三%内外ニシテ多少ノ中山ヲ介在シ網狀ヲ呈スト雖モ相當望ヲ囑スルニ足ルヲ以テ銳意掘進探鑛ニ努メ本年末五百尺ノ延長ニ達シ今後引續キ探鑛ノ豫定ナリ尙ホ昨年三月着手以來繼續セル第

六脈堅坑掘下ケハ本年八月豫定ノ延長四百五十尺ヲ以テ完成ヲ告ケ更ニ下底ヨリ第六脈ニ打當テ山向キ即チ西方ニ約二百尺ヲ進メ引續キ探鑛中ナリ

生野鑛山 金銀銅鉛錫亞鉛蒼鉛重石砒鑛

兵庫縣朝來郡生野町

三菱鑛業株式會社

金香瀬五井ヲ中心トスル富鑛帶ハ下部ニ進ムニ從ヒ更ニ優勢ナル鑛況ヲ呈シタルニヨリ本年九月ヨリ更ニ下底部ノ探鑛ヲ目的トシテ十五番坑道ヨリ五井堅坑ノ掘下リヲ開始シタリ右ハ高距五〇米ニシテ十七番坑迄開鑿ノ豫定ナリ

前年來稼行中ノ十三番坑北押ハ前年十二月末着脈シ本年十一月迄北押ヲ續行セリ鑛況十一番ニ比シ遙カニ優勢ニシテ走向延長一三〇米餘幅員平均二・五米銅品位約二・五—三・〇%ヲ有シ本坑稀ニ見ル富鑛帶ナリ

九番十二井堅坑以南ノ鑛況良好ナルト南部方面ノ進展ニ伴ヒ本年一月掘下ヲ初メシ九番十二井堅坑ノ延長作業ハ本年四月十一番坑ニ貫通セリ堅坑ノ大サ四・五米×一・五米ニシテ全延長四二米ナリ追テ「ゲージ」昇降運搬ヲ開始セントスルモノナリ

六番十三年鑛ハ前年ヨリ引續キ本鑛南三〇號富鑛帶ヨリ立入ヲ施シ本年四月着脈シタルニ鑛況五番坑地並比ニシテ遙カニ優勢ニシテ幅平均五米餘銅品位約三%、亞鉛鑛ノ良鑛ヲ隨伴セリ鑛押約四〇米ナルモ更ニ北部ニ發展ノ豫定ナリ

前年ヨリ續行シタル慶壽五番立入ハ本年一月着鑛シタルニ上部ヨリ掘下リタル舊坑ニ會シ側壁ノ殘鑛見ルヘキモノアリ之ヲ南北ニ展開シタルニ南押ハ本年前半鑛況良況ナラサリシモ後半鑛況優勢トナリ約五〇米ノ富鑛帶ヲ獲得シタリ亞鉛鑛ノ良鑛ト共ニ銅品位又見ルヘキモノアリ

金盛鑛南部ノ開發ヲ目的トスル五番南押及ヒ蟹谷鑛ニ於ケル五番蟹谷中坑南北押ニ於テハ銳意探鑛ノ結果閃亞鉛鑛及ヒ方鉛鑛ノ殊ニ濃厚ナル富鑛帶ヲ發見シタリ前者ハ幅員平均一・五米延長三〇米後者ハ幅員五米ニ達シ延長十五米ナリ何

レモ尙探鑛中ニ屬ス

蟹谷鑛ノ中部並ニ南部下底ノ探鑛ヲ目的トスル蟹谷二番立入、同九番立入、慶壽鑛ノ下底ヲ探鑛セムトスル慶壽九番立入ハ各々本年度ニ於テ開始セラレシモノニシテ注目スヘキ開坑トス何レモ鑿岩機ヲ使用シツ、アリ

金香瀨坑ノ發展ト共ニ運搬方法ノ改革トシテ本年六月ヨリ太盛、金香瀨連絡工事ヲ開始セリ即チ兩者ヲ五番坑ニ於テ連絡セシメ且之ヲ電車軌道トナシ金香瀨坑ノ產出鑛ハ總テ之ニ集中シ一方太盛堅坑ニ捲揚機ヲ新設シ之ニヨリ本部選鑛場トノ連絡ヲ圖ラントスルモノニシテ該工事ハ昭和三年五月迄ニ碁、泥土ノ搬出及支柱作業等ヲ了ラハ直チニ二〇封度軌條ヲ敷設シ電車ノ觸輪線ヲ架設シ六月中ニ工事完成スル豫定ナリ

次ニ本部選鑛場内ニ於ケル主ナル施設變更トシテ選鑛廢泥ノ處理場並ニ架空索道ノ新設ヲナセリ之等施設ノ概要左ノ如シ

廢泥處理ニ關スル設備

- | | |
|--|-----|
| 一、複式「ドラッグベルト」(幅三〇吋) | 一 臺 |
| 二、「ドール、シツクナー」(徑三〇呎深八呎) | 二 臺 |
| 三、粘土唧筒 <small>(「シリシダー」徑二吋半「ストローク」五吋)</small> | 二 臺 |
| 四、電動機(三相交流十五馬力) | 一 臺 |
| 五、同 (三相交流十二馬力) | 二 臺 |
| 六、渦卷「サンド、ポンプ」 | 二 臺 |
| 七、貯 滓 庫 | 一 棟 |

架空索道

一、方式 玉村單線式

二、兩端ノ距離及高低

延長 一、七〇〇尺

高低差 五六二尺

三、能力(最大運搬量) 一日上荷二〇〇噸(一〇時間)

四、綱索種類

「ラングスレー」七本線六撚中心麻入

材質

「ライト、スペシャル、インブルー」グド、バテント、スタイル」

直徑

一時八分ノ一 重量 二・〇三封度每呎

抗張力

最大抗力四六噸

最大作用張力五噸四分ノ三

五、搬器自重

三四〇封度

最大積載量

五六〇封度

間隔

二七二尺

六、綱索速度

三六三尺毎分

七、原動機

三相交流電動機

同 實馬力

五〇馬力
三九馬力

又製煉設備ニ關シテハ錫製煉場ニ於テ煙害除去ノ施設トシテ「コットレル」收塵裝置一臺ヲ増設シタリ

更ニ神子畑選鑛場ハ從來ノ如ク明延鑛山ノ鑛石ヲ處理シツ、アルモ本年一月ヨリ其所屬ヲ生野鑛山ニ變更セリ同選鑛場ニ於テハ錫粗鑛過碎ヲ妨止シ採收實收率ノ向上ヲ圖ル目的ヲ以テ左記施設ヲ増設セリ

施設機械ノ種類

一、「スクリーン」	二 臺	一 臺ノ能力 時 間	二・〇 馬	一 臺ノ 實馬力ノ	一・五
一、六 呎×十六 呎 「コニカルボールミル」	一 臺	ク	二・五	ク	三〇・〇
一、二〇 吋×四 吋 「ドラツグベルト」	一 臺	ク	三・〇	ク	〇・五
一、#六「ウイルフレ イターブル」	二 臺	ク	二・〇	ク	〇・五
一、十二吋「エシヴエ イター」	二 臺	ク	四・〇	ク	一・五

尙用水ニ關シ從來渴水ノ場合ハ選鑛場最下段川並ヨリ二五〇尺ヲ揚水シ使用セシヲ改メ選鑛廢水ヲ再使用スル事トセリ之ニ依リ揚水高程ヲ縮少シ併セテ廢水放流量ヲ減少セシムルヲ得タリ

其ノ設備左ノ如シ

一、井ノ口式「タービンポンプ」

一 臺

揚水ノ高程

八〇呎

揚水量(一分間)

七〇立方呎

附屬二〇馬力「モートル」

一 臺

一、十六呎×十六呎用水槽

一 個

更ニ神子畑選鑛場ノ將來ノ計畫トシテ廢泥鑛ノ除水並ニ捨石ノ容積輕減ヲ期スル目的ヲ以テ「オリバーファイルター」二臺

ヲ設置中ナリ

明延鑛山 金銀銅鉛錫重石

兵庫縣朝來郡山口村外二

三菱鑛業株式會社

本山下底ノ探究ヲ目的トスル大仙堅坑掘下ケヲ更ニ二百尺延長シ本年三月梓組ヲ完成セシヲ以テ四月ヨリ豫定ノ如ク四百尺坑赤榮鑛入ヲ開始シタリ高サ二・一米幅一・八米豫定掘進四九〇米トス

本鑛入ハ掘進二十四米ニシテ大仙鑛ニ會シタリシニ脈幅最大四・二米最小二米ニシテ錫約二・五%ヲ含有スル富鑛帶ニ逢着セリ目下南北鑛押ヲシツ、アリ更ニ二百七十二・七米ニシテ二本松鑛ニ會セリ脈幅約二・五米錫約二%ヲ含有シ鑛況良好ナリ同鑛入ハ引續キ赤榮鑛ニ向ヒ掘進中ナリ排水設備トシテ鑛入口ニ一五馬力「タービンポンプ」一臺ヲ設置ス

前年八月ヨリ開始シタル赤榮五坑鑛谷行鑛入ハ本年七月掘進二〇三米ニシテ會脈ス脈幅平均一・六米ニシテ鑛況不良ナレドモ引續キ南北鑛押中ナリ

南谷坑ニ於テハ本年四月五十尺十二號ニ於テ從來鑛層ノ上部中石約三米ヲ挾ミテ第二層(厚サ二米)ニ掘當テ爾來銳意之ヲ探鑛中八月ニ至リ之レカ存在確實トナレリ更ニ十月第二層ノ上部中石二・八米ヲ挾ミテ第三層(厚サ二米)ヲ發見ス其含銅量ハ第二第三共ニ第一層ヲ凌駕シ鑛況益々良好ナリ

斯クノ如ク明延坑ノ下底開發、南谷坑ノ發展ニ基キ將來増產ニ伴フ運搬量増加ヲ計ル目的ヲ以テ一時中絶セシ神子畑選鑛場ニ至ル三千九百三十五米ノ隧道開鑛ヲ再開セントスル計畫ハ目下準備作業中ニシテ明年度ニ入ルト共ニ南北兩口ヨリ鑛岩機ヲ以テ掘進シ殘餘二千二百六十七米ノ掘鑛ヲ行ハントスルモノナリ

竹野鑛山 金銀

兵庫縣城崎郡中竹野村

久原鑛業株式會社

鑛床ノ下底ヲ探鑛スル目的ニテ本年一月七坑ヨリ堅坑開鑿ニ着手シ四月同坑ヨリ百尺下底ナル八坑地並ニ到達シ更ニ鑛入百五十尺ニシテ鑛脈ニ逢着セリ爾來八坑地並ニ於テ鉋押探鑛中ニテ年末ニハ其掘進約百尺ニ達シ鑛況ハ依然トシテ良好ナリ尙本脈ノ北部探鑛ノ目的ヲ以テ四坑準ニ於テ切上リヲ設ケ既ニ三百尺餘ニ達シタリ其間百尺毎ニ百尺餘ノ鉋押探鑛ヲ試ミシニ幅員六尺銀分ニ富ム富鑛帶ヲ發見セリ

八坑堅坑及八坑道開鑿ノ結果其運搬及排水ニ便スル爲メ電力十馬力單胴式捲揚機「スキップ」裝置及左記唧筒ヲ設置シタリ

橫置「タービンポンプ」	五十馬力	揚程三百尺	揚水量	五十立方尺	二臺
〃	三十五馬力	〃 百尺	〃	〃	二臺
堅型掘下唧筒	三十馬力	〃 三百尺	〃	三十立方尺	一臺

沖ノ浦鑛山 金銀銅 兵庫縣城崎郡口佐津村 久原鐵業株式會社

本年二月ニ入り八坑道準ニ於テ本脈ニ向ヒ鑛入ヲ施シ掘進七十餘尺ニシテ着脈スルコトヲ得鑛況依然トシテ良好ナルノミナラス鑛幅四尺ヲ示シ含銅含金モ亦相當高率ニシテ既ニ鉋押三百餘尺ニ達スト雖モ尙ホ好況ヲ持續セリ

斯クノ如ク本脈ノ下底益々有望ナルヲ以テ同二月鑿岩機ニ依リ從來八坑迄掘下タル堅坑ノ追加進鑿ヲ試ミ五月百尺ニシテ九坑ニ達シ同時ニ同坑準ニ於テ西南ニ鑛入ヲ開始シ本年十一月末迄ニ六十尺ヲ進メ目下探鑛中ナリ

壓氣機ハ從來「センチネル」型百二十馬力一臺ヲ使用シ「インガール」型五十馬力一臺ハ豫備ニ過キサリシモ探鑛箇所ノ増加ニ伴ヒ兩者ヲ併用スルコト、シ更ニ足尾式五番型鑛燒機一臺ヲ設置ノ上重油ヲ以テ燒入ヲ行ヒ又排水設備トシテ九坑道準ニ毎分十立方尺揚程三百尺十馬力ノ堅型唧筒一臺ヲ増設セリ

尙ホ原動力モ亦事業ノ進捗ニ伴ヒ増加ヲ來タシ現在百五十「キロワット」ノ電力ヲ要スルニ至レリ

鉛・山・鑛・山・金銀銅鉛亞鉛硫化鐵 和歌山縣西牟婁郡瀬戸鉛山村 扉 庄右衛門

朱雀鑛ハ二坑道西向七百五十尺ノ地點ニテ五十尺掘下シ更ニ其ヨリ東西ニ鑛押坑道二百五十尺ヲ掘進シタルニ鑛況概ネ良好ニシテ鑛幅平均二尺内外アリ鑛床ハ硫化鐵其他ノ夾雜物少ク主トシテ閃亞鉛鑛ヨリナリ而モ探鑛ノ結果下底部次第ニ肥大セル狀況ナルヲ以テ更ニ鑛押掘進ヲナスト共ニ下方ハ掘下リ探鑛スヘキ豫定ニシテ目下其準備中ナリ

通氣不良並ニ湧水多量ノ爲メ中止中ナリシ金龍鑛ノ探鑛ハ本年度其計畫ヲ變更シ新ニ上總掘法ヲ改良シテ製作セル鑿井機(六馬力石油發動機ニ連結)ニ依リ通風井ノ掘鑿ニ着手シ豫定延長二百五十尺ノ内年末迄ニ五十尺ヲ進鑿セリ又前年末掘進中ノ乙姫下第二坑ハ本年度ニ於テ斜坑ヨリ千百尺ノ地點ニ達シ鑛況ニ於テ同第一坑ト大差ナシ

選鑛ハ前年機械設備増設以來成績良好ニシテ操業ハ從來晝間ノミナリシヲ本年度ヨリ晝夜作業トシ七吋「ピストン」唧筒一臺ヲ増設シ尙浮游選鑛ノ適否ニ付試驗中ナリ

海岸ノ鑛石積込場ハ從來設備不充分ノ爲メ漸ク百五十噸級ノ汽船ヲ入ル、ニ過キサリシカ本年度棧橋新設ノ結果七百噸級ノ汽船ヲ廻航シ得ルニ至リ積込甚タ便トナリ爲メニ著シク運搬賃ヲ遞減スルニ至レリ

飯・盛・鑛・山・銅硫化鐵 和歌山縣那賀郡麻生津村外一 古河鑛業株式會社

前年度ヨリ計畫セル五坑道西向約三千五百尺ノ地點ニ於ケル斜距離三百四十尺ノ下部鑛石捲揚用斜坑開鑿ハ本年十二月初旬漸ク著手ノ運ニ至リ本年末迄ニハ其準備作業トシテ延長四十四尺ノ坑道切替、五坑鑛石漏斗等ノ施設ニ止マリ斜坑ノ開鑿ハ次年度ニ譲ルコト、セリ

排水設備トシテ本年六月五坑堅坑下底ニ揚水量毎分十五立方尺十五馬力ノ四段「タービン」唧筒一臺ヲ増設シ更ニ五坑道

ニ鑛車運搬用トシテ機關車運轉ノ計畫ヲ立テ同坑道ヲ改修シ從來敷設セル十二封度軌條ヲ十八封度ニ置換スルコト、シ本年度中五坑西三千尺ノ進行ヲ見タリ又原動力ハ從來京阪電鐵株式會社ヨリ五十「サイクル」三千「ボルト」ニテ購入セルモ六月ニ入り六十「サイクル」三千「ボルト」ニ改メタリ

岩・美・鑛・山・ 銀銅 鳥取縣岩美郡小田村 久原鑛業株式會社

探鑛ニテハ前年度ヨリ繼續セル大切坑探鑛坑道掘進ニ依リテ大盛鑛ノ上磐約六百米ノ位置ニ於テ新鑛體ヲ發見シ相山鑛ト命名セリ右ハ尙鑛押探鑛中ニ屬スルモ本年中ノ掘進延長三百三十米鑛巾二、五米含銅品位四%アリ鑛況甚ダ優勢ナリ選鑛ニ關シテハ昨年十月機械選鑛場ヲ新設シタルニ成績良好ニシテ最近鑛況ノ發展ト相俟ツテ本年十一月ヨリ更ニ粗鑛十萬貫ヲ加ヘ八十五萬貫ヲ處理スルニ至レリ

公害除去ノ施設トシテ前年度ヨリ繼續工事中ノ面積約百六十坪深サ九尺ノ新設鑛水處理澱物置場及ヒ鑛業所下流ノ一部落ニ對スル左記上水供給裝置ハ何レモ本年度ニ於テ完成シ使用ヲ開始セリ

第一貯水池 巾十五尺 長四十八尺 深八尺

第一濾過池 六尺立方

第二貯水池 巾十八尺 長三十三尺 深九尺

第二濾過池 六尺立方

笹・ケ・谷・鑛・山・ 銀銅亞鉛砒 島根縣鹿足郡畑迫村外一 堀鑛業株式會社

堅坑第一坑道ニテハ本年十月北方下部ニ偏在セル鑛塊ヲ捕捉シ爾來探鑛中ノ處長サ二十尺深サ二十尺品位平均銅一二%砒素七%ノ良鑛塊ニシテ尙優勢ニ發展スヘキ形勢ナリ

又豎坑第二坑道東押ニテ幅四尺内外ノ鑛脈ヲ追ヒテ探鑛掘進中走向ニ於テハ三十尺ヲ出ツルナキモ幅員最大四十尺ニ達シ銅品位一八%ノ富鑛部ニ逢著シ尙下底ニ於テモ鑛況益々優勢ナルヲ確認セリ

豎坑第三坑道ニテハ本坑最下底ニ於テ東部安山岩脈ニ接觸セル鑛帶探究ノ目的ニテ本年度始メ東押坑道掘進ニ著手シ年末ニハ豎坑ヨリ三百尺ノ地點ニ達シタルガ未ダ其目的ヲ達セザルモ來年度更ニ掘進ヲ繼續シテ豎坑第二坑道地並ニ於ケル富鑛部ノ下底迄進行スヘキ豫定ニテ其延長ハ約百尺ナリ尙豎坑第三坑道下底ノ探鑛ニ於テハ其掘下坑道ノ延長ニ從ビ之ヲ捲揚斜坑トナスヘク年末迄ニ四十尺ヲ改修シテ輕便電氣捲揚機ヲ据付ケ下底作業ノ便ニ供シタリ高地坑ノ下底及篠原坑ノ鑛先タル長福山露頭ノ下底ヲ探鑛スルノ目的ニテ連續掘進シツ、アル七番坑西押坑道ハ本年度百七十尺ヲ掘進シ總延長ハ三千二百尺ニ達シタリ

次ニ選鑛方面ニ於テハ本年三月銅鑛選鑛場ノ設置工事ニ著手シ年末ニハ殆ント工事竣成セルヲ以テ來年度ハ直ニ操業ヲ開始シ一ヶ月粗鑛六十五萬貫品位銅一・四%砒素二・四三%ヲ處理シ銅精鑛十二萬五千貫品位銅六%及ヒ砒精鑛六萬貫品位砒素二〇%ヲ製出スヘキ豫定ナリ設備ノ大要左ノ如シ

「ブレーキ、クラツシャー」

十五馬力

一

「」

十馬力

一

「ドツヂクラツシャー」

同

一

護謨帶運鑛機

二馬力

一

護謨帶旋回手選鑛機

同

一

打拔鐵板製トロンメル

一馬力

一

同二區聯續トロンメル

二馬力

一

「ハルツデッガー」

六馬力

四

「ウイルフレイ、テーブル」

二馬力

二

「バケツト、エレベーター」

同

三

「コニカル、ボールミル」

十馬力

一

給水用「タービンポンプ」

五馬力

一

横置攪拌式浮遊選鑛機

六馬力

二

交流三相式電動機

四十馬力

一

同

十五馬力

一

同

十馬力

一

同

五馬力

二

原動力ハ出雲電氣株式會社ヨリ電力ノ供給ヲ受クルモノナリ

吉岡鑛山 金銀銅亜鉛硫化鐵砒

岡山縣川上郡吹屋町外一

三菱鑛業株式會社

萬歲鑛下部探鑛ノ目的ニテ本年十月八番坑道ヨリ豎坑開鑿ニ著手シ豫定延長八十米ノ内年末迄ニ四十米掘進シ又大深千軒下部方面探鑛ノ目的ニテ三番、五番、六番及七番各坑ヨリ鍬入掘進ヲ開始シ大ニ探鑛ニ努力中ニテ其開鑿並ニ排水ニ便スル爲メ左記設備ヲ増加セリ

壓氣機「インガートソルランド」ERI型單式

百馬力

一

鑿岩機

同

N七〇「ドリル」

二

同

BCRW二三「ドリル」

二

足尾式

一番型「ドリル」

二

唧筒「タービン」式最大揚程四五〇呎最大揚水量毎分五〇立方呎

六五馬力

一

選鑛ニテハ漸次取扱原鑛品位低下セルヲ以テ處理鑛量及實收能率ヲ増加スヘキ目的ニテ本年度左記設備ヲ増設セリ

手選帶、從來中心距離三十一尺ナリシヲ五十五尺二寸五分ニ延長

一

手選片刃鑛舍

容量八十瓩

一

十二吋「バケットエレヅエーター」

能力一時間

八瓩

二

六呎×二十二吋「ハーデンチボールミル」同

二瓩

一

三十吋「ドラッグクラシファイヤー」同

六瓩

二

徑六尺深五尺「コロコーン」同

五瓩

一

MK型浮遊選鑛機

同

二瓩

一

「マツキントツシュ」型

同

二瓩

五

(從來ノ「インスピレーション」型五ハ廢止)

十四吋「バケットエレベーター」

同

一〇瓩

二

電動機

十馬力

一

同

三十五馬力

一

電動機

五十五馬力

沈澱池 巾三十六尺長六十尺深四尺五寸乃至八尺五寸

三

江・與・味・鑛・山 銀銅硫化鐵 岡山縣御津郡江與味村 住友別子鑛山株式會社

七番坑道下底探鑛ノ目的ニテ前年度開鑿ニ著手シタル同坑掘下斜坑ハ本年度八番坑地並ニ達シ更ニ同坑道ヲ百三十米探鑛掘進シタルカ鑛況ハ上部ト大差ナシ右掘下リノ爲メ該斜坑ニ電力十馬力複胴捲揚機「スキップ」裝置ヲ設置セリ

次ニ選鑛ニ於テハ前年來試驗ノ結果左記設備ノ選鑛場設置ノ計劃成リ來年度直ニ其工事ニ著手スル豫定ニテ竣工ノ上ハ從來推積貯鑛セシ片刃鑛モ漸次處理スヘキ方針ナリ

單胴式スキップ捲揚機

二十五馬力

五十ミリ移動式「グリズリー」

巾一米

長二、三米

一

「ロールジョウクラツシヤ」

十四時×七時

一

二五ミリ「克蘭ク」式「セーキングスクリーン」

巾〇、六米

長三米

一

二〇吋「ベルトピツキングコンベヤ」

長一〇、五米

一

「プレーキクラツシヤ」

十時半×五時

一

二五ミリ篩

巾一、二二米

長二、四四米

一

「クロームロール」

十時×二十時

一

二段式「セーキングスクリーン」

巾〇、四米

長一、八米

一

「ハルツヂツガー」

三區

一

「ハンコックデツガー」	幅六〇六ミリ	長三、六三六ミリ	一
「ウキルフレーテリブル」	幅二、一二米	長五米	二
「カローコン」	容量 四、三立方米		一
「フローターター」	「ドラム」六二〇ミリ×三六〇〇ミリ		一
「ポンプ」	揚高七米	回轉數一、三五〇	一
三相交流電動機	二十五馬力		一
同	十五馬力		一
同	二馬力		一
同	五馬力		一
同	七馬力		一
同	十馬力		三

●●●
柵原鑛山 銅硫化鐵

岡山縣久米郡吉岡村外二

藤田鑛業株式會社

昨年九月發見セル新鑛體ハ其大サヲ確定センカ爲メ本年ニ入リテモ引續キ鑛體中ヲ四方ニ坑道掘進ノ結果四番坑地並ニ於テ東西六百尺南北三百尺餘ニ及ヒ上部ハ充填坑道ニ連リ下部ハ六番坑道ニ於テ猶ホ優勢ヲ示スヲ以テ高距優ニ五百尺ヲ超ユルコト確實ニシテ而カモ鑛體中殆ンド岩石其他ノ夾雜物ヲ含ムコトナク品質極メテ良好ナルゴトヲ確認セリ又前年來ノ計劃タル新舊二大鑛體ノ中間ニ設ケンストスル新堅坑ニ連絡スヘキ鑛入坑道ノ掘鑿ハ一番二番四番及六番坑道準ノ豫定總延長二千二百尺ノ内本年末迄千七百十尺ヲ進メタル外年末ニ於テ深サ地表ヨリ七百尺大サ梓内四尺×八尺ノ

三區ヨリナル鐵骨構造ノ前記新豎坑開鑿ニ著手セリ

右ノ外探鑛ニアリテハ鑿岩機ノ増加ニ伴ヒ左ノ如ク壓氣機ノ増設及捲揚機ノ改造ヲナセリ
空氣壓搾機

「インガソルランド」PREI2型複式電動機直結型

排氣量 毎分千三百二立方尺

空氣壓力 八十乃至百十「ポンド」

附屬電動機 二百二十五馬力

第二豎坑改造捲揚機

複胴式電氣捲揚

胴ノ徑 五尺

胴ノ幅 三尺

附屬電動機 百五十馬力

選鑛ニ於テハ久木選鑛場ノ擴張及粉鑛増量ノ爲メ左記ノ増設ヲ見タリ

「ロール」 一

「トロンメル」 一

「バケツトエレベーター」 一

「ベルトコンベヤー」 一

久宗鑛山 銅硫化鐵 德島縣麻植郡三山村外一 南海鑛業株式會社

前年ヨリノ繼續作業タル試錐探鑛ハ本年七月末中止シ之ニ代フルニ久宗大内鑛區ヲ中心トシテ電氣探鑛ヲ開始シ十二月
中旬迄數箇所ニ試ミタルモ目下調査中ニシテ結果ノ成否ヲ知ルニ至ラス

尙從來殆ント探鑛ノミニ過キサリシモ本年二月ヨリ小規模ノ探鑛及選鑛ヲ開始スルニ至レリ

淺川鑛山 銅硫化鐵 德島縣海部郡淺川村外一 平野 銅 吉

鑛床ハ北方ニ七十度内外ノ傾斜ヲ以テ上部ヨリ下部ニ順次扁豆狀鑛塊連續シ而カモ下部ニ進ムニ從ヒ其大サヲ増加スル
傾向アリ從來上部ノ連續セル小鑛塊ヨリ第一、及第二ノ鑛塊ヲ稼行中ナリシモ本年ニ入り第三豎坑ニ於テ含銅八%ヲ示
シ殆ント岩石其他ノ夾雜物ヲ含マサル新鑛塊ヲ發見シ其大サヲ確定セルカ爲メ銳意探鑛ノ結果九月ニ至リテ垂直距離約
百二十尺肥大部ノ長徑約百二十短徑又百尺ヲ下ラサルモノナルコトヲ確認セリ

尙引續キ下部ノ探鑛ヲ行フト共ニ將來人力捲揚機ヲ電力捲揚機ニ變更ノ計畫ナリ

高越鑛山 銅硫化鐵 德島縣麻植郡三山村 共立鑛業株式會社

從來ノ趨勢ニ鑑ミ猶下底ニ多大ノ鑛量ヲ埋藏スルモノト認メ專ラ下底ノ探鑛ニ努メツ、アルハ前年ト同一ニシテ本年四
月ニ入り大通洞(從來第二通洞ト稱シタルモノ)下三百尺準大豎坑ノ西方二百尺ノ位置ニ於テ斜坑開鑿ヲ企テ本年末迄百
五十尺ヲ進メ鑛幅五尺乃至十尺含銅五%ナル鑛體ノ存在ヲ確認シ掘進繼續中ナル外同三百五十尺準ニ於テハ前記斜坑ヨ
リ左右ニ鑛押ヲ試ミ現在二百尺餘ノ進展ヲ見鑛況益々優勢ナルヲ以テ引續キ掘進探鑛中ナリ

更ニ大通洞下三百六十尺準以下ノ探鑛ヲ目的トシ垂直ニ掘下リ掘進中ニシテ此延長本年末ニ於テ四百十尺準ニ達セリ又
大通洞下二百二十尺準大豎坑ヲ西方ニ距ル六百六十尺ニ於テハ大斷層以西ノ鑛體ヲ究メントシ「ダイヤモンドボーリン

グ」ヲ以テ銳意探鑛中ニ屬ス

抑モ當山鑛床ノ走向ハ大通洞以上ニテハ東西ヲ示シタルモ下部ニ進ムニ從ヒ漸次走位ヲ變シ大通洞下二百五十尺乃至三百尺準ニ於テ北五十度乃至七十度西トナリ三百尺準以下ニ至リテ急激ナル變化ヲ來タシ三百五十尺準ニ於テハ北二十度乃至六十度西トナレリ

尙既設大豎坑ハ從來大通洞下二百二十尺準迄ニシテ之ヨリ該通洞下三百尺準ニ至ル間ノ運搬ハ隨所ニ設ケタル斜坑及小豎坑ニ據リタルモ下底ノ進展ニ伴ヒ漸ク不便ヲ感セシムルヲ以テ前記三百尺準ニ於テ大豎坑トノ連絡ヲ主タル目的トシ前年來鑿岩機ニヨリ掘進繼續中ノ處本年度ノ延長八十八尺ニシテ同三月末大豎坑直下ノ位置ニ達スルコトヲ得更ニ同所ヨリ該大豎坑ニ連絡セシメンカ爲メ本年四月一日鑿岩機ヲ用ヒ加背十七尺×八尺高距八十尺ノ大豎坑切上リヲ開始シ五月末之カ貫通ヲ見タリ其他下底ノ探鑛ヲ兼ネ大豎坑ト併用運搬ノ目的ヲ以テ大豎坑ノ西四百尺ノ個所ニ於テ大通洞下三百六十尺準ヨリ掘下リヲ試ミ八月一日作業ニ著手手掘リヲ以テ十一月迄四百十尺ヲ進メ又大通洞下四百尺準ニ於テハ將來ノ運搬坑道ヲ兼ネ同坑道準ニ於ケル探鑛ヲ目的トシ本年十二月一日大豎坑ノ西四百尺ノ位置ヨリ大豎坑直下ニ向ケ六尺×七尺ノ加背ヲ以テ手掘リ掘進ヲ開始シ本年末迄ノ延長二十六尺ニ及ヘリ

金山鑛山 銅硫化鐵

愛媛縣喜多郡用海村外一

三菱鑛業株式會社

前年來電氣探鑛ノ結果實施セル試錐探鑛ハ未タ新鑛床ヲ發見スルニ至ラサリシヲ以テ本年十一月ヨリ更ニ鑛區東部ニ於テ南北線ニ沿ヒ試錐十本餘ヲ試ル計畫ニテ改良上總掘式試錐機及三馬力電動機各三臺ヲ増設シ目下作業中ナリ又坑内ノ探鑛トシテハ新盛坑ハ三坑道以下ヲ探掘スルヲ目的トシ本年七月同坑道ヨリ三十二度ノ傾斜ニテ斜坑開鑿ニ著手シ年末迄ニ約百尺ヲ掘進セリ

九町鑛山 銅硫化鐵

愛媛縣西宇和郡町見村外一

浦中友次郎外二

前年來工事中ナリシ當山選鑛場附近ナル大岳漏斗ヨリ海岸貯鑛場ニ至ル延長八百三十九間ノ馬車軌道及海岸阜頭ニ於ケル積込用鐵製棧橋ハ本年四月工事完成シ使用ヲ開始シタリ

別子鑛山 金銀銅硫化鐵

愛媛縣宇摩郡別子山村外二

住友別子鑛山株式會社

別子本山ニ於テ昨年度ヨリ續行セル十五番坑ノ開鑿ハ本年末ニ於テ延長四百六十七尺ニ達シタリ鑛況依然トシテ變化ナシ、筏津支山四番坑ヨリ鑛脈ニ沿ヒ掘下リ二百尺ノ點ニ於テ五番坑ノ開鑿ニ著手シ本年度ニ於テ四百四十尺ヲ掘進セリ鑛況變化ナシ、又筏津一ノ谷「ダイヤモンドボーリング」ハ深度二百九十尺ノ豫定ノ位置ニ於テ鑛幅約五寸ノ硫化鑛床ニ出會セリ

次ニ別子本山ニ於テ坑道保存ノ目的ヲ以テ十番坑道東三號ヨリ同六號ニ至ル千二百尺間下磐約二十尺ノ位置ニ切換坑道ノ開鑿ニ著手シ既ニ三百九十九尺ヲ掘進セリ、又將來東二號斜坑ヲ開鑿スル準備作業トシテ本年十一月ヨリ十一番、十二番、十三番坑道ヨリ鑛入開鑿ニ著手セリ

坑内運搬設備ノ改良トシテ大堅坑「ガイドレール」ハ本年全部ノ取換ヲ了シタリ昨年末東斜坑ノ完成ヲ見シ以來十一番坑道以下各坑道ノ鑛石ハ主トシテ同斜坑ニ依リ搬出スルコトニ變更サレ茲ニ全ク運搬系統ノ變化ヲ見ルニ至レリ

選鑛設備ニ於テハ昨年度ヨリ起工セル端出場手選鑛場略完成シ八月ヨリ既ニ一部ノ運轉ヲ開始セリ、右ハ本山下底探鑛場ノ進展ト相俟ツテ操業系統ニ一新紀元ヲ劃スルモノトシテ特筆スヘキ事項ナリトス

其施設ノ概要左ノ如シ

取扱元鑛數量 年額 一億三千二百萬貫

碎鑛機(ブレーキ式)

個數 四臺(東手選鑛場ヨリ移轉セリ年内ニ二臺完成)

大サ 四吋「セツチング」入口二呎一時×一呎一時二分ノ一

能力 一時間碎鑛量約百噸

馬力 二十五馬力(五十馬力ニテ二臺運轉)

第一號「コムベヤー」(「ゴムベルトコンベヤー」)

個數 一本

大サ 兩端「ドラム」間ノ距離二七四呎八吋、幅三十吋

能力 最大運搬量 毎時三百五十噸

馬力 五十馬力

手選帶(「ゴムベルトコンベヤー」)

個數 四本

大サ 兩端「ドラム」間距離八十呎五吋、幅三十吋

能力 最大運搬量毎時八十七噸五

馬力 五馬力(二十馬力ニテ四本運轉)

「バケツト、エレガエーター」

個數 二臺(内一臺ハ豫備)

大サ 揚程十八呎九吋

能力 毎分三十立方呎

馬力 五馬力

「シツクナー」(「スーパースツクナー」)

個數 一個

大サ 直徑四十呎、深サ十呎

能力 毎分三十立方呎ノ泥水ヲ沈澱セシム

馬力 五馬力(「アヂテーター」軸ノ回轉ニ要スル馬力)

覆水「ポンプ」(一段式「タービンポンプ」)

個數 二臺(一臺ハ豫備)

能力 毎分三十立方呎、水頭九十五呎

馬力 十馬力

清水ポンプ(二段式「タービンポンプ」)

個數 二臺(一臺ハ豫備)

能力 毎分二十立方呎、水頭百五十呎

馬力 十馬力

端出場選鑛場ノ設置ニ伴ヒ新居濱端出場間専用軌道蒸汽機關車壹輛ヲ増設シ更ニ専用軌道ヲ同選鑛場構内ニ敷設シ停車

場ヲ設ケ鑛石諸材料運搬ノ外本年十二月末ヨリ從業者ノ便乗ヲ開始セリ其施設内容左ノ如シ

機關車ノ種類

「タンク」式(日立製作所笠戸工場製)

機關車ノ重量

空車ノ場合 一〇噸八三

運轉整備ノ場合 一三噸六五

最大運轉速度

一〇哩

増設軌條ノ延長

六九鎖一六節(外ニ機關車ヲ運轉セサル線 四鎖四一・五節)

四阪島製煉所ニ於テハ破碎設備ノ改良トシテ昨年後一月完成セル分級工場内ニ轉爐熔劑金鑛類ヲ機械的ニ適當ノ大サニ破碎スル目的ヲ以テ十五吋×九吋ノ「ロールジョークラツシャ」一臺ヲ設置シ本年一月ヨリ使用セリ、又熔鑛爐及一般工場雜用揚水設備ニ關シテハ從來ノ復雜ナル揚水系統ヲ單純統一化スル爲メ一尺準ノ地點ニ熔鑛爐補給海水用トシテ自働運轉裝置ヲ有スル二段式「タービンポンプ」二臺(内一臺ハ豫備 一分間揚水量五五立方尺)ヲ新設シ一〇八尺準貯水池ニ揚水スルコト、シ、又淡水用トシテハ新ニ横型複動「ピストンポンプ」二臺(一分間揚水量十八立方尺)及ヒ之ニ對シ八十六尺準ニ二個(一個容量三〇〇石)ノ「タンク」ヲ設置シタリ

次ニ大正十四年度以來研究試驗ヲ行ヒタル熔鑛爐羽口炭ノ代用トシテ微粉炭ヲ吹込ミ以テ燃料效率ノ増進ト勞力及石炭費ノ節約ヲ計ルヘキ設備ハ其成績良好ナリシヲ以テ全爐ニ對シ之ノ設備ヲ施スコト、シ本年一月微粉炭製造供給工事ニ著手シ同八月其一部ヲ完成セリ、仍テ先ツ一爐ニ對シ次テ十二月更ニ他ノ一爐ニ對シテ之カ製造及供給ヲ開始シ豫期ノ成績ヲ納メツ、アリ

尙昨年九月完成シタル電氣收塵(「プレート」式)試驗設備ハ開始以來其成績見ルヘキモノアリ、此レヲ以テ本年八月轉爐

瓦斯ノ全部ヲ處理スル目的ヲ以テ試驗設備ヲ流用シ目下本設備ニ改修擴張工事中ニシテ尙其附屬煙塵室及連絡煙道ハ相當腐朽シ洩煙多キヲ以テ此際煙道ノ一部ヲ改修スルコト、シ四月工事ニ著手シ九月ニ完成ヲ見タリ

燒結爐瓦斯中ニ含有スル亞硫酸瓦斯ニ依リテ硫酸ヲ製造シ煙害ノ除却ト副產物利用ニ供センカ爲メ昨年十二月起工セシ硫酸製造試驗設備ハ本年一月末一時完成シ操業ヲ開始シ逐次成績良好トナリタルモ更ニ四月末其設備ヲ改良シ六月上旬之ヲ完成セリ、爾來產出硫酸量激增シ其能率一層増進シ豫期以上成績ヲ納メツ、アリ

尙含銅硫化鐵礦ヲ硫酸製造用ニ供シタル後其燒滓中ニ含有スル銅分ヲ濕式法ニヨリ回收シ其殘滓ヲ鐵礦トシテ利用スル試驗ハ本年八月商工省獎勵金ノ交付ヲ受クルコト、ナリ同十一月右試驗ヲ開始セリ

運搬施設中一尺準、百八尺準間既設「ベルトコンベヤー」系統ニ關シ其附屬電動機各所ニ散在シ個々別々運轉操業セルヲ以テ作業上ノ統一不便ナリシニ付今後ハ使用電動機ヲ全部三五〇「ヴォルト」交流ニ變更シ全系統ノ電動機用開閉器ヲ十二尺準ニ新設シタル「コントローリングステーション」内ニ集メ一名ノ主任機械夫ニヨリテ全系統ノ運轉ヲ司ルコト、セリ右工事ハ大部分完成セリ

新居濱電氣精銅工場ニ於テハ從來ノ二十一瓩反射爐二基ヲ左ノ通り擴張ヲナシタリ

一號爐	能	力	二四瓩
-----	---	---	-----

床ノ長サ	一五・四尺
------	-------

床ノ幅(中央)	八・五尺
---------	------

高	サ(火橋側)	四・五尺
---	--------	------

二號爐	能	力	三〇瓩
-----	---	---	-----

床ノ長サ 一五・七尺

床ノ幅(中央) 九・三尺

高 サ(火橋側) 五尺

尙副産物タル硫酸「ニツケル」ノ製出能力ヲ一ケ年間凡十萬封度ニナス可ク左ノ擴張ヲナス

沈澱槽 徑 五・五尺 深 八・五尺 二個

結晶槽 長 五・五尺 幅 三・五尺 深 三尺 九個

空氣壓搾機 八番型 一臺

原動力ニ關シテハ從來當山ノ附屬發電所タリシ端出場水力發電所、落水力發電所、新居濱火力發電所及大保木發電所ハ本年七月土佐吉野川水力電氣株式會社ニ讓渡サレタルニ付今後ハ同會社ヨリ電力ヲ購入スルコト、ナリタリ因ニ契約ニ係ル最大受給電力ハ五、七〇〇「キロワット」ニシテ明年度ノ購買豫定量ハ三六、五二一、二九一「キロワット」時トス尙新居濱端出場専用軌道機關車用「ロコモチーブボイラー」(徑三三・五吋長九呎)一臺及四坂島製煉所内濕式製煉用直立式汽罐一臺ヲ増設セリ

最後ニ本山ニ於ケル將來ノ計畫中主要ナルモノトシテハ東平、黒石間索道ノ廢止ニヨリ大堅坑運搬ハ勢ヒ繁劇トナルヲ以テ之ヲ緩和センカ爲メニ近ク十一番十四番坑道間東二號ノ位置ニ鑛石捲下斜坑ヲ開鑿スル豫定ナリ

又前記「ペテルセン」式硫酸製造試驗ハ本年一月以來引續キ試驗中ノ處其成績良好ナルヲ以テ燒結爐全部ノ瓦斯ヲ處理シテ煙害ヲ輕減スルト共ニ經濟的ニ硫酸ヲ製造スヘキ同式ノ本設備ヲ爲スヘク目下計畫中ナリ

佐々連鑛山 銅硫化鐵 愛媛縣宇摩郡金砂村 岩城鑛業株式會社

前年度開鑿ニ著手シ二百二十尺ヲ竣工セシ佐々連大切坑掘下ハ本年度ニ於テ更ニ百六十尺ヲ掘進セリ下底ノ鑛況依然良好ニシテ脈幅平均四尺、肥大部ニ於テ十尺ニ達セリ大切坑下一番坑及二番坑ニ次テ本年度ニ於テハ三番坑ノ開鑿ニ著手シ既ニ二百六十尺ヲ掘進セリ、下部ノ鑛石捲揚用ニ供スル爲メ前年末迄ニ大切坑下一番坑間ヲ竣工セシ第一斜坑ニハ二十馬力複胴電氣捲揚機ヲ設置シ更ニ下一番坑ト下三番坑間ヲ竣成シ總延長三百尺ニ達シ捲揚ヲ開始セリ
鑛況悲況ノ爲メ豫テ採鑛休止中ナリシ金立坑ハ本年度探鑛ノ結果同四號坑及五號坑内ニ於テ富鑛部ニ掘リ當テ近ク採鑛ヲ復活シ得ヘキ豫想ナリ

選鑛ハ從來ハ主トシテ手選鑛法ニ依リシ爲メ粗粉鑛ノ處理不充分ナリシヲ以テ本年四月押淵索道中間驛並ニ佐々連本部選鑛場ニ「ハルツジツガー」各一臺ヲ増設シ能率増進ニ努メタリ

前年度据付工事ニ著手セシ交流三十「キロワット」發電機ハ本年二月工事完成シ三月ヨリ使用ヲ開始セリ

尙將來ノ計畫トシテ本村中ノ川上流ニ於テ水力ヲ利用シ百二十「キロワット」ノ發電ヲナシ佐々連及金立兩坑ニ捲揚機ヲ増設シテ大ニ採鑛ノ進展ヲ計ルヘキ豫定ナリ

大峰鑛山 銅硫化鐵 愛媛縣西宇和郡宮内村外二 大峰鑛山株式會社

前年度ニ於テ松鋤斜坑ト九番坑道トノ交叉點ヨリ九番坑道地並ヲ北ニ掘進シ昨年十二月末延長二百七十尺ニシテ新鑛床ノ南端ニ會セルヲ以テ之ニ葵鋤ト命名セリ、本年ニ入リテ該鋤ヲ東北方即チ走向ニ沿ヒ掘進スルコト二百尺ニテ遂ニ尖滅スルニ至レルモ右掘進ニ依リ鑛體ハ四條ヨリナルコトヲ審ニシ高低六尺ヲ最大トシ同一ノ傾斜ニ平行シ肥鑛部ノ厚サ二尺ヲ示セリ、次テ三月葵鋤ノ南端ヨリ北七十度東ノ方位ニ於テ斜坑ノ開鑿ニ著手シ延長二百五十一尺ニ及ヒ九番坑道以下垂直五十尺ノ位置ニテ前記斜坑ヨリ中央坑道ヲ設ケ北進シタルモ果シテ葵鋤中ヲ掘進セルヤ否ヤ未タ分明スルニ至

ラス、更ニ又十番坑道以下垂直五十尺ノ位置ニ於テ九番斜坑ヨリ中央坑道ノ開鑿ヲ試ミ南進セルニ同所ニモ亦新鑛床ヲ發見シ未タ命名セスト雖モ尙ホ南ニ走向ニ沿ヒ掘進ヲ續ケルコト二百尺ニ達シ其間縞狀硫化鐵及緻密ナル含銅硫化鑛ノ交錯シテ存賦スルコトヲ確認セリ

右ノ外九番坑道南ニ於テ同地並ヨリ七十尺ノ掘上リニ縞狀硫化鑛ノ存在ヲ確メタルヲ以テ其進展ノ狀勢ヲ究メンカ爲メ十月初旬之ニ著手シ鑿岩機ヲ用ヒ六尺×六尺ノ加脊ヲ以テ該鑛床ノ走向ニ略ホ直角ニ掘進ヲ續ケ本年末ノ延長二百尺ニ及ヘリ

次ニ前年度ヨリノ繼續作業タル九番坑掘下ケハ本年一月八十三尺ヲ進メ全延長三百六十五尺ニテ十番坑道地並ニ達シタリ、又六月初旬ヨリハ十番坑道以下ニ西斜坑ヲ掘下ケ十月中旬迄三百三十二尺ノ延長ヲ見タリ、右ハ何レモ鑿岩機掘ニシテ下部新鑛床ノ發達如何ヲ探究セントスル準備開坑ナリトス尙前年ヨリ繼續セル九番坑道以下ノ大斜坑掘下ハ本年ニ入リテモ猶掘進ヲ續ケ五月迄ノ全延長三百十四尺ニ達セリ

本年中ニ於ケル坑道ノ新規開鑿ハ三番坑道及十番坑道ノ掘進ニシテ前者ハ七月中旬以來五層鑛床ノ北端ヨリ東北ニ向ヒ緩漫ニ下磐ヲ破リツ、本年末迄四百三十尺ヲ進メ後者ハ二月ヨリ開鑿ニ著手シ一ハ北進スルコト五百尺、一ハ南ニ三百尺ヲ進メ以テ大斜坑ニ貫通セシムルコトヲ得タリ

右下底ノ發展ニ於ケル運搬機關トシテ松鍾斜坑ニ電力七馬力半單胴捲揚機（斜坑傾斜二四度、延長二五〇尺、鑛車直接捲揚用）ヲ又葵鍾斜坑ニ前同式捲揚機（斜坑傾斜二五度、延長三〇〇尺、鑛車直接捲揚用）ヲ設置セリ

基・安・鑛・山・銅

愛媛縣新居郡加茂村外一

弘益殖産株式會社

本坑南部東引立及東二號ニ於テ鉛幅六尺品位含銅五%ノ富鑛部ニ當リ銳意探鑛中ニテ來年度ハ探鑛ニ著手シ尙鑛業所

ヨリ海岸迄約十二哩間ニ索道若クハ軌道ヲ設置スル計畫中ナリ

白瀧・鑛山・銅硫化鐵 高知縣土佐郡大川村外一 久原鑛業株式會社外一

坑内作業ニ機械掘ヲ普及セシメ以テ能率増進ヲ圖ルヘク前年來本山及支山ニ於テ据付中ノ壓氣機ハ本年度工事完成シ各々作業ヲ開始セリ、又之カタメ從來ノ自山發電ニテハ原動力ニ不足ヲ來シタルヲ以テ新タニ高知縣ヨリ(常時百五十キロワット)電力ヲ購入スルコト、シタリ

新設壓氣機鑛岩機其他ノ設備ハ左ノ如シ

一、壓氣機

- 1 「サリヴァン」三五〇立方 $10' \times 12'$ 七五馬力電動機一臺 白瀧坑用
- 2 「センチネル」三〇〇立方 $8\frac{1}{8}' \times 14\frac{1}{2}'$ 六〇馬力電動機一臺 朝谷坑用
- 3 「サリヴァン」一七六立方 $8' \times 9'$ 一五馬力電動機一臺 大川下坑用

一、鑛岩機

- | | | |
|---------------|----------|-----|
| 「ライナイインガーソール」 | N07 | 三臺 |
| 「ウォーターブロー」 | #37 | 一臺 |
| 「ライナイインガーソール」 | #26 | 八臺 |
| 同 | BCR #430 | 一四臺 |
| 足尾式 | #11 | 三五臺 |

一、鑿燒機

「デンヴァー」D. E. C. 油爐

一臺

「ウォー」DS # 8 シャープナー

一臺

白髮山鑛山

金銀銅

高知縣長岡郡吉野村

近藤勝重

從來操業ハ探鑛ヲ主トシ其レヨリ生スル鑛石ハ手選ノ上貯鑛セシカ本年九月左記設備ノ製鍊場ヲ設ケ操業ヲ開始シタ
リ

燒鑛爐

深サ六尺

幅四尺

長八尺

舊式爐

一〇

熔鑛爐

深サ一尺

徑二尺

山下吹ヲ改良シ土堤吹ト稱スル舊式爐

二

尾平鑛山

銅砒錫安質母尼

大分縣大野郡長谷川村

上田源三郎

八吋×五吋「ブレイキ、クラツシャー」一臺、十吋×四吋「ブレイキ、クラツシャー」一臺、四百五十封度「スタンプ」十本

「ウキルフレ」汰盤二臺、及「ダイスター」汰盤一臺ヲ据付タル機械選鑛場、三尺圓型熔鑛爐一基及精製爐一基ヲ据付タル製鍊場及三十二「キロ」水力發電所ヲ本年八月ヨリ使用ヲ開始セリ

又大切坑選鑛場間ニ自動索道二條及是等ニ連絡スル軌道二ヶ所ヲ新タニ敷設シテ坑外運搬ヲ便ニシ尙ホ鑛害除害施設トシテ廢水處理ノ爲沈砂池二個（一個ノ大サ間口、奥行共二間、高サ一間）及沈泥池二個（一個ノ大サ間口十二間、奥行二間、高サ一間）ヲ設置セリ

鯛生鑛山

金銀

大分縣日田郡中津江村

鯛生金山株式會社

三號脈六百尺坑道、七百尺坑道及三號脈四百尺坑道東詰五百ニ於テ新富鑛體ヲ發見シ探掘中ナリ尙ホ堅坑下リ深度二百尺ヲ進メ各脈ノ下底部探鑛ヲナス

青化製鍊ニ於テ管磨機直徑五呎長サ二十二呎一臺、分級機幅六呎長サ十九呎一臺、濃泥槽直徑二十四呎深サ十二呎一臺、濾過機濾板四十板ノモノ一槽、横置眞空唧筒毎分七百五十「ガロン」一臺及横型空氣壓搾機毎分二百五十立方呎一臺ヲ増設シテ處理鑛量ヲ一ヶ月約一萬噸ニ増加セリ又津江川上流溪谷ノ一部流水ヲ疏水坑道ニ導キ排水シ其間ノ溪谷ニ堰堤ヲ設ケ約十八萬噸ヲ收容シ得ル鑛滓堆積場ヲ新設シ、熊本電氣株式會社ヨリ購入電力受電ノ爲メ既設百「キロボルトアンペア」變壓機十個ヲ撤廢シ五百「キロボルトアンペア」變壓機三臺ノ据付ケヲ完了セリ

而シテ右製鍊場擴張ニ依リ本年度産金ハ前年度ニ比シ一割六分餘ノ増加ヲ見タリ

●●●●●
横峰鑛山 金銀銅 宮崎縣東臼杵郡北方村外一郡村 三菱鑛業株式會社

本年三月末西五坑道以下ヲ水没ニ委ネ專ラ近來發見セラレタル日ケ暮五號及七號鑛層ノ發展ニ全力ヲ注キ日ケ暮第三斜坑ハ開鑿竣工シ、下一坑道斜坑(豫定延長四百尺)ノ開鑿ニ著手セリ、鑿岩機「インガースール」DCRW二十三番型一臺、同N七十二番型一臺、同CC十一型「ストーパー」一臺、「デンバーモデル」七型一臺ヲ新規購入セリ、西五坑道ニ「タービン」唧筒十馬力二臺、西四坑道ニ同六十馬力三臺、日ケ暮五坑道ニ同十二馬力一臺、日平舊斜坑ニ同三十五馬力一臺ヲ新設セリ

選鑛ニ於テハ從來粗鑛ハ總テ手選鑛若シクハ箒揚等專ラ勞力ニ依ル姑息ナル選鑛法ニ附セシモ出鑛量ノ漸増殊ニ粉鑛ノ激增ニ伴ヒ處理能力増進ト成績向上ヲ目的トセシ機械選鑛場本年九月工事竣成セシヲ以テ直ニ操業ヲ開始シ大割場ヲ除ク外舊選鑛ヲ廢止セリ、新設機械並ニ附屬設備ハ手選帶二十四吋×三十六呎、二十四吋×三十九呎各一臺、「バケットエレベーター」八吋×十二呎、八吋×二十四呎各一臺、「エプロン」給鑛機二十五吋×九呎、十八吋×十吋各一臺、「ドラッグベルト」十吋×十二呎、十五吋×九呎、二十吋×十二呎各一臺、「トロンメル」三呎×六呎、三十呎、十六呎、九呎各

一臺、振動「スクリーン」三呎×四呎、三耗一臺、「ハルツ」跳汰機二十吋×三十六吋×二區三臺、「ウキルフレー」汰盤六番型一臺、「ダイスター」汰盤一臺、「カローコーン」徑六呎一臺、「ドーアシツクナー」徑二十六呎深サ九呎一臺、「タービン」唧筒十五馬力一臺、電動機三馬力、十馬力、十五馬力、二十五馬力各一臺、變壓機二臺、沈澱池鐵筋混凝土製九呎×十二呎深サ六呎二個及用水槽徑十呎深サ十呎一槽ナリ
又動力ハ從來直流ナリシモ一部ヲ除ク外交流ニ變更セリ

(ロ) 石 炭 山

夕・張・炭・礦・ 石狩國夕張郡夕張町 北海道炭礦汽船株式會社

各坑内ノ發展ニ伴ヒ三五〇馬力及三三〇馬力壓氣機各一臺、坑内捲揚機十七臺及排水用唧筒三臺ヲ増設シ又坑内捲揚機九臺ノ改設ヲ爲シタリ、坑外ニ於テハ架空索道ノ延長、電動循環機一臺ノ新設ヲ行ヒ千歲坑既設「シロツコ」式扇風機ヲ改設シテ風量一萬五千立方尺ヨリ四萬立方尺トナシタリ

千歲坑大坑道電車改設作業モ坑道修繕其他著々進捗シ略完成ニ近ケリ又同坑ニ於ケル下層炭探鑛ノ爲メ試錐ヲ行ヒ目下二百五十尺ヲ掘進セリ此ノ豫定深度四〇〇尺ナリ

石狩坑方面ニ於テハ七月ヨリ石狩第二斜坑ノ開坑ニ著手シ現在百二十尺ヲ掘進セリ

新・夕・張・炭・礦・ 石狩國夕張郡夕張町 北海道炭礦汽船株式會社

主トシテ坑内ノ發展ニ努メ壓氣機二臺坑内用捲揚機七臺ヲ新設又ハ改設セル外松島坑ニ「キャベル」式扇風機風量七萬立方尺一臺ヲ増設セリ

眞谷地炭礦 石狩國夕張郡夕張町 北海道炭礦汽船株式會社

楓坑方面ニ於テハ一月ヨリ枇杷坑奥部斜坑、六月ヨリ新斜坑、七月ヨリ上層斜坑ノ開坑ニ著手シ夫々四百十尺、四百五十尺、三百五十尺ヲ掘進セリ、其外壓氣機一臺、鑿岩機三臺ヲ新設シ又坑内運搬用捲揚機四臺ヲ設置セリ、奥部斜坑坑外ニ「キヤベル」式扇風機風量一萬五千立方尺一臺ヲ増設シ且坑外運搬用トシテ簡單ナル捲揚機四臺ヲ設置セリ

萬字炭礦 石狩國空知郡栗澤村 北海道炭礦汽船株式會社

主トシテ坑内ノ發展ニ努メ牡丹坑方面ニ於ケル運搬ヲ容易ナラシムル爲メ福壽坑ヨリ延長約一二〇〇尺ノ石切坑道ノ掘鑿ヲ開始シ又葵坑奥部ノ通氣ヲ良好ナラシムル爲メ延長約一二〇〇尺ノ捲卸斜坑ヲ掘進中ナリ、坑内運搬用トシテ有線電氣機關車四臺電動循環機一臺ヲ設備シ且ツ排水用唧筒二臺葵坑坑外ニ「チャンピオン」式扇風機風量二萬二千立方尺一臺ヲ増設セリ、坑外ニ於テハ一五〇馬力電動循環機一臺ヲ改設セリ

美流渡坑ニ於テモ坑外石研運搬用トシテ五〇馬力電動捲揚機一臺ヲ新設セリ

空知炭礦 石狩國空知郡歌志内村 北海道炭礦汽船株式會社

坑内外ノ發展ニ努メ電氣鑿岩機六臺一七〇馬力電動唧筒一臺ヲ増設シ又電動循環機一臺、捲揚機一臺ヲ設置シ且ツ架空式電車軌道延長約一二〇〇米ノ増設ヲナシタリ、坑外ニ於テハ汽罐一臺ヲ増設シ架空式電氣機關車二臺ノ増設及軌條ノ延長ヲ行ヒタリ

幌内炭礦 石狩國空知郡三笠山村 北海道炭礦汽船株式會社

布引堅坑ノ諸設備ハ著々進捗シ坑外運搬用トシテ電氣機關車二臺ヲ増設セル外三三〇馬力電動壓氣機一臺、「シロツコ」式扇風機風量十二萬立方尺一臺ノ据付工事ヲ完了シ又排水用八〇馬力唧筒二臺ヲ増設セリ坑内ノ發展ニ伴ヒ出炭量モ五

萬五千噸ノ増産ヲ示シタリ、坑内保安上新ニ「エヂソン」式「キャップ」電燈百個ヲ購入シ岩粉棚ヲ新設シ且ツ岩粉撒布ヲ開始セリ

幾●春●別●炭●礦● 石狩國空知郡三笠山村 北海道炭礦汽船株式會社

主トシテ坑内ノ發展ニ努メ四〇馬力壓氣機一臺、捲揚機一臺、二二五馬力唧筒二臺ノ増設ヲナシ又青葉坑坑外ニ「チャンピオン」式扇風機風量九千立方尺一臺ヲ新設セリ

登●川●炭●礦● 石狩國夕張郡夕張町 北海道炭礦汽船株式會社

奥澤坑ノ探鑛ヲ開始シテ八月ヨリ舊坑ノ取明、新斜坑ノ開鑿ニ著手シ夫々六〇〇尺及一八〇尺ノ掘進ヲ見タリ又舊坑ニ「チャンピオン」式扇風機風量二萬二千立方尺一臺ヲ新設シタル外坑外ニ簡單ナル捲揚機二臺ヲ新設セリ

三●菱●美●唄●炭●礦● 石狩國空知郡美唄町 三菱鐵業株式會社

坑内ノ發展、採炭能率ノ増進ニ努メ壓氣鑿岩機六臺、電氣鑿岩機五臺、截炭機二臺、電動捲揚機二臺、蓄電式電氣機關車一臺ヲ増設又ハ新設セル外採炭方法ヲ改良シ第一坑ノ一部ニ坑外土砂ヲ利用シテ手詰式充填ヲ開始シ又從來ノ拂面長二十間内外アリシヲ三十間乃至四十間ト爲セリ

坑外ニ於テハ第一、二坑用循環機ヲ第三坑迄延長セル外新ニ石研拾用トシテ架空索道ヲ新設セリ選炭場ニ於テハ「ジンマースタリオン」(能力一日二五〇噸)一臺ヲ増設セリ、尙夏期ヲ利用シテ美唄川本流三ノ澤ヨリ六ノ澤方面、ウエンシリアン美唄川ノ上流第二坑方面ノ露頭調査ヲ行ヒ昭和三年度ニ引續キ探鑛ノ豫定ナリ

三●菱●芦●別●炭●礦● 石狩國空知郡芦別村 三菱鐵業株式會社

積極的ニ事業ノ擴張ニ努メ探鑛トシテハ第一坑坑内ニ手動金剛石試錐ヲ開始セル外各坑トモ坑道探鑛又ハ露頭調査ヲ行

ヒ特ニ六線澤方面ニ於テハ探鑛坑道ノ目的ヲ以テ二坑口ノ開坑ニ著手シ假車道ノ布設並ニ送電工事ヲ施行セリ

從來ノ各坑ニ對シテハ壓氣機一臺、截炭機十二臺、鑿岩機十五臺、電氣捲揚機二臺、排水用唧筒五臺ノ増設又ハ新設ヲ爲セル外局部用トシテ「シーメンス、シュツケルト」扇風機風量七千立方尺一臺ヲ設置セリ

坑外ニ於テモ材料捲揚用トシテ電動捲揚機一臺ヲ新設セリ

病院ニ於テハ暖房用トシテ汽罐一基ヲ新設セリ

大・夕・張・炭・鑛・ 石狩國夕張郡夕張町 三菱鑛業株式會社

若葉斜坑及新六尺坑ノ發展ニ努メ壓氣鑿岩機三臺ヲ新設セル外新六尺坑ニ「シーレー」式扇風機風量一萬立方尺一臺ヲ新設シタリ尙若葉斜坑ニ於テハ運轉費節約ノ爲メ唧筒ノ集中ヲ計畫シ略其工事ヲ完成シ又主要扇風坑風道ノ大修理ヲ行ヒ且ツ同坑通氣運搬ヲ良好ナラシムル爲メ舊五層坑附近ヨリ新坑口ノ開鑿ニ著手セリ、又舊清水坑附近ニ坑口ヲ新設シテ探鑛ヲ行ヒ目下掘進中ナリ

加南榮坑坑口ニ五〇馬力壓氣機一臺ヲ移設セリ

三・井・砂・川・炭・鑛・ 石狩國空知郡砂川町 三井鑛山株式會社

採炭掘進能率ノ向上ニ努メテ第一坑及第二坑ノ一部ノ採炭方法ヲ充填式斜長壁採炭法ニ改良シ且ツ壓氣鑿岩機七臺、電氣鑿岩機十九臺、捲揚機五臺、排水用唧筒二臺、局部扇風機風量一萬立方尺二臺ヲ増設シタリ

坑外ニ於テハ選炭用トシテ可搬式「サリバン」型捲揚機一臺ヲ新設セリ

奔・別・炭・鑛・ 石狩國空知郡三笠山村 北海道鑛業株式會社

前年ヨリ引續キ磐ノ澤方面及十六ノ澤ノ露頭探鑛ヲ行ヒ十六ノ澤左澤ニ於テ二、三、四番各層ノ露頭ヲ發見シ其ノ延長

約四百間ヲ確立セリ

選炭場ニ「レオラベル」型微粉水洗機一臺ヲ新設セリ

歌志内炭礦

石狩國空知郡歌志内村

北海道鑛業株式會社

第一斜坑ノ開鑿及第二斜坑ノ發展ニ努メ第一斜坑本卸一二七間大豎入坑道切擴メ二一〇間ヲ掘進シタリ

坑内用捲揚機二臺ヲ新設セル外坑外ニ於テハ選炭場ノ改善ヲ行ヒ「バンドコンベアー」二臺ヲ設置シ又前記機械ノ原動用トシテ汽罐五臺ヲ増設セリ、又鑛夫住宅五棟、選炭場一棟ノ増設ヲナセリ、横山澤斜坑ハ探掘終了セルニ依リ十一月ヲ以テ稼行ヲ中止セリ

新歌志内炭礦

石狩國空知郡歌志内村

北海道鑛業株式會社

本年度ニ於テハ特ニ記載スヘキ事項ナク僅カニ架空索道原動用トシテ汽罐一臺ヲ増設シタリ

茂尻炭礦

石狩國空知郡赤平村

大倉鑛業株式會社

各坑トモ坑内ノ發展、採炭量ノ増加ヲ計リテ卸先及片磐坑道ノ掘進ニ努メ且ツ壓氣機一臺鑿岩機二十臺電動唧筒二臺ヲ新設シタリ其外目下工事中ノモノ萬慶斜坑選炭場間ノ馬匹運搬ニ代ルヘキ新設ノ循環機、萬慶斜坑ニ増設中ノ扇風機一臺及選炭場ニ増設中ノ「ピッキングテーブル」一臺、「ナットシツガー」一臺、「フアインジツカー」一臺アリ又發電所ノ擴張ヲ企テ一〇〇〇「キロワット」發電機一臺並ニ其ノ原動機附屬機械一式ノ設置工事中ナリ

尙鑛夫住宅十戸建五棟、役員住宅四棟、鑛夫合宿所三棟ノ新築ヲ完成シ且ツ醫院病室ノ増築ヲ完成セリ

上歌志内炭礦

石狩國空知郡歌志内村

住友炭礦株式會社

前年ヨリ引續キ探鑛中ノ四坑道實車線豎入坑道ハ六百八十尺ヲ掘進シテ五月十番層ニ達シ更ニ一二〇尺ヲ以テ九番層ニ

到達スヘキ豫定ニテ掘進中ナリ又第一堅坑ノ開鑿工事ハ本年度ニ於テハ前年度ノ殘部二四〇尺ヲ掘進シテ四坑道ニ達シ掘進ヲ完成セリ

六月ヨリ策士斜坑ノ開鑿ニ著手シ本年度ニ於テ本卸約二〇〇尺ヲ掘進セリ該坑口ニ三十五馬力捲揚機一臺ヲ新設セリ尙第一北十番坑道千三百尺ノ運搬用トシテ尾綱式捲揚機一臺ヲ新設シ坑外ニ於テハ從來使用中ノ循環機ヲ更ニ二百七十尺延長シ且ツ蒸汽捲ヲ電氣捲ニ改メタリ

採炭能率向上ノ目的ヲ以テ電氣鑿岩機十臺ヲ新設セリ

坂上赤平炭礦 石狩國空知郡赤平村 住友炭礦株式會社

未タ探鑛中ナルカ前年末著手セシ第三號金剛試錐ハ七月八八〇尺ニテ十一番層ニ達シ更ニ八月一二七〇尺ニテ九番層ニ到達更ニ一四四五尺迄掘進セリ尙其ノ附近ニ第四號試錐ヲ開始セリ

彌生炭礦 石狩國空知郡三笠山村 東邦炭礦株式會社

銳意事業ノ發展ニ努メ從來運搬坑道トシテ使用シ居リシ舊斜坑並ニ同坑口ニ設置セル蒸汽捲揚機ヲ廢止シテ新斜坑ヲ運搬坑道トシ一五〇馬力電動捲揚機一臺ヲ新設シ又「シロツコ」式扇風機風量三萬立方尺一臺ヲ新設セリ、採炭用トシテ電氣鑿岩機一臺ヲ新設シテ能率ノ向上ヲ計リ居レリ其外選炭機暖房用トシテ汽罐一臺、水洗用唧筒一臺ヲ増設シ且ツ鑛夫住宅五棟、同集會所一棟ヲ増築セリ

鑛害除去設備トシテ選炭廢水處理用大サ六坪ノ沈澱池一個ヲ増設セリ

光珠炭礦 石狩國空知郡美瑛町 日本石油株式會社

落合坑ニ於テハ第三番層及第五番層ノ探掘ノ爲メ六月ヨリ第三水平坑ノ開鑿ヲ始メ又奥澤斜坑モ十二月ヨリ開鑿ニ著手

シタリ、落合坑ハ發展ニ伴ヒ從來ノ五〇馬力捲揚機ヲ一〇〇馬力ニ變更シ又坑内ニ唧筒三臺ヲ新設シテ急激ナル融雪期ノ出水ニ備ヘリ、坑外ニ於テハ從來人力馬匹等ヲ利用シ居リシ落合坑坑外運搬ニ循環機一臺ヲ新設シタル外同坑手選場貯炭「ポケット」及積込場貯炭「ポケット」ノ増築ヲ行ヒ又鑛夫住宅八棟（一棟十戸分）ヲ増築竣成セリ

新美唄炭礦 石狩國空知郡美唄町 徳田與三郎

積極的ニ事業ノ發展ヲ計畫シ蒸汽力ニ依リ居リシ從來ノ捲揚機、唧筒等ヲ電力ニ變更スル爲メ本年度ニ於テハ動力線電燈線ノ架設工事ニ著手シ十二月其ノ完成ヲ見タリ又選炭場ニ共益社式水洗機（三馬力）一臺ヲ新設シテ炭質向上ニ努メツ、アリ

唐松炭礦 石狩國空知郡三笠山村 住友合資會社

坑内ノ發展ニ伴ヒ通氣方法ノ改善ヲ必要トスルニ至リ「キャベル式」扇風機風量三萬立方尺一臺ヲ新設セリ

茅沼炭礦 後志國古宇郡泊村 澤口汽船鑛業株式會社

前年來水準以下採炭ノ爲メ坑道ノ掘進ニ努メ本年度ニ於テ一坑道約一〇〇〇尺二坑道五〇〇尺ノ延長ヲ示シテ出炭量約四割五分強ヲ増加セリ從テ坑外ニ於テモ地形ノ傾斜ヲ利用セシ從來ノ炭車ノ自動的運搬ヲ改善シテ五〇馬力蒸汽機關車運搬ニ變更セリ

春採炭礦 釧路國釧路市 太平洋炭礦株式會社

需要ノ増加ニ依リ採炭能率ノ向上ニ努メ上層本層共ニ長壁式採炭法ニ改良スルト共ニ壓氣機一臺、壓氣鑿岩機一臺、電氣鑿岩機三臺ヲ設置シ又排水用唧筒一臺ヲ増設シ坑内ニ局部扇風機「シロッコ」型風量一萬三千立方尺（一臺ヲ新設セリ

坑外ニ於テハ材料運搬及研砕用捲揚機（三〇馬力）ヲ十五馬力ノ循環機ニ變更セリ

別保炭礦 銅路國銅路市 太平洋炭礦株式會社

需要ノ増加ニヨリ採炭量ノ増加ニ努メ從來ノ殘柱法ヲ長壁式採炭法ニ改メ且ツ二坑ニ電氣鑿機一臺ヲ新設セリ又從來ノ風量一萬三千立方尺「シロッコ」式扇風機ヲ風量二萬立方尺「シロッコ」式扇風機ニ變更セリ、第十一號坑ニ於テハ坑内ノ發展ニ依リ「タービン」唧筒二臺（二二・五馬力）ヲ新設セリ

舊第十號坑方面ニ別保一坑ヲ開坑シ掘進中ニシテ運搬用トシテ八〇馬力捲揚機一臺ヲ新設スル豫定ナリ
雄別炭礦 銅路國阿寒郡舌辛村 雄別炭礦鐵道株式會社

銳意坑内ノ發展ニ努メ本坑及大祥内斜坑ノ本卸片磐等ノ掘進ヲ急クト共ニ本坑ニ五〇馬力壓氣機一臺ヲ新設シテ其ノ工事略完成ニ近ツキ又同坑五〇馬力捲揚機ヲ二〇〇馬力ニ變更シ且ツ主要運搬坑道並ニ同坑中ノ澤選炭場間ノ馬匹運搬ヲ五〇馬力循環機ニ變更新設セリ

坑内ノ發展ニ伴ヒ本坑及大祥内斜坑ニ排水用唧筒二臺ヲ新設又ハ増設シ又大祥中坑ニ於テハ從來ノ蒸汽捲揚機ヲ三〇〇馬力電動捲揚機ニ改善スヘク其ノ工事中ナリ

坑内ノ發展ニ伴フ出炭量ノ増加ハ勢ヒ選炭場ノ擴張ヲ促シ從來ノ木造選炭場ニ倍スル一ヶ月選炭能力二萬噸ノ新選炭場ヲ建造スヘク一月ヨリ工事ニ著手シ五月ヨリ使用ヲ開始セリ、同選炭場ハ鐵骨「スレート」葺一九五坪ニシテ同場ニ「チツブラー」「ホッパー」「フキーダー」「ジンマースクリーン」「ピツキングバンド」「クラツシヤー」「パンコンベヤー」各一臺「ベルトコンベヤー」二臺ヲ新設シ且ツ從來ノ共益社式水洗機一臺並ニ其ノ附屬器具一式ヲ移設シタリ尙之ニ隣接シテ五一坪ノ選炭場ヲ増築シテ五〇噸共益社式水洗機一臺ヲ増設スヘク目下其ノ工事中ナリ

事業ノ擴張ニ從ヒ必然的ニ動力ノ増加ヲ必要トスルニ至リ二月ヨリ從來ノ百「キロ」自家發電機ヲ廢シテ新ニ變電所及送電線路三哩ヲ建設シテ先ツ本坑附近ノ諸機械及電燈ニ供シ尙大祥内方面ヘモ配電線路ヲ延長シテ十一月一部ノ電化ヲ完成セリ

其他太曲坑水準下及然別坑深部採炭ノ爲ニ各三〇〇馬力電動捲揚機ヲ新設スヘク計畫中ナリ

尺別炭礦 釧路國臼糠郡白糠村 北日本鑛業株式會社

採炭能率増進ノ目的ヲ以テ從來ノ柱房式採炭法ヲ長壁式ニ變更スヘク四尺第二斜坑ニ長壁式ヲ採用シテ研究スルト共ニ出炭量ヲ増加セシムル爲メ大正九年ヨリ休止中ノ十二尺斜坑ノ掘鑿ヲ二月ヨリ開始シ之レニ蒸汽捲揚機一臺及排水用トシテ「ウオシントン」唧筒二臺ヲ新設シタリ

四尺第二斜坑ハ坑内ノ發展ニヨリ從來ノ一三馬力捲揚機ヲ五〇馬力ニ變更シ且ツ六五馬力排水用唧筒一臺ヲ増設セリ
内郷炭礦 福島縣石城郡内郷村 磐城炭礦株式會社

(内郷方面)第三斜坑ニ於テ「サリバン」會社製「ライトローター」型鑿岩機五臺並ニ之カ原動用トシテ同二十五馬力可搬式壓氣機一臺十馬力壓氣機一臺ヲ増設シテ採炭能率ノ増進ニ努メ尙左記捲揚機ヲ設置シテ運搬ノ便ヲ計レリ

内郷第三斜坑第二本線	三〇馬力	電氣捲揚機	一臺	新設
------------	------	-------	----	----

同	一五馬力	同	一臺	從來ノ三〇馬力ヲ變更
---	------	---	----	------------

内郷第一斜坑補助坑	一〇〇馬力	同	一臺	新設
-----------	-------	---	----	----

(町田方面)町田堅坑ニアリテハ三月二十七日稀有ノ大火災アリテ多數ノ犠牲者ヲ生シ數ヶ月ニ亘リ二卸全部ヲ放棄スルノ已ムナキニ至レリ從來町田堅坑坪下唧筒座ヨリ揚水セル坑内水ノ大部分ヲ高坂坑ニ落シテ排水スル事トナセル爲メ同

堅坑坪下唧筒座ヨリ三〇〇立方呎四〇〇馬力電氣「タービン」唧筒三臺ヲ撤去シ二卸本線七坑水際ニ新タニ一〇〇立方呎一五〇馬力電氣「タービン」唧筒一臺ヲ設置セリ、然ルニ其後二卸本線ニ八〇馬力電氣捲揚機一臺、北電車坑二卸ニ三〇馬力電氣捲揚機ヲ新設シテ專ラ坑内火災後ノ復舊ニ努メ居レリ
其他本年中設置セル捲揚機ハ次ノ如シ

町田補助坑

六〇馬力

電氣捲揚機

一臺

新設

町田上坑卸

三〇馬力

同

一臺

同

町田二十五卸

一五馬力

同

一臺

同

(高坂方面)鑿岩機用トシテ「サリバン」會社製二五馬力可搬式壓氣機一臺ヲ設置シテ採炭ノ機械化ニ努メ又坑内ノ發展ニ伴ヒ坑内各所ニ局部扇風機七臺ヲ増設シテ通氣ノ改善ヲ計リタリ本年中設置セル設備左ノ如シ

排水唧筒

南坑坪下唧筒座

一〇〇立方呎

四〇〇馬力

電氣「タービン」唧筒

二臺

増設

中段唧筒座

一二〇同

二四〇馬力

同

一臺

同

北二斜坑左一坑唧筒座

一五〇同

八〇馬力

同

一臺

同

坑外排水口

四〇〇同

一四〇馬力

同

二臺

新設

捲揚機

上層坑北坑

一五馬力

電氣捲揚機

一臺

新設

南本線坑口

二六〇馬力

蒸氣捲揚機

一臺

從來ノ一二〇馬力電氣捲揚機ヲ變更

扇風機

二六二

北坑第二斜坑左一坑	「シロッコ」式	五〇、〇〇〇立方呎	一臺	新設
北坑二十七上リ	同	五〇、〇〇〇同	一臺	同
同二十八上リ	同	二〇、〇〇〇同	一臺	同
北坑第三斜坑左三坑	同	二〇、〇〇〇同	一臺	同
北坑第二斜坑切替十九目拔	同	二〇、〇〇〇同	一臺	同
南坑第一斜坑二十片	同	二〇、〇〇〇同	一臺	同
坑外北風道坑口	同	二〇〇、〇〇〇同	一臺	同

(綴方面)南斜坑ニ於テ落磐並ニ溫泉湧出ニヨル災害防止ノ目的ヲ以テ小規模ノ灑砂充填ヲ計畫シ充填用トシテ六吋鐵管二千五百尺ヲ斜坑ニ沿ヒテ布設シ同坑外ニハ礬及土砂充填材料捲揚用トシテ八〇馬力電氣捲揚機ヲ新設シテ作業ヲ開始シ頗ル良好ナル結果ヲ得タリ、尙又第一斜坑ハ大正八年坑内出水以來埋没中ノ處出炭ノ増加ヲ計ランカ爲メ中段唧筒座ニ排水量一五〇立方呎一四〇馬力電氣「タービン」唧筒三臺、坪下唧筒座ニ四〇〇立方呎一四〇馬力電氣「タービン」唧筒二臺ヲ新設シテ排水ヲ行ヒ同斜坑全部ノ乾水ヲ見ルニ至レリ、其他坑内ノ發展ニ伴ヒ設置セル設備次ノ如シ

排水唧筒				
第二斜坑切替坑二十九片唧筒座	二〇〇立方呎	四〇〇馬力	電氣タービン唧筒	一臺 増設
同	四十七片	一五〇同	一四〇馬力	同
同		一三〇同	一四〇馬力	同
				三臺 廣畑坑水沒區域ノ水面降下ノ爲メ新設

南斜坑坪下唧筒座

一〇〇同

二〇〇馬力

同

二臺

新設

捲揚機

南斜坑切替本線

一五馬力

電氣捲揚機

一臺

新設

自轉切替本線

三〇馬力

同

一臺

從來ノ一五馬力ヲ變更

第二斜坑第二電卸

一五馬力

同

一臺

新設

第一斜坑坑外

一〇〇馬力

蒸汽捲揚機

一臺

同

(住吉方面)同斜坑ハ銳意掘進中ナルモ未タ着炭スルニ至ラス坑内湧水量増加ニ伴ヒ中段唧筒座ニ排水量一〇〇立方呎二四〇馬力電氣「タービン」唧筒二臺ヲ増設シ尙坑外ヨリ中段唧筒座ニ向ヒ深サ約七〇〇尺ノ排水孔二本ヲ綱式「ボーリング」ニ依リ掘鑿中ノ處完成シタルヲ以テ十吋鐵管ヲ挿入シ揚水ニ供セリ

其他平發電所ニアリテハ能力二五噸ノ共益式洗炭機一臺ヲ新設シテ同所用粉炭ノ水洗ヲ開始シ又補助汽罐場ニ「コルニツシュ」汽罐一基「ランカシャ」汽罐一基ヲ増設シ尙左記ノ設備ヲ新設セリ

拾五馬力電氣捲揚機

一臺

汽罐給水沈澱「タンク」内徑三六尺、深サ一尺

二個

入山炭礦

福島縣石城郡湯本町

入山探炭株式會社

本年夏期ヨリ前進式灑砂充填長壁法ヲ第五坑南卸方面ニ試ミ良好ノ結果ヲ得又壓氣機一臺鑿岩機一〇臺ヲ増設シテ採炭ノ機械化ニ努ムル等銳意作業能率ノ増進ヲ計リタルト新四坑第一斜坑方面ニ於ケル作業順調ナリシ爲メ前年ニ比シ多少ノ増産ヲ見ルニ至レリ尙前年來繼續中ノ笑堂斷層渡リ掘進ハ本年十二月三十日愈着炭ノ域ニ達シタルヲ以テ今後同方面

ノ發展ハ注目ニ値ス

本年中設置セル機械設備ハ左ノ如シ

壓氣機

日立製作所製水平單「シリンドラー」五〇馬力

一臺

増設

鑿岩機

英國「ホルマン」注水式「ハンドドリル」

一〇臺

増設

唧筒

第五坑坪下唧筒座

排水量一〇〇立方尺

四〇〇馬力

七段電氣「タービン」唧筒

二臺

増設

福島炭礦

福島縣石城郡赤井村

福島炭礦株式會社

採炭方法ヲ全部上向長壁式ニ變更シタル結果採炭能率著シク増進シ前年ニ比シ六、二一六噸ノ増産ヲ見タリ尙將來片磐間ヲ十五間乃至三十間トスル後退式又ハ前進式長壁法ニ改善セントシ專ラ準備中ナリ、其他排水施設トシテ左記唧筒ヲ増設セリ

排水唧筒

新一坑

三〇馬力

一臺

増設

同

五馬力

二臺

同

七坑

三〇馬力

二臺

同

好間炭礦

福島縣石城郡好間村

古河鑛業株式會社

新斜坑ニ於テ本年新タニ長壁式採炭個所透掘用トシテ「サリバソ」會社製「スタンダードフォーム」C、D八型「コールカッター」(所要馬力三〇馬力)三臺、開鑿個所透掘用トシテ同上C、D七型「コールカッター」(所要馬力三〇馬力)二臺ヲ購入使用シテ著シク採炭能率ヲ増大セシメタル外新斜坑上層一昇及同北部捲下坑道ニ各五〇馬力電氣捲揚機ヲ新設スル等大ニ坑内施設ノ改善擴張ニ努メタル結果上層ノ稼行區域著シク進展シ前年ニ比シ實ニ六萬七千餘噸ノ増産ヲ見ルニ至レリ、尙上層坑道ヨリ下層ニ向ヒ斜坑掘進中ノ處愈々著炭シタルヲ以テ將來下層採炭ノ曉ハ其ノ發展囑目ニ値ス、其他本年中新設セル機械左ノ如シ

捲揚機

新斜坑上層採炭卸	一六馬力	電氣捲揚機	一臺	新設
同上運搬零坑道二昇	一〇馬力	同	一臺	同
同上本卸右一片	二五馬力	同	一臺	同
同上零坑道一昇	二五馬力	同	一臺	同
源平坑	二五馬力	同	一臺	同

湯本炭礦 福島縣石城郡湯本町 三井鐵山株式會社

從來ノ採掘方法ヲ改メ前進式長壁法ヲ採用シ又掘進ニ鑿岩機ノ使用ヲ増加スル等銳意作業能率ノ増進ヲ計リ且ツ採掘跡ニハ濯砂充填ヲ試ミツ、アリ、其他通氣施設並ニ運搬系統ノ改善ヲ行ヒタル爲メ作業著シク順調トナリ前年ニ比シ約三萬噸ノ増産ヲ見ルニ至レリ

本年中新設又ハ増設セル機械次ノ如シ

壓氣機五〇馬力

三井三池製作所製定置複作用橫置式

一臺

新設

「ジャックハンマー」R.12「インガースランド」會社製

六臺

同

「バンドコールドリル」〇・五 K.W.「シーメンス」會社製

三臺

増設

勿來炭礦 福島縣石城郡勿來町 大日本炭礦株式會社

坑内深部ノ發展ニ伴ヒ通氣量ニ不足ヲ生スルニ至リタレハ電卸右三坑及本卸右十三坑ニ排氣量二萬立方呎ノ「シロツコ」式局部扇風機各一臺ヲ新設シ大イニ通氣ノ改善ヲ計レリ又本年三月裏山ニ裏山斜坑ヲ開鑿シ十三間ニシテ著炭ヲ見操業順調ニ進ミツ、アリ

大倉無煙炭礦 茨城縣多賀郡南中郷村 大倉鑛業株式會社

從來ノ柱房式採炭法ヲ長壁式（片磐拂）採炭法ニ變更シ鑛夫ノ稼働方法ハ共同採炭掘ニ改メ採掘ニ鑿岩機ヲ採用スルコト、シ一月末ヨリ二坑及三坑坑内ニ空氣壓縮機各一臺ノ据付工事ニ著手シ三月末完成爾來各坑共五臺宛ノ鑿岩機ヲ使用シツ、アリ壓縮機及鑿岩機ノ種類大サ左ノ如シ

空氣壓縮機

型 式

「ペンシルバニヤ」型

空氣壓縮量

氣分二百四十立方尺

壓 力

每平方吋百封度

原 動 機

五十馬力電動機

鑿 岩 機

型式

「ボレル」型六十五號

空氣使用量

毎分三十一・七五立方尺

又主要坑道ノ支柱ニハ鐵棒ヲ使用セリ

尙二坑、三坑坑内ニ尾綱式十五馬力捲揚機各三臺ヲ据付ケ片磐坑道運搬用ニ供シ排水用ニ二坑内ニ二十五馬力「タービンポンプ」一臺、三坑内ニ七十五馬力「タービンポンプ」二臺、四坑内ニ十馬力「タービンポンプ」及三聯式「ブランチヤーポンプ」各一臺ヲ増設シタリ

右諸機械据付ニ伴ヒ二坑、三坑、坑内ニ容量三百「キロボルトアンペア」ノ變電所ヲ設ケ從來送電々壓五百五十「ボルト」ナリシヲ三千三百「ボルト」ニ變更セリ

東・見・初・炭・礦

山口縣宇部市

藤本閑作

坑内運搬設備ニ於テ前年末舊斜坑ノ掘進、坑道切擴ケ、煉瓦卷等ヲ開始シ本年十月竣工ヲ見舊坑以來据付ケラレタル「蒸汽捲揚機」上繩式「エンドレス」ニ改造シ十一月ヨリ運轉ヲ開始セルカ其運搬能力ハ在來ノ豎坑ニ匹敵スルヲ以テ該豎坑ト相俟テ從來ノ二倍量ヲ運搬シ得ルコトナレル外坑内ニ五十馬力「エンドレス」一臺及二十五馬力「エンドレス」一臺ヲ設置セリ又湧水量ノ増加ト近隣炭礦ノ休業ニ因ル影響トヲ慮リ坑内排水用「タービン」唧筒百二十馬力一臺、百馬力一臺、五十馬力二臺、三十馬力一臺ヲ据付ケタリ、又「ランカッシャー」式汽罐二臺ヲ増設シ之ニ附屬シテ石炭粉碎力毎時三千封度ノ「エロー式バルベライザー」一臺ヲ増設セリ尙ホ繼續事業ニ屬スル防波堤工事全部竣工、鐵筋棧橋二條ヲ架設シ二臺ノ「クリーパー」ニ依リ汽船ニ積ミ込ミヲナスコトナリタリ尙棧橋附近ヲ浚渫セルヲ以テ千二百噸級ノ汽船モ入港シ得ルニ至レリ

本年度ニ於テ新ニ大派炭ノ採炭ニ著手セシ爲メ產額前年度ニ比シ約二割五分ヲ増加シ三十二萬八千餘噸トナレリ尙ホ明年度ハ五段、大派兩層ノ出炭自然増加ニ依リ更ニ本年度ヨリ約二割増加ノ豫定ナリ

山陽大嶺炭礦

山口縣美禰郡大嶺村外一郡一村

山陽無煙炭礦株式會社

採掘區域ヲ増大シ之ニ伴ヒテ桃木一坑左一片ノ唧筒座ヲ廢シ之ヲ右二片ニ移轉シ同坑内全部ノ出水ヲ集メ二十五馬力「タービン」唧筒一臺ヲ据付ケ坑口ニ排水セシカ更ニ二十五馬力「タービン」唧筒一臺ヲ増設セリ又右三片下ニ中段唧筒座ヲ設ケ桃木二坑ニ於テ十馬力「タービン」唧筒一臺ヲ据付ケタリ奥畑二坑及柳ヶ谷二坑ハ豫定ノ採掘ヲ終リタルヲ以テ廢坑トセシモ桃木一坑、桃木二坑、猪ノ木一坑、猪ノ木二坑等進展シ叶木新坑ハ岩層掘鑿約七十間ニシテ目的ノ炭層ニ到着シ直ニ南北兩片盤坑道ヲ掘進ス

斯ノ如ク一般ニ採炭區域擴大セルニ依リ本年度ハ石炭產額十萬五千餘噸ニシテ前年度ニ比シ約二割五分ヲ増加セリ

三池炭礦

福岡縣大牟田市外二町十村

三井鑛山株式會社

四山坑ニ於テ坑内電車變電所ヲ増設シ電車線亘長六百十米(自九片西六半卸附近至九片東八卸附近)及同百三十八・四米(自西七卸部内九片坑道至二卸連絡坑道)ヲ延長シ萬田坑ニ於テ同七百五十米(自東十九卸左十四片至東四十五卸十五片)ヲ延長シ、宮浦坑ニ於テ同四百十米(自東三昇十一片至東十二昇十四片口)ヲ延長セリ、又大斜坑人車捲揚機二百二十馬力一臺ヲ設置シ、勝立坑ヲ除キ各坑共發破採炭ノ爲メ本年八月頃ヨリ電氣「ドリル」ノ使用ヲ開始セリ。坑外ニ於テハ充填用土砂ヲ熊本縣玉名郡菊池川ヨリ採取運搬ニ付之カ陸揚棧橋ヲ三池港内ニ架設シ、三池港内港繫船壁上ニ石炭積込機(積込能力一時間約四百噸)ヲ設置セリ

海軍新原炭礦

福岡縣糟屋郡須惠村外三村

海軍省

試錐ハ前年ニ引續キ「ダイヤモンド」試錐二、上總式試錐一、計三箇所ニ於テ續行中ニシテ其進錐尺數ハ夫々千五百二十

三尺、七百三十九尺、九百二十四尺ナリ第七坑下層卸ハ前年ニ引續キ掘進シ六十二間九ノ延長ヲ見ルニ至リ今後百五十間ニシテ「ザルボー」層ニ着炭ノ見込ナリ

坑内設備ニ於テハ第七坑下層卸開鑿用トシテ同坑口ニ米國「ペンシルバニヤ」會社製壓氣機六十馬力一臺、同坑下層卸ニ米國「デンバー、モデル九五ハンマー型」鑿岩機六臺ヲ新設セリ、長壁法採炭用トシテ第四坑（後ニ第六坑ニ移管ス）ニ英國「メイバーエンドコールソン」會社製「カッターチエーン」型截炭機三十馬力一臺、採炭用トシテ米國「ハウエルマイニングドリル」會社製電氣鑽孔機二馬力十臺ヲ増設シ内第四坑ニ四臺、第五坑ニ四臺、第六坑ニ二臺ヲ配屬セシメ運搬設備トシテ第四坑ニ電氣捲揚機十馬力一臺、第五坑ニ同六十馬力一臺ヲ設置セリ、坑外ニ於テハ第六坑選炭機ハ大正十四年火災ノ爲メ燒失セシヲ以テ假選炭機設置ノ處本年十月ヨリ新設工事ニ着手シ明年三月下旬竣工運轉開始ノ豫定ナリ、尙發電所汽罐豫備トシテ「タクマ」式五〇〇型ヲ設置スヘク設計中ニシテ明年三月末迄ニ竣工ノ豫定ナリ

糟屋炭礦 福岡縣糟屋郡志免村外一町一村 村井鐵業株式會社

田富坑ニ於テ泉式鑿岩機二馬力一臺及「ヒーリング」商會一馬力半「オーガー」ヲ購入シ採炭及炭延ニ使用シ、第二本卸ニ「タービン」唧筒五十馬力一臺、同四十馬力一臺ヲ増設シ、第二本卸電氣捲揚機五十馬力ヲ百馬力ニ取替ヘ、水洗機用徑七吋十五馬力「ヒューガル」唧筒一臺ヲ増設シ、保育所ヲ増設シ、安全燈室ヲ改造並ニ増築シ、志免坑ニ於テハ七馬力半「シロッコ」式局部扇風機一臺ヲ増設セリ

久原炭礦 福岡縣糟屋郡勢門村外三村 明治鐵業株式會社

坑内排水ニ於テハ左四片ニ八十馬力「タービン」唧筒一臺ヲ新設シテ四片以上ノ水ヲ排除スルコトトセリ、坑内運搬ニ於テハ眞卸右三片上ニ電氣捲揚機二十五馬力一臺、左斜本卸左二片上ニ同六十馬力一臺、眞卸左捲卸ニ同十五馬力一臺

ヲ各設置シテ運搬狀態ヲ一層圓滑トナシ、通氣ニ於テハ卸掘進ノ進捗ト共ニ坑道ノ延長増大シ通氣上困難トナリタル爲メ第一電捲卸右六片排氣通り及眞卸一目拔排氣通りニ十五馬力二萬立方尺「シロツコ」式扇風機一臺宛ヲ新設シ局部ニ三馬力二千立方尺「スミス」式扇風機三臺ヲ増設シテ通風ノ改善ヲ計リ又排水運搬通氣其他ノ設備擴張ニ伴ヒ變壓所ニ於テ從來容量百「キロボルトアンペアー」變壓器三臺ナリシヲ二百「キロボルトアンペアー」三臺ニ倍加セリ尙ホ前年末工事ニ着手セシ徑七呎「ランカツシャー」式汽罐一臺ヲ増設スヘク工事ニ着手セリ

高松炭礦

福岡縣遠賀郡水巻村外二村

三好鑛業株式會社

本年六月三ヘダ三尺層ヨリ傾斜二十度ニテ下層四ヘダ五尺層ヘ斜坑ノ掘進ヲ開始シ延長三十間ニシテ同層ニ着炭セリ而シテ三ヘダ「三尺層」、四「ヘダ」五尺層ノ採掘區域ノ増大ヲ圖リタルニ依リ本年度ハ石炭約九萬噸ヲ產出シ前年ニ比シテ十九割ノ増加ヲ見タリ明年度ハ更ニ増加シテ十九萬五千噸產出ノ豫定ナリ

坑内運搬ニ於テハ主要運搬坑道ニ五十封度及二十封度軌條ニ敷設シ外ニ補助捲揚機トシテ百二十馬力電氣捲揚機二臺ヲ設置セリ、坑内通氣ニ於テハ「シロツコ」式扇風機排氣量毎分二十萬立方呎電動機百五十馬力ノモノ一臺ヲ新設シ汽罐場ニ於テハ二十四吋捲揚機ノ動力用トシテ徑六呎六吋長サ二十八呎ノ「ランカツシャー」式汽罐五臺及徑六呎六吋長サ二十八呎同式汽罐一臺ヲ新設セリ、坑外ノ運搬ニ於テハ機關車軌道ヲ新設セリ該機關車軌道ハ省線折尾驛迄延長二哩半ノ專用線ニシテ貨車ハ鐵道省所有ノモノヲ使用シ軌條重量六十封度、軌間三呎六吋、機關車ハ四十噸六輪「タンクエンジン」ノモノナリ

尙ホ主要運搬機トシテ橫置式五百馬力電氣復胴捲揚機設置ノ計畫ヲ樹テ手配中ニシ明年四月完成ノ筈ナルカ該捲揚機完成ノ後ハ現在坑口ニ設置セル百二十馬力捲揚機ヲ二百馬力ニ變更ノ上坑内第二卸ニ設置ノ豫定ナリ、又能力一時間三十

噸ノ「ジンマー」式選炭機及同能力ノ共益社式水洗機一臺、能力一時間五十五噸ノ共益社式水洗機二臺設置ノ豫定ニテ目下注文中ナリ

海老津炭礦 福岡縣遠賀郡岡垣村外一村 海老津炭礦株式會社

第六坑ノ進展ニ伴ヒ從來ノ電氣捲揚機ニテハ能力不足ニ付之ヲ廢シ代フルニ二十四吋蒸汽捲揚機ヲ設置セリ、又出炭増加ニ伴フ原動力ノ不足ヲ補フ爲メ「ランカツシャー式」汽罐徑八呎長サ二十九吋一臺及同徑八呎長サ二十九吋一臺ヲ増設シ尙ホ選炭設備ニ於テハ中塊炭以下ノ水洗ヲナス爲メ共益社式三十噸水洗機一臺及ヒ水洗ニヨリテ生スル汚水ヲ清淨ナラシムル爲メ面積百八坪及六十八坪ノ沈澱池各一個ヲ新設セリ

木屋ノ瀬炭礦 福岡縣鞍手郡直方町外一町一村 帝國炭業株式會社

本年一月高江炭層探掘ノ目的ヲ以テ新坑（斜坑）ヲ開坑シ同十月末延長百八十間ニシテ着炭シ、同二月同排氣坑ヲ開坑シ延長八十間掘進シ貫通完成セリ、又四隔炭層及八寸炭層探掘ノ目的ニテ第二新坑（斜坑）及同排氣坑ヲ開坑シ延長二十間ニシテ着炭シ附近ノ殘存四隔炭及八寸炭ヲ探掘中ナリ又同二月同層探掘ノ目的ヲ以テ宮ノ下二坑及同排氣豎坑ヲ開坑シ着炭後八寸炭ヲ掘進セリ

坑内設備ニ於テハ岩石掘進用トシテ鑿岩機中山式NH二十六型二馬力一臺ヲ新設セリ

排水ニ於テ三隔坑ニ「タービン」唧筒五十五馬力一臺、同二十馬力一臺、「ヒュートガル」唧筒十五馬力一臺、同七馬力半一臺ヲ増設セリ、坑内運搬ニ於テハ三隔坑々内ニ電氣捲揚機三十馬力一臺、同十馬力一臺、新坑々外ニ同五十馬力一臺、第二新坑々外ニ同五十馬力一臺、秋山二坑々外ニ同五十馬力一臺、宮ノ下二坑々外ニ同三十馬力一臺ヲ各設置セリ、坑外運搬ニ於テ新坑々外運搬用トシテ十馬力電氣捲揚機一臺ヲ設置セリ、通氣設備ニ於テ補助トシテ三隔分坑内ニ「シロ

ツコ「式扇風機十馬力排氣量三千立方尺一臺及新坑ニ同七馬力半排氣量二千立方尺一臺ヲ設置セリ
古河目尾炭礦 福岡縣鞍手郡藤野村外二町二村 古河鐵業株式會社

舊探掘跡ノ各層ノ殘炭ヲ探掘スル目的ヲ以テ鹽頭山ノ谷坑及目尾五尺坑ヲ開鑿シ着炭セリ、又第二目尾坑々内下底部用トシテ六十馬力「インガソール」壓氣機一臺及足尾式十一番型鑿岩機四臺ヲ増設セリ、坑内運搬ニ於テハ第二目尾坑ニ電氣捲揚機五十馬力一臺、同三十馬力二臺、電氣「エンドレス」五十馬力一臺ヲ新設シ以テ運搬ノ圓滑ヲ計リ鹽頭五尺坑口ノ在來ノ二十五馬力電氣捲揚機ヲ五十馬力ト取替ヘ運搬力ノ不足ヲ補ヒ新ニ開坑セル目尾五尺坑々口ニ二十五馬力電氣捲揚機ヲ新設セリ尙ホ鑛夫住宅ノ改築ヲ計畫シ一部竣工ヲ見タリ、而シテ本年度ノ產額ハ目尾坑ニ於テ約一萬噸ヲ減少セルモ第二目尾坑ニテ約二萬五千噸、鹽頭坑ニ於テ新ニ沓拔二坑開坑ノ爲メ二萬四千噸ヲ増加セルヲ以テ結局全體ニ於テ前年度ニ比シ一割二分餘ノ増加ヲ示シ三十四萬九千餘噸トナレリ

大之浦炭礦

福岡縣鞍手郡宮田町外三村

貝島合名會社

採炭及掘進ノ爲メ米國「ペンシルバニアコンプレッサーポンプ」會社製3A型六十馬力壓氣機ヲ三坑々内ニ二臺、四坑々内ニ一臺、五坑々内ニ二臺、六坑々内ニ一臺、七坑々内ニ一臺ヲ増設シ、米國「デンバードリル」會社製「ウオー」九十番型鑿岩機ヲ二坑々内ニ四臺、三坑々内ニ八臺、六坑々内ニ四臺、七坑々内ニ四臺ヲ増加シ、五坑々内ニ九臺、四坑々内ニ六臺ヲ新設シ又「シカゴニューマチツク」會社製一・二馬力電氣鑿岩機ヲ二坑々内ニ六臺、一坑々内ニ二臺、三坑々内ニ四臺、五坑々内ニ四臺、六坑々内ニ四臺、七坑々内ニ二臺ヲ新設セリ、排水設備ニ於テ十一臺ノ唧筒ヲ増設又ハ新設シ、坑内運搬設備ニ於テ八臺ノ電氣捲揚機ヲ改修、据換又ハ新設シ、「コンベヤ」十三臺ヲ増設或ハ新設シ、坑外運搬設備ニ於テ七坑々外運搬用百五十馬力下綱式電氣「エンドレス」一臺ヲ完成シ、二坑々外及五坑々外硬捨場ニ各々三十

馬力「スキップ」捲ヲ新設セリ、通氣設備ニ於テ七坑々内舊卸排氣道變更及七坑々口ニ十萬立方「キヤベル」式扇風機六坑舊卸口移轉工事ヲ完成シ、三坑々口ニ四十萬立方「シロッコ」式扇風機動力電化設備工事ヲ完成シ六百馬力電動機ヲ以テ運轉スル事トナレリ

斯ノ如ク各坑共ニ運搬機、壓氣機、切羽運搬機等ノ擴張、增加又ハ新設ニ依リ能率ヲ高メ出炭ノ増加ヲ計レリ

尙ホ選炭設備ニ於テ水洗硬ヲ坑内充填用トシテ使用スル爲メ三坑選炭場ニ百二十間ノ軌條布設ヲナシ六坑選炭場ニ於テ「コンベヤー」ヲ新設セリ其他沈澱池ノ一部改修工事ヲナシ小學校々舍、社宅、病院、事務所、分配所等新築、増築又ハ

改築セリ

鯨田炭礦

福岡縣嘉穂郡飯塚町外三村

三菱鐵業株式會社

昨年三月着炭セシ第一坑新坑ハ爾來掘進ヲ持續シ本年一月ヨリ採炭ヲ開始スルニ至レリ、又大正十五年一月斜坑開鑿ニ著手セシ第六坑大坪坑ハ本年九月坑口ヨリ二百六十間ニテ着炭シ其後掘進ヲ持續シ發展シツ、アリ

尙第六坑道祖坑ハ本年九月鴨生八尺層露頭ヨリ斜坑開鑿ニ着手シタリ

坑内設備ニ於テハ採炭用トシテ柳坑及第六坑ニ三菱長崎造船所製五十馬力電動壓氣機一臺宛ヲ新設シ、排水設備トシテ第一坑ニ「タービン」唧筒二百十五馬力三臺、同二百二十馬力二臺、第六坑ニ同六十馬力、三十馬力、十馬力各一臺、第六坑大坪坑ニ同六十五馬力、十五馬力、十馬力各一臺、第六坑道祖坑ニ同十五馬力一臺、二十馬力二臺ヲ新設シ、運搬設備トシテ第三坑々口電氣捲揚百七十五馬力ヲ同百五十馬力ニ据替ヘ第五坑々内左九片新捲卸同百五十七馬力ヲ同百馬力ニ据替ヘ第五坑々口同百九十馬力ヲ三百馬力ニ据替ヘ第六坑々内左又卸左一片四昇ヘ同十五馬力一臺、第六坑大坪坑々口ヘ同百七十五馬力一臺、同坑内北卸ヘ同十五馬力一臺、第六坑道祖坑々口ヘ同三十馬力一臺ヲ各新設シ又運搬操

業ノ利便ヲ計ル爲メ炭車ノ改造ヲ行ヒタリ即從來炭車容積二十二立方尺ナリシヲ二十八立方尺ノモノトナシ、同時ニ各坑口捲卸軌條ノ主要部分ハ二十封度軌條變更セリ、通氣設備トシテ第一坑新坑ニ「シロツコ」式扇風機三十馬力一臺ヲ新設セリ

坑外設備ニ於テハ水ヶ坂硬捨専用三十馬力電氣捲ヲ五十馬力ニ變更セリ又運搬ノ便ヲ計ル爲從來二十五封度及二十封度ナリシ電車軌道ノ軌條ヲ三十封度軌條ト取替スヘク本年七月ヨリソノ工事ニ着手シ總延長八・八六哩ノ内二・〇〇哩分完成セリ、第一號選炭機ニ於テ二號炭「コンベヤー」一臺（能力毎時十噸）第五號再選機ニ於テ「ジッガー」一臺（能力毎時二十噸）ヲ新設セリ尙第一坑、第五坑間送電線ハ從來二回線ナリシヲ第五、六坑ノ電力消費量多量トナリシ爲メ増設ヲ行ヒ四回線トナセリ

斯ノ如ク運搬設備ノ改善ト採掘切羽ノ増加ノ爲メ本年度產額ハ前年度ニ比シ二割餘ノ増加ヲ示シ七十三萬六千餘噸トナレリ

住友忠炭礦

福岡縣嘉穗郡穗波村外一町一村

住友合資會社

大燒層採掘ヲ目的トセル第七坑ハ本年坑底左右主要運搬坑道ヲ延長中ナルカ五月ヨリ右第一本卸ノ開鑿ニ著手セリ又左第一本卸ヲ明年四百五十間掘進スル豫定ニシテ明年九月迄ニハ本卸坑道ノ運搬、通氣、排水、選炭等ノ設備ヲ完成スルニ至ルヘシ、第三坑浦田八尺層ハ第三坑八尺層ヨリ水平坑道掘進中ノ處着炭ト同時ニ同層ノ發展ヲナシツ、アリ坑内設備ニ於テハ「デンバー」、ウオー、ハンマーモデル」九十五號七臺「ウエストフアーリア」會社製「オーガー」附ローター「エーアドリル」三臺ヲ増設シ第四坑八尺層ノ上位約二十尺ニ在ル上七ヘダ層採掘ノ爲メ前年度第三坑浦田八尺層用トシテ設置セル五十馬力壓氣機一臺及「デンバー」、ウオーハンマー」鑿岩機四臺ヲ移轉設置シ十一月ヨリ機械掘試

驗中ナルカ將來同方面ハ全部機械掘ニヨル豫定ナリ、排水設備トシテ第一坑ニ「タービン」唧筒百四十馬力一臺、第三坑ニ同百四十馬力、四十五馬力、四十馬力各一臺、第四坑ニ同四十五馬力一臺、第七坑ニ同三百馬力、百四十馬力、四十馬力各一臺ヲ設置シ、運搬設備トシテ第五坑ニ二十馬力電氣「エンドレス」一臺、第七坑ニ電氣捲揚機四百五十馬力、二百馬力各一臺、「アンチャー」會社製五噸蓄電池電氣機關車一臺ヲ新設セリ、又通氣設備ニ於テハ豫備トシテ十五萬立方呎「シロッコ」式扇風機一臺、常用トシテ十五萬立方呎電氣吹込式扇風機ノ新設ニ著手セリ之等ハ何レモ明年度竣工イ豫定ナリ

坑外ニ在リテハ二千「キロワット」火力發電機増設工事ニ著手シ又之ニ伴フ汽罐場ノ増設ヲ計畫シ碎粉炭燃燒水管式汽罐一臺ノ設置ヲ起工セリ發電機ハ明年二月、汽罐ハ同四月竣工ノ豫定ナリ

芳雄炭礦 福岡縣嘉穂郡飯塚町外二村 株式會社麻生商店

各捲卸及捲立場掘鑿用トシテ足尾製作所製十一番型六臺、卸掘進用トシテ山内第三坑内ニ英國「センチネル」會社製六十馬力壓氣機一臺、坑内排水ノ爲メ山内第三坑各卸ニ五馬力「デートン」唧筒四臺、上三緒第一坑下層ニ同三坑ヲ新設セリ、坑内運搬用トシテ上三緒第一坑内下層ニ二百馬力電氣捲揚機一臺、山内第三坑口ニ三百馬力電氣捲揚機一臺ヲ新設セリ而シテ山内第三坑口捲揚機ニヨリテ同坑内出炭ノ外從來第一坑内ヲ經テ坑外ニ搬出セシ硬モ直接坑外ニ搬出シ得ルコト、ナレリ又選炭ニ於テハ大塊硬再選及二號炭破坑再選ノ爲メ從來ノ選炭場ニ併列シテ「チツブラー」一臺、「ジムマー」式篩一臺、五呎×四呎八吋手選帶一臺、五呎×四呎二吋手選帶一臺、「シングルロール」式「クラッシャー」一臺ヲ増設セリ之カ爲メ選炭能力從來ニ倍加セリ尙ホ鑛夫長屋十五棟（此ノ戸數百四十戸）ヲ新築セリ

飯塚、大浦炭礦 福岡縣嘉穂郡穗波村外二村 中島鑛業株式會社

壓氣機十一臺ヲ増設セリ之ヲ細別スレハ第一坑ニ米國製「インガソール」式二臺、三尺第一坑ニ三菱製「サリバン」式一臺、米國製「サリバン」式一臺、三尺第二坑ニ米國製「ペンシルバニヤ」式一臺、三菱製「サリバン」式二臺、第三坑ニ米國製「ペンシルバニヤ」式一臺、小浦坑ニ三菱製「サリバン」式二臺、機械工場ニ米國製「ペンシルバニヤ」式一臺ニシテ馬力數ハ何レモ五十馬力ナリ、又坑内發展ノ結果運搬力ノ増大ヲ計ル爲メ電氣捲揚機ノ新設及取替ヘヲ行ヒタリ、即チ第一坑ニ於テ十五馬力一臺ヲ新設シ第二坑ニ於テ在來ノ五十馬力ヲ百馬力ニ、三尺第二坑ニ於テ在來ノ百馬力ヲ百五十馬力ニ、第三坑ニ於テ在來ノ十五馬力ヲ五十馬力ニ取替ヘタリ又三尺第二坑排氣坑口ニ「キャベル」式扇風機百馬力排氣量四千二百四十七立方米一臺ヲ新設シ坑外ニ於テ第二坑及三尺第二坑硬及汽罐焚滓運搬用トシテ設備セル在來ノ十吋蒸汽捲揚機ヲ百馬力電氣捲揚機ニ變更セリ

綱分炭礦

福岡縣嘉穂郡庄内村

株式會社麻生商店

大燒炭層群探索ノ爲メ堅木本卸詰ニ於テ試錐セシニ約二十尺ニシテ大燒炭層ニ着炭シ約百尺ニシテ花崗岩ニ出會セル爲メ中止セリ、又綱分西部下層探索ノ爲メ堅木左一片捲立ヨリ約百間ノ箇處ニ於テ試錐セシニ約四十尺ニシテ本層群縮緬層ニ、六十尺ニシテ上鬼炭層ニ、四百十尺ニシテ大燒炭層群ニ著炭セリ

前年ヨリ掘進繼續中ノ綱分第二坑縮緬本卸ハ一月坑口ヨリ二百三十間ノ箇處ニテ着炭シ次ニ豫想ノ斷層ニ會セシニヨリ之ヲ中止セリ、綱分第一坑堅木左四片捲立深部ノ堅木炭掘採ノ目的ニテ本年十一月捲立奥十五間ノ箇所ヨリ切上リ掘進ニ著手セリ之カ著炭後ハ著炭點ヨリ假捲卸ヲ掘鑿シ左四片坑道迄差下ス豫定ナリ、排水設備トシテ「タービン」唧筒百馬力六臺、同二十五馬力二臺、同十二馬力一臺、「デートン」唧筒五馬力一臺、「トラック」唧筒五馬力一臺ヲ増設セリ、運搬設備トシテ綱分第一坑ノ從來ノ七馬力半、電氣捲揚機一臺ハ出炭増加ノ爲メ能力不足スルニ至リシヲ以テ之ヲ廢シ

三十馬力電氣捲揚機一臺ヲ設置セリ、又綱分坑ニ於テ徑七呎「ランカツシャー」式汽罐一臺ヲ増設シ從來ノ「エンドレス」用双汽笛八吋原動機ヲ十吋ト取替ヘタリ

二・瀨炭礦

福岡縣嘉穂郡飯塚町外一町三村 商工省

中央礦本坑及潤野坑ノ給氣量増加ヲ目的トシテ五月小正本卸坑道開鑿ニ着手シ同十月竣工セリ、又土砂充填用鐵管ヲ布設スル目的ニテ開鑿シタル小正風坑ニ坑口ヨリ約三十間ノ箇處ヨリ本年十月坑道ヲ開鑿シソノ延長約三十五間ニシテ砂槽裝置ト連絡シ、新ニ砂槽容積百立坪ノ工事ニ著手明年三月竣工ノ豫定ナリ、高雄礦第二坑ニ於テ三月新五尺坑四尺炭層本卸掘進ニ著手シ六月竣工セリ、又別ニ後牟田坑本卸ナル新坑ヲ開鑿ニ著手年末ニ於テ三十間進捗セリ、延長七十間ニシテ著炭ノ豫定ナリ

坑内設備トシテハ中央礦潤野坑ニ於テ六吋「ウオシントン」唧筒一臺、二十馬力壓搾空氣捲揚機一臺、三百馬力電氣捲揚機一臺、四十六馬力電氣捲揚機一臺ヲ増設シ、小正風坑ニ「ラト」式扇風機最大排氣量二十萬立方呎一臺新設工事ニ著手シ、高雄礦第二坑ニ於テ百立方呎「タービン」唧筒四臺、電氣捲揚機百五十馬力、六十馬力、三十馬力、二十五馬力各一臺ヲ増設セリ

坑外設備トシテハ中央礦本坑ニ「バーム」式水洗機能力毎時五十噸一臺ヲ増設シ高雄礦第一坑ニ鎧板選炭機能力毎時三十五噸及四十噸各一臺ヲ新設セリ、坑内充填用土砂ヲ運搬スル目的ヲ以テ穗波村小正區ニ四輪聯結「タンク」蒸汽機關車（牽引力七千九百二十封度速力一時間十八哩）一臺ヲ運轉スル軌道（延長五十四鎖一四四、軌條大サ六十封度軌間三呎六吋）ノ工事ニ著手シ明年一月竣工ノ豫定ナリ

古河下山田炭礦 福岡縣嘉穂郡山田村 古河鐵業株式會社

新坑ハ本年二月延長百四十二間ニテ著炭シ汽箆徑二十吋ノ蒸汽捲揚機一臺、四十馬力排氣量毎分六萬立方呎ノ「シロ」扇風機一臺、徑六呎六吋「ランカッシャ」式汽罐二基、毎時能力三十噸ノ共益社式洗炭機一臺ヲ各新設、施設完備シ出炭ヲ見ルニ至レリ尙ホ足尾式十一番型鑿岩機六臺ヲ増設セリ

吉隈炭礦 福岡縣嘉穂郡桂川村外四村 株式會社麻生商店

鑛區ノ南半部ニ於ケル大燒炭層群ノ探索ノ爲メ金剛石試錐ノ結果大燒層及芳ノ谷層ノ稼行ニ堪ユルコトヲ確メタリ、八尺坑々内ニ中山式電氣鑿岩機一臺及吉隈二坑本卸ニ「インガソール」會社製七十五馬力壓氣機一臺ヲ設置セリ、又新二坑ニ五十馬力「タービン」唧筒二臺、十五馬力「デイトン」唧筒一臺ヲ増設シ同坑々外ニ十二萬立方「シロツコ」式扇風機一臺ヲ設置セリ、累年ノ產炭増加ニ伴ナフ操業ノ圓滑ヲ計ル爲メ共益社式毎時二十五噸再洗機一臺ヲ増設シ又愛宕汽罐徑七呎二基ヲ八尺坑々口ニ移轉設置シ同時ニ從來ノ吉隈二坑汽罐ヲ廢止セリ

姪濱炭礦 福岡縣早良郡姪濱町外二村 姪濱鑛業株式會社

坑内排水設備トシテ「タービン」唧筒六十馬力二臺、同三十馬力二臺、坑内運搬設備トシテ十五馬力電氣捲揚機一臺、三十馬力逆轉「エンドレス」一臺、三十馬力「メイン、アンド、テール」捲機一臺、坑外運搬設備トシテ汽箆徑七吋蒸汽捲揚機一臺、汽箆徑十二吋蒸汽捲揚機一臺ヲ各設置セリ、選炭設備（選炭能力一ヶ月約塊炭五千八百五十噸、粉炭四十噸不良炭百五十噸）トシテ塊炭、不良炭及粉炭ノ分級ヲ目的トスル炭函回轉機、「ジマー」篩、回轉水洗機、手選帶（幅三尺）各一臺ヲ設置セリ

糸田炭礦 福岡縣田川郡後藤寺町外一村 井上鑛業合資會社

坑内發展ニ伴ヒ第一坑ニ「タービン」唧筒四十馬力一臺、同十五馬力二臺、同五馬力一臺、十二吋「エバンス」唧筒

一臺ヲ増設シ、第三坑外ニ坑内運搬用八吋蒸汽捲揚機一臺、第二十二坑外ニ同八吋蒸汽捲揚機一臺ヲ設置シテ運搬設備ノ擴張ヲ計レリ、各坑道ノ發展ト坑夫ノ増加ニ依リ本年度産額ハ前年ニ比シ五割餘ヲ増加セリ

大峰炭礦 福岡縣田川郡添田町外二村 藏内鐵業株式會社

大峰二坑ハ坑内進展シ本卸右七片ヨリ掘鑿セシ斜卸坑道ハ本年五月本卸右二十二片下層卸左零片ヨリ向掘ヲナシツ、アルニヨリ明年二月中貫通ノ豫定ナリ又下層卸部内ノ總排氣坑道トシテ右二十一片ヨリ掘鑿セル坑道ハ本年一月完成、之ヲ利用シテ左右片盤ヲ開設シ漸次下層四尺炭ノ出炭増加ヲ計レリ、昇坑道掘鑿ノ爲メ五十馬力電氣捲揚機一臺ヲ設置シテ下層四尺層部内ノ通氣ヲ佳良ナラシムル爲メ三十馬力毎分二萬立方呎ノ「シロツコ」式扇風機一臺ヲ本卸右二十二片下層卸口ニ設置セリ、尙ホ選炭設備ニ於テ二吋以下ノ小塊並ニ粉炭ヲ處理スル爲メニ能力毎時五十噸ノ共益社式水洗機一臺設置ニ著手セリ

三井田川炭礦 福岡縣田川郡後藤寺町外二町四村 三井鐵山株式會社

第二坑十三片及第三坑四尺ニ英國「メーバー・コールソン」製「ユニバーサル・カッター」三十馬力一臺宛、第三坑四尺ニ百封度二百十立方尺「インガート・ソールランド」製壓氣機一臺、豫備トシテ八十封度二百三十五立方尺「ゼ、ゼ、オ、ライナー・リンク・ウオータ」製壓氣機一臺ヲ設置セリ、又鑿岩機トシテハ第一坑ニ米國「インガート・ソールランド」製「ジヤック・ハンマード・リル」十二型三臺、第二坑ニ同二臺、第三坑ニ同三臺ヲ増設セリ、坑内排水ノ爲メ第一坑第一分坑四尺卸ニ「タービン」唧筒三十五馬力一臺、斜坑左斜右六片ニ同六十馬力一臺ヲ増設セリ、坑内運搬ニ於テハ第一坑第一分坑々口ニ電氣捲揚機二百四十馬力一臺ヲ設置シ第一坑本坑尺無卸同三十五馬力一臺ヲ六十馬力ニ變更シ第二坑ニ同三十五馬力一臺、同六十馬力一臺第三坑八尺坑ニ逆轉式「エンドレス」三十五馬力二臺ヲ設置シ電氣捲揚機三十五馬力ヲ六

十馬力ニ變更セリ、又第三坑四尺坑ニ十馬力逆轉式「エンドレス」二臺、三十五馬力電氣捲揚機一臺、伊田斜坑ニ三十馬力逆轉式「エンドレス」三臺ヲ設置セリ、坑外運搬ニ於テハ第二坑硬拾「エンドレス」三十五馬力ヲ六十馬力電氣捲揚機ニ變更ニ著手セリ、通氣ニ於テハ第二坑又卸左十二片ニ百馬力六萬立方呎「シロッコ」式扇風機一臺ヲ設置シ坑外十五萬立方呎扇風機ヲ之カ豫備トセリ

赤池炭礦 福岡縣田川郡上野村外一郡三村 明治鑛業株式會社

新坑第一本卸水平坑道掘進ハ益々進捗セルカ二百九十間ノ位置ヨリ中卸ヲ作り探炭ヲ開始セリ、又一坑區域右部三尺層探掘ノ目的ヲ以テ右斜本卸ヲ開鑿シ同層ニ著炭探掘ヲ爲シツ、アリ其他各坑探掘區域ノ發展ニ依リ本年度產額ハ前年度ニ比シ一割三分餘ヲ増加セリ

新坑々内ニ「ニューマチツクドリル」用トシテ「インガースーラランド」會社製六十馬力壓氣機一臺及鑿岩機「デンバ・ウオー」九五番型四臺、一坑々内ニ同鑿岩機一臺、二坑々内ニ同鑿岩機二臺ヲ増設シ坑道掘進ノ促進ト探炭能率ノ増進ヲ計リタリ、排水設備ニ於テハ新坑々内中卸坑道掘進ト共ニ八馬力「ブランジャヤ」唧筒四臺ヲ新設セリ、運搬設備ニ於テハ運搬能力増加ノ目的ヲ以テ新坑々内中卸用トシテ電氣捲揚機五十馬力一臺、新坑第一本卸零片第二電捲卸用トシテ同二十五馬力一臺、新坑第一本卸連卸掘進用トシテ同二十馬力一臺、同仕線用トシテ同三目拔ニ十馬力一臺ヲ各新設セリ、新坑左斜五片電氣捲ハ從來二十五馬力ナリシカ出炭増加並ニ坑道延長ノ爲五十馬力ニ變更シ又一坑左斜第二電捲卸用トシテ同五十馬力一臺、一坑右斜卸電捲用トシテ同五十馬力一臺ヲ各新設セリ、通氣設備ニ於レハ一坑右部三尺層探掘發展ニ伴ヒ前年一坑左一片四尺軌道ニ設置セル三萬立方局部扇風機ヲ四尺連卸ニ移シタリ、選炭場ニ洗炭用「ボケツト」鐵筋「コンクリート」製二基（容量三百噸一基、同五百噸一基）ヲ設置シ又出炭ノ増加ニ伴ヒ微粉炭沈澱用第三沈

澱池一個（築堤高サ四尺五寸平均厚サ八尺總面積千七百餘坪）ヲ築造増設シ尙ホ醫院附屬建物ノ擴張改築ニ著手セリ

杵島炭礦第三坑 佐賀縣杵島郡大町村外二郡三村 佐賀炭礦株式會社

坑内外ノ設備整理、坑内擴張、採掘法ノ改善、鑛夫増加等ヲ行ヒタル爲メ出炭能率ヲ向上シ本年度ハ四十八萬三千餘噸ノ出炭額アリテ前年度ニ比シ四割四分餘ヲ増加セリ

採掘法トシテ從來ノ柱房式採掘法ヲ廢シ新タニ前進長壁式採掘法ヲ採用セル結果生産上ニ及ホス效果著シキヲ認メタリ、採炭用トシテ電氣鑿岩機「ヒーリング製ハウエル」十臺「シカゴニューマチツクツールコンパニー」製「リツツルジャイアント」六臺、「シーメンス」製二臺、泉式二臺計二十臺ヲ増加セリ、採掘法變更ノ結果作業場ヲ集中セル爲メ從來散在設置セル唧筒ヲ廢合、主トシテ東西本坑ニ集水シ從來ノ直高百尺級ノ低壓唧筒ヲ順次高壓ニ改ムルコト、シ東坑本卸及西坑本卸ニ直高三百五十尺揚水量五十立方呎六十馬力「タービン」唧筒各四臺宛ヲ新設セリ、坑内運搬設備ニ於テハ從來十八吋蒸汽捲揚機ヲ使用セル東坑ハ坑内發展出炭増加ニ對シ運搬力不足ヲ來タスヘキニヨリ之ニ應スヘク上綱式十八吋蒸汽「エンドレス」ト取替ヘタリ、坑内外ニ於ケル軌條ハ從來十二、十四、十六、十八、二十吋度ノ各種ヲ使用セシカ爾來坑内主要幹線ハ三十、準主要線ハ二十四其ノ他ハ坑内外共十六乃至十八吋度ニ變更ノ計畫ヲ樹テ既ニ坑口以下東坑複線五百間、西坑同複線六百間ハ三十吋度ニ改設シ其他ハ順次取替中ナリ、尙自家發電ヲ廢シ東邦電力會社ヨリ受電スルカ爲メニ變電所ヲ設ケ其工事ニ着手シ一部ノ受電ヲ開始セリ、全部完成ノ上ハ從來ノ自家發電ヲ單ニ豫備トスル豫定ナリ、其他坑口ヨリ選炭機間ニ於テ貯炭量二千噸ノ「ポケット」ヲ建設セリ

崎戸炭礦 長崎縣西彼杵郡崎戸村 九州炭礦汽船株式會社

福浦坑ニ於テハ六十馬力電氣捲揚機一臺、二十馬力電氣捲揚機一臺、三十馬力「テールロープ」捲一台ヲ新設セシ外必

要ニ應シ小型捲揚機ノ移設變更ヲナセル等坑内運搬設備ノ改善ト四、五尺層採掘ノ順調ナル進捗等ニヨリテ豫期以上ノ出炭ヲ見タリ

淺浦坑西一坑道方面ハ將來重要ノ採炭個所ナルヲ以テ之カ發展ニ努メ二十八卸ニ百馬力電氣捲揚機一臺ヲ新設シ小型捲揚機ノ移設又ハ變更ヲナセリ

蟬浦坑下風坑ハ前年末上層ニ著炭シ又上風坑ハ本年七月著炭セリ坑底ハ滿潮面下八百七十一尺五寸卸延長千二百米ノ點ニ定ムル豫定ナリ尙ホ上風坑口ヨリ百八十五米ノ位置ニ深サ八十尺ノ排氣堅坑ノ開鑿ノ計畫ヲ立テ明年四月完了ノ豫定ナリ

事業發展ニ伴ヒ所要電力増加セルヲ以テ從來ノ五百「キロ」發電機一臺ヲ撤去シ之ニ代フルニ三千「キロ」發電機一臺ヲ設置シ既設ノ千「キロ」發電機三臺ヲ豫備トシ出力三千「キロ」トスル計畫ノ工事ハ十月完成セリ、更ニ又發電所ノ豫備能力ヲ確實ニスル爲メ既設發電機ノ内千「キロ」發電機一臺ヲ撤去シ新ニ三千「キロ」發電機一臺ヲ増設スル計畫ヲ樹テ明年四月完成セシムル豫定ナリ

積込設備トシテハ本年八月福浦貯炭場ニ幅七百十耗長サ二百五十四米一時間容量百五十噸ナル「ベルトコンベヤ」設置工事ニ著手明年四月完成ノ豫定ナリ、尙ホ福浦坑汽罐場ニ「バブコックエンドウイルコックス」水管式汽罐一基増設ヲ計畫シ明年四月完成ノ豫定ナリ

池野炭礦 長崎縣北松浦郡杣木村 靜 著

坑内排水ニ於テ六坑中段唧筒座ニ從來据エ付ケアリシ「タービン」唧筒二十立方二臺ノ内一臺ヲ同三十立方三十五馬力ト取替ヘ他ノ一臺ヲ卸詰ニ設置シ從來卸ニ在リタル同十立方一臺ヲ掘進専用トシ、坑内運搬ニ於テ四坑斷層先卸運搬用

トシテ右八片口ニ二十馬力電氣捲揚機一臺ヲ新設シ、坑外運搬ニ於テ六坑選炭場ヨリ直路二百間ナル重石驛貨車積込場迄十五馬力電氣「エンドレス」ヲ新設シテ從來ノ人力運搬ヲ廢シ、坑内通氣ニ於テハ從來六坑カ自然通氣ナリンヲ「シロッコ」式扇風機十五馬力排氣量一分間一萬五千立方呎一臺ヲ排氣坑口ニ新設シ、尙ホ選炭ニ於テ四坑水洗機ノ増設及此ノ廢水處理ノ爲容量百二十立坪ノ沈澱池一個築造ニ著手セリ

鹿町炭礦 長崎縣北松浦郡江迎村外二村 商工省

加勢坑第二坑道ハ明年四月末著炭ノ豫定ナリ、同坑本坑道内ニ六十馬力電氣捲揚機一臺ヲ据付ケ同坑道坑口ヨリ海岸迄石炭、硬及諸材料運搬用トシテ延長千二百三十間ノ復線車道ヲ布設セリ

又本坑ニ於テハ從來蒸汽罐ノ餘熱ニ依ル自然通氣ナリシモ坑道ノ延長ニ伴ヒ通氣量不足トナリシヲ以テ排氣坑口ニ「シロッコ」式扇風機十馬力（排氣量每分三萬立方呎）一臺ヲ新設セリ、本坑選炭場ニ「センチュリー」式選炭機二臺「トロネル」一臺（能力毎時三十噸）ヲ据付ケ加勢坑ニ「バウム」式水洗機（能力毎時五十噸）一臺及之ニ附帶シテ「コールビン」（容量八十五噸）一個、「セーキングスクリーン」一臺、「ピッキングベルトコンベヤー」一臺、「ロールクラツシヤー」一臺、「デイスインテグレーター」一臺、「ビル」式送風機一臺、「エレベーター」五臺、硬拾「コンベヤー」一臺、「セントリヒウガル」唧筒一臺、木製「ポケット」二個ヲ夫々新設セリ

住友大瀨炭礦 長崎縣北松浦郡山口村外二村 住友合資會社

當礦區ニ介在セル主要炭層中五尺層三尺層以外ニ三尺層ノ下位約四十尺ニ當リ四尺層存在セルモ其ノ炭質層厚等不明ノ點多キヲ以テ之ヲ探ル爲メ九月一斜坑ヲ開鑿ニ著手シ明年四月延長四十間ニシテ著炭ノ豫定ナリ

排水設備ニ於テハ第三坑々内ニ「タービン」唧筒八十五馬力一臺、四十馬力一臺、二十馬力二臺ヲ設置シ運搬ニ於テハ

能力ノ不足ヲ補フ爲メ同坑外ニ百五十馬力電氣捲揚機一臺、五尺坑々内内左二十片ニ同處斷層奥探掘ノ爲三十五馬力局部捲揚機一臺ヲ新設セリ又同坑々外汽罐場ニ於テハ「ランカツシャ」式汽罐三基、(徑七呎二基、徑六呎九吋一基)ヲ設置シテ「既設ランカツシャ」式汽罐ノ内三基ト取替ヘタリ

(ハ) 石 油 山
石狩鑛山 石狩國石狩郡石狩町 日本石油株式會社

年々事業ノ擴張ニ努メ本年度ニ於テハ左記十九坑ヲ開掘セリ

八ノ澤	俊別	掘鑿方法	深度	成功當時ノ平均日產	摘要
一八號 同	四二號 網掘	掘進中	五三八・〇〇*	二・二八 _{キログラム}	年末五七六米
一九號 同	四六號 同	掘進中	六〇〇・〇〇	〇・七三	
	四七號 同	掘進中	同	三・五〇	
	四五號 同	掘進中	同	〇・七九	
	五〇號 同	掘進中	同		
	四九號 同	掘進中	六一〇・〇〇	〇・五九	
	四八號 同	掘進中	六一一・七〇	〇・四七	
	五一號 同	掘進中	六〇〇・〇〇	〇・六六	
	五二號 同	掘進中	同		
	五三號 同	掘進中	同		
		掘進中	同		
		掘進中	六五一・四〇	〇・一七	年末六〇〇米

俊 別							
	三	七	六	五	四	一	二
	號	號	號	號	號	五	〇
	同	同	同	同	ロータリー	同	同
						同	同
	六五二・〇〇	六〇〇・〇〇	六一一・七〇	六一〇・〇〇	六三一・〇〇		
	〇・一九	〇・六六	〇・二六	〇・六四	〇・一二		
						同	同
						五五二米	一五八米

右ノ外前年度ヨリ引續キ掘鑿セル坑井數五井ニシテ全部成功セリ

三月ヨリ試験的ニ「ロータリー」式三號井ヲ開掘シ引續キ五坑ヲ成功シ十二月八號井ノ開坑ニ着手掘進中ナリ

「ロータリー」式ハ從來ノ網掘式ニ比シ掘進率二倍以上ナルヲ確メタルモ油量其他ノ點ニ關シ尙試験中ナリ

事業ノ發展ニ伴ヒ「キロワット」發電機一臺ヲ増設シ又坑井掘鑿用動力トシテ汽罐三臺ヲ増設セル外鑛毒除去ノ爲

メ八ノ澤ニ濾過池二個ヲ新設シタリ

從來石狩町鑛山間三里半ノ間ハ作業用諸機械並ニ物資ノ輸送ヲ馬車ニヨリ居リシカ能率不良ニシテ操業上蹉跎ヲ招クコ

ト多ク發展ヲ阻害セラルルノ虞アリシヲ以テ九月ヨリ專用軌道布設工事ヲ開始シ十一月完成セリ軌條延長七哩十九鎖、

單線ニシテ十二封度軌條ヲ使用シ機關車ハ二〇馬力「フォードエンデン」、車輛ノ最大連結數三輛（一輛ノ積量一千五百

封度弱）、最大速度十哩時ナリ

尙本鑛山產油量ノ増加ヲ計ラン爲メ目下出油中ノ俊別以外ニ坑井ノ開鑿ヲ計劃シ本年八ノ澤ニ五坑、五ノ澤ニ三坑ヲ開

坑シタリ

鑛山ノ進展ニ伴ヒ飲用水ノ缺乏ヲ來サントスルヲ以テ俊別澤水源池小澤ニ容量約一、八〇〇「キロリットル」ノ貯水池ヲ造ルヘク鐵筋「コンクリート」築堤工事ヲ開始セリ

増幌鑛山 北見國宗谷郡稚内町 日本石油株式會社

前年來掘進中ノロ式二號井成功セルニヨリ常掘井ヲ造ル計劃ノ下ニ開掘ニ着手シ本年度ニ於テハ左記三坑井ヲ開鑿セリ

坑井番號	掘鑿方法	深 度	成功當時ノ平均日産	摘 要
一四號	網 掘	三七四・八〇	一・〇八 キロリットル	
一五號	同	三八〇・〇〇	四・一五	
一六號	同	掘 進 中		年末四一二・六

右網式十四號井並ニ十五號井ノ成功増産ニヨリ本年度ハ六五三「キロリットル」強ヲ產出シ前年ヨリ四五八「キロリットル」強ヲ増産セリ

厚眞鑛山 膽振國勇拂郡厚眞村 日本石油株式會社

銳意事業ノ發展ニ努メ前年來繼續掘進坑井數四坑、本年度開坑井數二二坑、成功井一八坑、不成功井一坑、廢坑井一坑又追掘井三坑、年末未成功井七坑（掘進中）ニシテ坑井ノ増加ニ依リ産額ハ前年ニ倍シ二、五八八「キロリットル」強ヲ得タリ

鑛山内點燈用トシテ六匹及二匹發電機ヲ新設シ其ノ原動力トシテ一〇馬力及五馬力瓦斯發動機ヲ新設シタリ又採油掘鑿用トシテ汽罐二臺、汽機（モーガル式）二臺、石油發動機一臺、瓦斯發動機一臺ヲ増設セリ此ノ外一〇馬力石油發

動機ヲ鐵工用トシテ設置セリ

從來送油ハ「ドラム」罐詰トシ車馬輸送ヲ爲シ居リシカ送油鐵管二吋延長八、一四八米三五及三吋延長八、五〇〇米ヲ布設シテ車馬輸送ヲ廢止セリ

尙揮發油採收場ヲ起工シ目下工事中ナリ

大日本小國鑛山 秋田縣由利郡院內村 大日本石油鑛業株式會社

前年來銳意事業ノ發展ヲ計リタリシカ本年ニ入り新ニ網式一九號二〇號ノ二坑井ヲ掘鑿シ同二號、四號、十三號、十六號ノ四坑井ノ掘下ヲ遂行セル結果前年ニ比シ二千二百六十八石餘ノ増産ヲ見ルニ至レリ

而シテ採油井ノ増加ニ伴フ採油設備トシテ新ニ「ナシヨナル」式一五馬力「ポンピングバツ」一臺ヲ設置セリ

黒川鑛山附屬秋田製油所 秋田縣南秋田郡土崎港町 日本石油株式會社

當製油所ニ於テハ一層設備ノ完全ヲ期シ本年七月蒸溜釜一基ヲ改造シテ之レニ附屬スル精溜器四及「セバレーター」一個ヲ設置セリ、而シテ當製油所ニハ從來脱蠟裝置ヲ缺キタリシカ十月「コールドセツトリング」法ニ脱蠟裝置ヲ新設シ始メテ原油ヨリ完全ニ總テノ製品ヲ製出シ得ルニ至レリ之カ爲メ新設シタル設備左ノ如シ

横置双筒複働「ビストン」型「アンモニアコンプレッサー」

(能力一五噸北米合衆國「ヴァイルター」會社製)

其他起寒裝置一式

「アジテーター」

全容量 三一〇石

同

同 一二三〇石

貯油槽（鐵槽）

四一〇石

二

同

四四〇石

一

同

五一五石

一

同

四〇〇石

三

同

二三六石

一

同

二三七石

二

同

三〇石

一

右ノ外増設セルモノ左ノ如シ

「ランカシヤ」式汽罐

一

「アジテーター」

一

主要設備トシテ廢止シタルモノ左ノ如シ

貯油槽（鐵槽）

三〇、〇〇〇石

一

西山鑛山

新潟縣刈羽郡二田村外四

日本石油株式會社

（新油層ノ發見ト其ノ採油）深層油探究ノ目的ヲ以テ昨年來銳意掘鑿中ナリシ瀧谷ロ式五十五號井ハ深度千四百六十五米、千五百二十三米及千五百七十米ノ各層ニ於テ出油ヲ見、掘進スルニ從ヒ益々瓦斯猛烈トナリ經過良好ニシテ相當ノ油量アルヲ以テ深度千六百六十米ニテ掘止ヲ行ヒ試油シタルニ自噴ヲ開始シ日產十軒内外ヲ採收スルニ至レリ、依テ其ノ後此ノ油層ヲ目的トスル坑井ヲ瀧谷、入和田方面ニ數坑開坑シ旺ニ採油シツツアリ

(鑿井)前年ヨリ繼續掘鑿井六坑、本年新着手掘鑿井九坑ノ中成功井ハ十二坑ニシテ掘鑿未了井ハ二坑ナリ

(坑井内液壓増加ノ目的ニ重晶石粉末ノ應用)坑井掘進中ノ崩壞、埋沒、出水及噴瓦斯等ノ事故ニ對シ從來ハ灌水法ニヨリ清水又ハ泥水ヲ用ヒ其ノ液嵩壓力作用ヲ利用シテ制禦スルヲ常トセリ、之ノ場合水ニ混入セラルル粘土ハ其ノ性質ノ如何ニ依リ反對ニ掘進上ノ支障ヲ來シ或ハ比重大ニ過キテ唧筒作用ノ障害ヲ呼フコトアルヲ以テ普通ハ泥水ノ比重一・三ヲ最高度トサレタリ、更ニ瓦斯制壓ノ場合ニハ以上ノ外粘土カ

(イ) 氣泡ヲ多ク含マサルコト

(ロ) 坑壁ヲ造ルニ適當ノ粘質ヲ有スルコト

(ハ) 沈澱度ノ少ナキコト

等ノ條件ヲ具備スルヲ必要トス

此ノ目的ノ爲、種々ノ粘土ヲ研究試驗ノ結果、比重四・三乃至四・六ノ重晶石ヲ粉末トシ之ヲ泥水ニ混シ比重一・五乃至一・七ノ溶液ヲ造リ使用スルヲ最モ適當ト認メ實地ニ應用シタルニ良好ノ結果ヲ得タリ、即チ此ノ方法ニ依リ瓦斯油田タル高町(ロ式七號及八號)及割町(ロ式一號)ニ於テ瓦斯抑壓ニ成功シ瓦斯層以下ノ掘進可能トナリ次テ新津油田(ロ式百六號)ニ於テモ之ヲ採用シ近來ハ當山ノ深掘井ノ仕上ニ利用シツツアリ

(捲揚機ノ設置)經費、燃料ノ節約ヲ圖ル目的ヲ以テ長嶺鑛場内四個所ニ昨年十二月設置工事ニ着手シタル五十馬力電動捲揚機ハ九月十五日竣工シ爾來附近坑井ノ單獨汽力「ブーリング」ヲ廢止シテ作業ヲ有利ニスルヲ得タリ、又瀧谷地内ニ設置工事中ノ七十五馬力電動捲揚機一臺モ近ク竣工ノ豫定ナリ

(「ガソリンプラント」)揮發油ノ增收ト經費ノ節減トヲ計ル目的ヲ以テ昨年七月起工シタル中央「ガソリンプラント」ノ

新設工事ハ同年中ニ其ノ一部ノ竣工ヲ見、運轉ヲ開始シタルカ本年八月全部ノ工事ヲ完成シタリ、其ノ結果二月湯ノ入及長嶺第三「ガソリン、ブランド」ヲ九月後谷及宮川「ガソリンブランド」ヲ孰レモ廢止シ且ツ二月末瀧谷ニ「バキアム、ボンブ、ステーション」ヲ新設シタリ

(除害工事)宮川鑛場内後谷小字宮ノ前及タイノ脇、濾過池ハ從來土質濾過池ナリシヲ混凝土ニ改造シ且ツ污水ハ四吋鐵管ヲ淮谷海岸迄布設シテ海中ニ放流シ鑛害ノ輕微ヲ計ルコトトシ七月起工十月末竣工シタリ

(附屬柏崎製油所)當所ニ於テハ揮發油蒸溜能力増加ノ爲第一、第二、第三、蒸溜釜ヲ連續蒸溜式ニ變更且ツ容量九十八軒鐵槽二基及三百四十二軒鐵槽一基ヲ揮發油受槽トナス爲屋根ヲ鐵骨鐵板ニ改造シ尙一月ニハ容量五十二・八軒ノ揮發油受槽一基ヲ増設シ又機械油増産ノ爲メ一月容量三十六軒湯洗槽一基ヲ増設シタリ

第四、第八洗滌槽ヨリ發散スル廢瓦斯ハ附近農作物ニ被害ヲ及ホスヲ以テ之カ防止ノ爲各槽ヲ木製蓋ヲ以テ被ヒ瓦斯ヲ「スチーム、インデエクター」ニテ曹達液槽ニ導キ入レ中和スル方法ヲ案出實行シタルニ吸引成績頗ル良好ニシテ有害瓦斯ハ殆ト逸散セス大ナル效果ヲ收ムルニ至レリ

新・津・鑛・山 新潟縣中蒲原郡新津町外五 日本石油株式會社

(新油層ノ發見ト其ノ採油)

(イ) 朝日方面第三層油ノ探究。昨年中朝日網式第百六十六號井ノ成功ニ依リ所謂當方面第三層油ノ採油ヲ開始シ得タルヲ以テ引續キ其ノ附近ニロ式十七號井、同十八號井及同十九號井ヲ開坑シ更ニ本年ニ入リロ式二十號井ヲ開坑シテ極力該深層油ノ開發ニ努メタルカロ式十八號井及同十九號井ハ遂ニ出油スルニ至ラス四月末及五月末夫々廢坑セリ、又ロ式十七號井ハ昨年以來引續キ掘進中ニシテ既ニ深度千六百四十三・一米ニ達シタルモ今尙出油ヲ見ス本井ハ可及的

掘進ヲ繼續シテ該油層ノ地質ヲ探究スヘク腐心シツツアルモ既ニ豫定深度ノ二倍餘ヲ超過シタル爲機構上不適當ノ點モアリ之以上ノ掘進ハ頗ル困難ニアラスヤト思考セラル

以上三坑井ノ失敗ニ反シ獨リロ式二十號井ハ八月十八日深度六百六十五・三米ニテ該油層ニ逢着シ當時日産一・七軒ノ出油ヲ見タルカ年末ニ於テハ〇・一五乃至〇・二〇軒ノ油量ヲ保チ居ルニ過キササルヲ以テロ式二十一號井ヲ本井ノ西方約百十米ノ個所ニ選定シテ近ク開坑ノ豫定ナリ

(ロ) 小口方面所謂「ザク」層(崩壊性質頁岩層)ノ掘鑿。小口鑛場地内ニ於テハ十數年來第三層油ノ探掘ニ苦心シツツアルカ之ノ目的ヲ以テ昨年九月開坑シタルロ式百六號井ハ難掘層タル崩壊性質頁岩層ヲ突破スヘク爾來種々研究ヲ重ネ或ハ「ケーシング、ムーバー」ノ裝置ヲ施シ或ハ循環泥水ニ代フルニ原油ヲ以テスル所謂油掘ヲ爲シ最後ニハ重晶石粉末ヲ泥水ニ混シテ其ノ比重ヲ大トシ之ニヨリ崩壊性質頁岩ノ崩落ヲ防キ又ハ抑壓シツツ掘進スル方法等ヲ採用シタルモ尙崩壊甚シク且ツ坑内異狀ノ爲遂ニ掘進不能ニ陥リ十二月二十二日深度八百四十米三七ノ記錄ヲ殘シテ廢坑スルノ已ムナキニ至リタリ、依テ之ニ代リロ式百七號井ヲ選定シテ十二月十七日開坑シ一層改善シタル鑿井法ヲ以テ銳意掘進中ニシテ年末深度三百三十四米ニ達シタリ

(ハ) 馬寄方面深層油ノ探究。馬寄方ニ面於ケル深層油脈開發ノ目的ヲ以テ昨年七月開坑シタル馬寄ロ式九號井ハ崩壊甚シク且ツ坑内異狀ノ爲掘進不能トナリ九月十日深度九百八十五米ニテ遂ニ廢坑スルノ已ムナキニ至リタルカ飽迄深層油開發ノ目的ヲ達成スル爲之ニ代リロ式十號井ヲ八月二十一日開坑シ目下極力掘進中ニシテ年末迄ニ六百八十五・三〇米ヲ掘鑿スルヲ得タリ、尙東島方面淺層油脈ノ延長試掘ノ目的ヲ以テ昨年十月十四日二十五馬力石油發動機掘ニ依リ開坑シタル馬寄綱式四十二號井ハ深度三百八十七米ニ達シタルモ油層ヲ認メサルニ依リ二月二十七日廢坑シタ

リ
(鑿井)前年ヨリノ繼續掘鑿井ハ九坑、本年新着手掘鑿井ハ二十二坑ニシテ其ノ中成功シタルモノ十五坑掘鑿未了井二坑ナリ、右ノ中新油層ノ試掘ヲ目的トスルモノハ小口ロ式百七號井、馬寄ロ式十號井及朝日ロ式二十號井ノ三坑ニシテ其ノ概要ハ前述ノ通りナリ

(送油線一部ノ布設替)明治四十三年頃ノ布設ニ係ル金津送油線ハ既ニ十數年ヲ經過シテ腐朽箇所ヲ生シタルニ依リ十月二十日同線ノ一部(延長七百五十米)四吋鐵管ノ布設替工事ニ着手シ十一月下旬完成シタルカ之ノ改修ニ依リ迂回線ヲ直線ニ改メ經費ニ就テモ大ニ節約ヲ計ルコトヲ得タリ

(電氣熔接機ノ新設)掘鑿「ビット」ニ特殊鋼ノ熔接其ノ他ノ目的ヲ以テ十一月「アーク、ウエルデング」裝置ヲ新設シタリ

(電氣動力受入方法ノ改良)新潟水力電氣會社ヨリ供給ヲ受クル動力用電氣ノ受入契約ヲ「メートル」從量制ニ改ムル爲昨年末ヨリ工事中ナリシ受電設備ハ本年三月末竣工ヲ見タリ

(除害工事)小口鑛場各井ヨリ排出スル惡水ノ大部分ハ從來附近ノ耕地ヲ貫通スル惡水排除溝ニ依リテ能代川ニ放流シツツアリシカ之ノ排除溝ハ比較的狹少ノ爲毎年夏季大雨ノ折ハ氾濫シテ附近ノ被害尠カラサルヲ以テ之カ除害方法トシテ分溝ヲ施設スルコトトシ四月二十日工事ニ著手シ六月下旬完成シタリ

(附屬新潟製油所)

(イ)「シユルツ」式減壓蒸餾裝置ノ完成。本裝置ハ石油蒸餾ノ際蒸餾釜内ノ壓力ヲ減シ油ノ沸騰點ヲ低下シテ油ノ分解ヲ防キ優良ナル製品ヲ造ル目的ニシテ本年四月建設工事ニ著手シ六月完成爾來蒸餾釜内水銀柱二耗乃至五耗ノ絕對壓力

ニテ作業シ良質ノ機械油ヲ製造シツツアリ、其ノ設備ノ大要並ニ一ヶ月間ノ製品數量左ノ如シ

設 備	備	輕 油	機 械 油	製 品 量
蒸 餾 釜	(直徑九呎、長サ三十呎一臺、一晝夜ノ能力二百石)			三 基
冷 却 槽	(浸漬式中八呎、長サ三十呎、一時、深サ七呎)			三 個
餾出油受槽	(横置圓筒型、直徑六呎八吋、長サ十六呎二吋)			十 六 個
電 動 機	(三相交流誘導式五十馬力三臺、三十馬力一臺、五馬力一臺)			五 臺
減壓唧筒	(横置三節三段壓縮型、一分間ノ排氣量二十五立方米)			三 臺

五千百五十五石

九千六百二十四石

二千二百三十四石

(ロ) 汽罐ノ増設。製油其ノ他ノ設備擴張ニ伴ヒ左記汽罐三基ヲ増設シタリ

外焚多管式 (徑六呎十一吋、長サ十七呎十一吋、公稱馬力二百、三月完成)

同 (徑六呎十一吋、長サ十九呎十一吋、公稱馬力二百、九月完成)

同 (徑六呎、長十四呎十一吋、公稱馬力百、十二月完成)

(ハ) 揮發油採收設備ノ増設。「クロッス」式分解揮發油製造裝置ヨリ排出スル瓦斯ヨリ揮發油ヲ採收スル爲二月設置工事

ニ著手シタル吸收式揮發油採收設備ハ五月完成シ一ヶ月約百五十石ノ揮發油ヲ製産シツ、アリ、其ノ設備ノ大要左ノ

如シ

瓦斯洗滌器 (直立圓筒型、徑十四吋半、高十五呎)

一 個

瓦斯吸收器 (直立圓筒型、徑十四吋半、高十五呎)

四 個

瓦斯分離器 (直立圓筒型、徑七吋半、高十五呎)

一 個

(二) 油類洗滌設備ノ擴張。十月左記設備ヲ擴張シ之カ爲機械油一ヶ月約四千石ノ増産ヲ爲スヲ得タリ

洗滌槽 (直徑九呎四吋、高サ十呎、漏斗部深サ一呎)

二 個

同 (直徑六呎、高サ六呎、漏斗部深サ一呎)

一 個

同 (直徑六呎四吋、高サ七呎四吋、漏斗部深サ一呎)

一 個

同 (直徑十五呎七吋八分ノ七、高サ十四呎六吋、漏斗部深サ四呎五吋)

一 個

湯洗槽 (巾十六呎二吋、長サ十九呎八吋、深サ側六呎、中央七呎)

二 個

東山鑛山 新潟縣古志郡荷頃村外ニ 日本石油株式會社

本年中十八坑ヲ廢坑シタルカ大正八年中浦瀨鑛場ニ油井壓搾空氣注入裝置ヲ施設シテ當時附近坑井ノ採收量約二割ノ増加ヲ見、今日ニ至ル迄約一割二分ノ增收アルニ鑑ミ最低一割以上ノ原油増産ヲ圖ランカ爲五月比禮地内第一號「ボンビングバワー」ニ同裝置ヲ施シ附近坑井ニ應用シ目下其ノ成績考究中ナリ

大面鑛山 (採六七三號) 新潟縣南蒲原郡大面村 日本石油株式會社

前年ヨリノ繼續掘鑿井ハ二坑、本年新著手掘鑿井ハ三坑ニシテ其ノ中本年中成功シタルモノ三坑、掘鑿未了井ハ二坑ナリ

ロ式三十一號井ハロ式二十五號井及二十七號井ノ成功ニ鑑ミ附近ノ地質構造上油脈ノ延長ハ益々北東進スルモノト推測サル、ヲ以テ此ノ方面ヲ開發スヘク豫定深度九百四十米ニテ昨年九月六日開坑シタルモノニシテ本年五月九日深度九百

六十五・八米ニテ大噴油ヲナシ當時日產五十軒餘ヲ產シ年末ニ於テ尙日產二軒ヲ持續シツ、アリ、依テ現在大面油田ノ掘鑿井ハ本井ヲ目標トシテ作業ヲ爲スノ狀態ナリ

ロ式三十六號井ハ大面油田ニ於ケル現在ノ出油層ニ達シタル際採油井ト爲シ得ル場合ハ一時掘進ヲ中止シテ採油シ其ノ油量減退ヲ俟テ更ニ下層ニ進ミ所謂深掘井トナスノ目的ヲ以テ豫定深度千八百二十米ニテ本年九月十日開坑シタル處深度千五百六米ニテ現出油層ニ達シ充分採油井トナシ得ルヲ以テ一應該層ヲ採油スルコト、セリ

鑛場ノ發展ニ伴ヒ作業能率ノ増進、經費ノ節約ヲ計ル目的ヲ以テ電力ヲ利用スル爲新潟水力電氣會社ヨリ二百五十「キロワット」ノ電力購入契約ヲ爲シ昨年十月以來工事中ナリシ之カ受電設備ハ本年八月二十日完成ヲ見タリ

九月大面倉庫ヨリ第八號汽罐迄延長九百六十米ニ亘リ軌道(十二封度)ヲ布設シタル結果省線帶織驛ヨリ大面鑛場ニ至ル大澤軌道ノ開通ト相俟テ諸材料ノ運搬ニ多大ノ便宜ヲ得ルニ至レリ

尙近ク「ナシヨナル、ポンピング、パワー」一臺及「シエーピング、マシン」一臺ヲ設置スル計畫ニシテ更ニ來年度ニ於テハ新ニ開坑ニ著手スルモノ八坑ノ外一坑ヲ掘下クル豫定ナリ

大面鑛山(試登第九〇五三號)

新潟縣南蒲原郡大面村

日本石油株式會社

昨年度ニ於テロ式二十九號井ノ成功ヲ見タルニヨリ本年度ニ入りテロ式三十三號井、同三十四號井、同三十五號井、同三十八號井、同四十號井及ヒ同四十一號井ノ六坑ヲ開坑シ漸次北東ノ方向ニ開發ヲ進メタルカ之等六坑ノ内四坑ハ採油井トナリ、二坑ハ今尙掘進中ナリ其ノ狀況左ノ如シ

ロ式三十三號井ハ五月二十八日開坑八月十九日深度八百八十八・五米ニテ成功シ當時日產十二軒餘ヲ產シタルカ年末ニ於テ尙七軒ノ出油アリ

又ロ式三十四號井ハ四月三十日開坑八月十六日深度九百七十・五米ニテ成功シ當時日產十軒餘ヲ算シ、年末ニ於テ五軒ヲ持續シツ、アリ

ロ式三十五號井ハ二月二十八日開坑、七月二十八日深度千五米ニ達シ日產一・二軒ヲ採收セシカ年末ニ於テハ〇・七軒ニ減少シ、ロ式三十八號井ハ八月二十三日開坑十一月十八日深度千五十・七米ニテ成功ニテ成功シ當時日產十一軒ヲ算シ年末ニ於テ尙七軒内外ヲ產シツ、アリ

ロ式四十號井ハ豫定深度千五十米ニテ十月二十八日開坑、ロ式四十一號井ハ豫定深度千米ニテ十二月五日開坑銳意掘進中ニシテ年末ニ於ケル深度ハ前者千二十七米、後者八百四十三米ナリ

而シテ本年中ノ總產額ハ原油一萬三千四百四石八斗三升（ポーム二十八・九度）瓦斯九百三十七萬八千九百三立方尺ニ達シタリ

大面鑛山（試登第九一〇九號） 新潟縣南蒲原郡大面村 日本石油株式會社

昨年十月七日開坑ニ著手セルロ式三十號井ハ本年一月二十二日深度九百四十米ニテ成功シ當時ノ日產五・八軒ニシテ本年中ノ總產額ハ原油八千九百四十石三斗四升（ポーム二十五・三度）瓦斯六百萬千六百二十立方尺ニ達シタリ

本成寺鑛山（試登第九三九七號） 新潟縣南蒲原郡本成寺村 日本石油株式會社

本成寺綱式一號井ハ豫定深度千米トシ昨年六月二十五日開坑既ニ千二百米ニ達セシモ豫期ノ出油層ニ逢着セス目下架橋シテ九百六十五米附近ノ上層油採收ノ目的ニテ試油中ナリ

本成寺ロ式一號井ハ綱式一號井ノ成績ニ鑑ミ深度九百三十七米、九百六十五米及九百八十五・五米ノ三箇所ニ瓦斯及油ヲ見タルニ依リ之ヲ採收ノ目的ニテ目下開坑準備中ニシテ本坑井ハ電氣掘鑿ヲナス爲大面鑛場ノ電力ヲ分ツコトトシ其

ノ施設ヲナシタリ

米山・鑛山 (探登三七七號) 新潟縣中頸城郡米山村 日本石油株式會社

大正十三年中ニ着手シタル網式一號井ハ深度六百十一米ヲ掘鑿シタルモ出油ヲ見スシテ廢坑シタルカ昨年七月五日開坑
スタル網式二號井ハ深度七百七十一米ニテ掘止メ深度七百五十七米ノ油層ヲ採油シタルニ油量日產一軒餘アリ、本年
ノ總產額ハ三百二十九石二斗四升 (ボイメ四十三度) ニ達シタリ引續キ近クロ式一號井ヲ開坑スル爲着々準備中ナリ
刈羽・鑛山 (試登第九五〇八號) 新潟縣刈羽郡刈羽村 日本石油株式會社

昨年十二月二十六日開坑ニ着手セル刈羽ロ式一號井ハ本年四月二十日深度千八百二十米ニ達シ掘止シタルガ油層ハ千五百八十四米ニシテ最大日產一軒餘ノ油量アリ、本年中ノ產額ハ八百六十二石餘 (ボイメ三十三・二度) ナリ

(二) 其他ノ非金屬山

幌別・鑛山・硫黃 北海道膽振國有珠郡壯瞥村 北海道硫黃株式會社

前年來事業ノ擴張ニ努メ本年度ニ於テハ製煉作業場三棟、鑛夫住宅十棟、職員社宅二棟ヲ増築シ且ツ製煉釜十基ヲ増設
シテ產額ノ増加ヲ計リ前年度ニ比シハ、七〇八噸ヲ増產セリ

松尾・鑛山・硫黃 岩手縣岩手郡松尾村 松尾硫黃株式會社

本鑛山ニ於テハ一般市場ノ需要増加ニ伴ヒ其設備ヲ擴張シ專ラ事業ノ發展ヲ計リツヽアリ、即チ採鑛ニアリテハ米國「サ
リバン」會社製 Dressing 型鑿岩機三臺ヲ増加シ製鍊ニ於テハ六月燒取製鍊釜二基ヲ増設シ前年ニ比シ製品硫黃二千六百
六十四噸餘ノ増產ヲ見タリ、又坑外ニアリテハ事業擴張ニ伴フ動力ノ不足ヲ補フ爲メ六〇「キロワット」火力發電所ヲ
増設セリ

本年中増設セル機械及設備次ノ如シ

鑛岩機米國「サリバン」會社製 D P 331 型

燒取製鍊竈（一基十二枚釜内徑三尺八寸）

火力發電所用一〇〇馬力「ディーゼルエンジン」

木友炭礦 亞炭 山形縣最上郡舟形村 大日本鑛業株式會社

前年來引續キ掘進中ノ斜坑方面ハ其後著シク發展セル爲出炭順調トナリ前年ニ比シ四、一八六、五五〇斤ノ増産ヲ見ルニ至レリ

本年中設置セル機械次ノ如シ

排水唧筒

斜坑中段唧筒座 排水量五立方尺

五馬力

電氣「タービン」

一臺

増設

斜坑本卸

同

五同

五同

同

一臺

新設

那須鑛山 硫黃 栃木縣那須郡那須村 小平鈴子

五月容量元鑛二十貫ノ燒取釜十五箇配列ノ製鍊竈一基ヲ増設セリ

小串鑛山 硫黃 群馬縣吾妻郡嬭戀村外一 東洋硫黃株式會社

大正十三年ニ著鑛シタル鑛床ハ引續キ探鑛中ナルカ東西百間、南北五十間、高低十五間ノ間ハ優ニ探鑛シ得ヘク其ノ平均品位ハ四十%ノ見込ナリ

昨年六月製鍊竈四基（口徑一尺八寸、最大部ノ内徑三尺五寸、深サ二尺ノ燒取釜六個ヲ並列シタルモノ二列ヲ以テ一基

トス）ヲ有スル製鍊場ヲ設新シタルカ更ニ本年十月製鍊竈四基ヲ増設シ合計八基ヲ使用シテ本年中ニ硫黃二千三百七十噸餘ノ產出ヲ見タリ、而シテ來年六月頃尙製鍊竈二基増設ノ豫定ナリ

吾妻鑛山 硫黃 群馬縣吾妻郡端戀村 吾妻硫黃株式會社

前年度ヨリ製鍊竈増設計畫中ノ處本年度ニ於テ容量元鑛四十貫ノ燒取釜十箇配列ノ製鍊竈一基ヲ完成セリ

長久手炭礦 亞炭 愛知縣愛知郡長久手村 村瀨惣次郎

一月初旬砂子坑、四月下旬坊之後坑ノ開鑿ニ着手シ、前者ハ一月末、後者ハ九月末夫々竣工、各坑ニ左記汽罐捲揚機各一臺ヲ設置シ出炭ヲ見ルニ至レリ

砂子坑

汽罐、外焚多管式、徑三呎、長サ十呎、壓力每平方吋八十封度

捲揚機、豎置式、三・六馬力

坊之後坑

汽罐、外焚多管式、徑三呎六吋、長サ十一呎六吋、壓力每平方吋八十封度

捲揚機、橫置式、三・六馬力

芝炭鑛 亞炭 愛知縣東春日井郡高藏寺村 芝義太郎

金口坑ニ口徑四吋三段「タービンポンプ」(十五馬力電動機直結)一臺ヲ設置ス

尙坑内燈火ハ從來「アセチレン」燈ヲ使用セシモ主要箇所ニ十六燭光ノ電燈ヲ點シ運搬及採炭ノ能率増進ヲ計レリ

(五) 事業ヲ縮少シ又ハ休止シタル鑛山